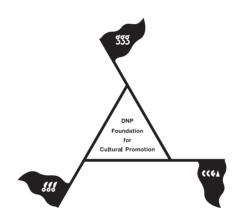
Graphic Art & Design Annual



2023

Graphic Art & Design Annual



[表紙デザイン]

今回田中一光さんが ggg の誕生と共に制作された『ギンザ・グラフィック・ギャラリー 1986-1988』のカバーデザインへのオマージュとして gggのロゴを同じサイズ、角度でCGを使って再現し、それを当時、ドシっとした鉄のような物体と床を舞台にしたのに対し、雲の上に浮遊しているようなアートワークを制作しました。

gggにはいつも先人達がどこかで見ているような、緊張感と期待感の気配が漂っています。

この世とあの世なのか、夢と現実なのか、グラフィックワークを通して各々の想像を広げるようなビジュアルに仕上げたいと思いました。

YOSHIROTTEN

[Cover Design]

My cover design pays homage to the cover lkko Tanaka designed for *ginza graphic gallery 1986-1988*, published shortly after the gallery opened.

Using computer graphics, I reproduced the ggg logo in the same size and positioning as Tanaka's work.

However, whereas his original design suggested heavy pieces of steel placed on a floor,

my artwork rather lends a sense of the logo floating ethereally above clouds.

ggg is always filled with an air of nervous tension and high expectations, as though our honored predecessors were watching over us.

In creating this visual, through graphics I sought to explore the worldly and otherworldly realms.

Are they real or merely the stuff of dreams?

YOSHIROTTEN

Graphic Art & Design Annual 2023 999 ddd CCGA

Publication: DNP Foundation for Cultural Promotion

DNP Ginza Building, 7-7-2 Ginza, Chuo-ku, Tokyo 104-0061 Phone: +81 3 5568 8224

Planning & Editing: DNP Foundation for Cultural Promotion

Art Direction: Shin Matsunaga

Design: Shinjiro Matsunaga, Moemi Kiyokawa Cover Art Direction: YOSHIROTTEN

Cover CG: Natsumi Sunohara (YAR)

Photography: Mitsumasa Fujitsuka (ggg), Nobutada Omote (ddd)

Translation: Rei Muroji

Printing & Binding: Dai Nippon Printing Co., Ltd.

Contents

目次

はじめに		Foreword —	5	
北島義斉(公益財団法人DNP文化振興財団理事長)		Yoshinari Kitajima (Chairman of the board of directors, DNP Foundation for Cultural Promotion)		
序文:		Introduction:		
デザインと出会いの空間 (再録) ―――――	- 6	"ggg" - Space for People to Get Together (Reprinted) -		
田中一光		Ikko Tanaka		
1 展示事業 ————————————————————————————————————	- 11	1 Exhibitions	 11	
ギンザ・グラフィック・ギャラリー (ggg) 2023–24 —————	- 12	ginza graphic gallery (999) 2023-24 ————————————————————————————————————	— 12	
京都dddギャラリー (ddd) 2023-24	- 28	kyoto ddd gallery (ddd) 2023-24	— 28	
2 教育·普及事業 ————————————————————————————————————	- 43	2 Education & Enlightenment	— 43	
ggg, dddギャラリートーク ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	- 44	999, ddd Gallery Talk —		
ddd オンライン・コンテンツ	- 48	ddd Online Contents -		
ddd特別対談 ————————————————————————————————————		ddd Special Dialogue Program ————————————————————————————————————		
出版活動 2023-24		Publications 2023-24		
オンライン記事「デザインの両面」―――	- 52	Both Side of Design	 52	
3 アーカイブ事業	- 55	3 Archiving	55	
DNP グラフィックデザイン・アーカイブ	- 56	DNP Graphic Design Archives —	 56	
4 国際交流事業 ————————————————————————————————————	- 61	4 International Exchange	 61	
巡回: 食 一日本のポスターデザイン展 (ベルリン) ――――――	- 62	Tour: Food – Poster Design from Japan —	 62	
巡回:動きの感覚を呼び起こす:日本のスポーツ・ポスター(トロント)一		Tour: A Sense of Movement: Japanese Sports Posters	 63	
協力: 髙田唯 混乱的秩序 中国巡回展(上海)		Support of CHAOTIC ORDER: Yui Takada with ori.studio		
協力:第1回広州デザイントリエンナーレ(広州) ————————————————————————————————————		Support of Guangzhou Design Triennial —		
AGI総会オークランド2023	- 65	AGI Congress Auckland 2023	 65	
5 研究助成事業	- 67	5 Research Grants	 67	
グラフィック文化に関する学術研究助成 ――――――――――――――――――――――――――――――――――――	- 68	Graphic Culture Research Grants -	— 68	
研究成果報告会および交流会		Research Results Presentations and Exchange Session		
2023-24年度 助成実績 ————————————————————————————————————	- 71	2023-24 Financial Support Activities —		
展覧会概要 2023-24		Review of ggg, ddd and CCGA 2023-24	 72	
展覧会一覧 1986-2024		List of Exhibitions 1986–2024 —	82	
ギャラリー概要 ―――――	- 88	Galleries' General Information —	88	

Foreword

はじめに

私たちDNP文化振興財団は、印刷とデザインのプロフェッショナルが 切磋琢磨して発展させてきたグラフィックデザインはまさに、後世に受 け継ぐべき重要な文化的財産だと捉えています。そして、その魅力を発 信するハブ (結節点) を自ら運用することが大切だと考え、1986年にギ ンザ・グラフィック・ギャラリー (ggg) を、1991年にDDD (現京都ddd ギャラリー) を開設しました。以来、グラフィックデザイン専門ギャラ リーとして、世界の動向や技術の発展と並走しながら、多様な企画展を 開催し続けています。

2023年度の活動としては、gggでの企画展が400回を超えました。このgggは、2024年2月13日に逝去した弊財団の前理事長・北島義俊が、"文化としてのグラフィックデザイン"への強い思いを込めて立ち上げたものであり、私たちの出発点の一つと言えます。このレポートでは、初代監修者として北島義俊とともにgggの開設に尽力された故田中一光氏の言葉を『ギンザ・グラフィック・ギャラリー 1995』から再録します。

私たちは、こうした開設当初からの思いを受け継ぎ、"より良い未来"の 構築に向けて活動の範囲をさらに大きく広げ、心地よく風通しのよい文 化的な価値を提供してまいります。

> 公益財団法人 DNP文化振興財団 理事長 北島義斉

At the DNP Foundation for Cultural Promotion, we view graphic design, which developed through the diligent dedication of members of the printing and design professions, as an important cultural asset that should be passed on to future generations. Believing that the Foundation itself can serve an important role as a hub for making the attractions of graphic design widely known, in 1986 we established ginza graphic gallery (ggg). This was followed in 1991 with the opening of DDD (now, kyoto ddd gallery). Since then, these two galleries, functioning as venues specialized in graphic design, have hosted a broad spectrum of exhibitions highlighting concurrent global trends and technological advances.

During the 2023 fiscal year, ggg celebrated its 400th exhibition to date. The gallery was originally founded by my predecessor, Yoshitoshi Kitajima, with the strong conviction that graphic design has indelible value as a cultural asset. Sadly, he passed away on February 13, 2024. In this year's Annual Report we cite a message by the late lkko Tanaka, who collaborated with Mr. Kitajima as ggg's first supervising editor, that originally appeared in *ginza graphic gallery 1995*.

Going forward, we will carry on the spirit behind our two galleries' creation since their opening, expanding the scope of their activities to build a better future and provide ever more exhilarating and refreshing cultural value to the world.

Yoshinari Kitajima

Chairman of the board of directors, DNP Foundation for Cultural Promotion

デザインと出会いの空間(再録)

田中一光

ギンザ・グラフィック・ギャラリーは、スリー・ジー「ggg」というニックネームで呼ばれるようになって、10年が経った。よく続いたものだと思う。それもこのギャラリーのオーナー大日本印刷が、これを単なる貸しスペースではなく、ひとつの文化事業としてとらえ、手づくりの体制で運営してきたためではないかと思う。

現在このgggのある場所は、かつて大日本印刷の前身、「秀英舎」がここで活字を販売していた所だと聞いている。1920年当時、銀座から築地にかけては西欧から導入されたばかりの近代印刷術を普及、実用化させる様々な営業基地が設けられたということである。戦後といっても、もう1957年の頃だが、私が東京にでてきた当時、このgggの周辺には、まだ電通をはじめとする広告代理店や、印刷所、新聞社が軒を並べていた。

大日本印刷も、当時はまだ営業の出先がこの銀座にあって、時には「アルマナック」と題する新作カレンダーの展示や、公募などが催されていた。しかし、日本の企業の発展は目ざましく、各社とも銀座という小さな商業地域では納まりきらなくなってしまったのである。

1980年代の初め、ブティックやレストランのひしめく商店街から、「銀座の一等地にありながらいつもここは灯が消えてうす暗く、地域の活気に影響する」といった苦情があると大日本印刷の

高橋平さんから聞き、私は思い切って「グラフィックのギャラリーをつくってみては | と提案した。

思いのほか、話はとんとん拍子に進み、とりあえず一階をデザインの展示場ということになった。改装にとりかかりこのビルの発展の歴史をみるような幾重にも貼り重ねた建材を剝がしてみると、1930年代のアールデコ風のディテールが顔を出してきた。これは素晴らしい贈り物だと、表面材を剝がしたコンクリートむき出しのままのインテリアでオープンした。1986年3月のことである。

とりあえず第一回個展は、キッコーマンの広告などで著名な大橋正さんの「野菜のイラストレーション」展で幕開けとなった。ともかく、われわれデザイナーにはデザイン・ギャラリー設置の長い苦労の歴史がある。1970年代のはじめ、日本橋のディック・ビル2階のピロティーに立派なデザイン・ギャラリーが設けられた。日本イラストレーターズクラブの結成展や、各美術大学から選抜した卒業制作展、ヤマハやGKのインダストリアルデザイン展などユニークな展覧会が開かれたが、不況などの理由でわずか3年で閉鎖されてしまった。

その後しばらくして千駄ヶ谷のフジエ・ギャラリー、青山のハートアート・ギャラリーと転々としたが、もうスポンサーつきのギャラリーはごめんだと、会員を募り自主的なギャラリー、東京デ



オープン当初の999外観 999 at time of the gallery's opening



999第1回の展覧会ポスター(d. 田中一光 / I. 大橋 正) Poster for 999's first exhibition (d. lkko Tanaka / I. Tadashi Ohashi)

ザイナーズ·スペースが生まれた。それも15年後のつい先頃解散という苦渋をなめている。

ようやく生まれたgggであったが、このビルも雨漏りや配水管の事故など老朽化が激しく、1990年やむなく取り壊しとなった。新築ビルになれば、場所が一等地なだけにギャラリーなどまた追放されるのではないかと危惧したが、北島義俊社長の判断は鋭く、企業がギャラリーを設けることの情報の発受信、文化的貢献などその理解は深く大きいものがあった。

1990年、旧ビル取り壊しの直前、ギャラリーは東銀座の貸しビルに移った。全く無収入のギャラリーに、レンタル料を払ってまで続行するというその心意気に私たちは大いに感動した。

ギャラリーは企業と市民との風穴だと思っている。小さな窓でも開けていると、思わぬ風が入ってくる。社員は自主的になり、生き生きとする。そうした風が情報という栄養をもたらせるのである。不特定多数の人たちと接するということは、ある意味で企業の中にホテルのロビーのようなものをもったということである。ここは共有の場所だという自由な気分がよりよく人々との接触を深め、思わぬ機会から事が進み、実り始める。

一方、デザイン側からみれば、日常の制作活動と切り離して、さめた目で様々な角度からもう一度検証してみることを必要とする芸術である。テーマに対するデザイン的解答がよかったかど

うか。常識のようになった商業主義と切ってみる。時代や流行とも切ってみる。そこには文化や文明との関わりが明瞭に浮かび上がる。様々な考え方や感じ方が一堂に見えてくる。海外からの目も大切だ。先端を感じ、過去を検証し、横には隣人から世界の人へと拡がってゆく。

ともかく、この小さな窓から、この時代の地球の風が入ってくる。 キュレーションが毅然として、スペースの空気がやさしく人をとらえるなら、風はどんどん窓から入ってくるのである。近年、インターネットによるEXPO、インターネット・ミュージアム、インターネットによるデザインコンペ、今まで行われてきた教育やイベントや会議までが、このモニターという発光体のなかで行われようとしている。居ながらにして見知らぬ人と交流し、情報が取得できる便利な時代になった。

しかし、このバーチャルにも大きな限界がある。人と人が出会 うときの情感。その人の声を聞き、なつかしい顔に再会し、出 来上がったばかりの美しい作品に触れながら、声を枯らして論議 し、肩を抱いて喜び合うスペース、そんな空間をわれわれは失 ってはならない。

『ギンザ・グラフィック・ギャラリー 1995』(大日本印刷株式会社 / 1996年)より *文章は再録の際、明らかな誤りを訂正した。



999第1回展の会場風景 Scene from the gallery's first exhibition



北島義俊社長 (左) と田中一光氏 (右) From left: Yoshitoshi Kitajima, Ikko Tanaka

"ggg" – Space for People to Get Together (Reprinted)

Ikko Tanaka

ginza graphic gallery, better known as "Three g" or "ggg," is celebrating its 10th year. I consider ten years as a triumph. All this was possible because the galley owner, Dai Nippon Printing Co., Ltd. (DNP) has made a deep commitment and involvement to manage the gallery as a cultural enterprise having its own staff in management instead of operating it as a mere rental space.

I have been told that the "ggg" of today is situated in the same location of DNP's origins-once called "Shuei Type Inc.," selling types. Back in the 1920s, in the Ginza and Tsukiji areas, a variety of headquarters were set up to market and to make practical usages of newly introduced printing techniques from the West. When I came to Tokyo in 1957, advertisement agencies such as Dentsu and main offices of other printing companies were standing side by side in the area where "ggg" now stands.

DNP also had its sales office in Ginza. At times, exhibitions called "Almanac" which introduced and advertised for new calendrical works were held there. However, due to remarkable growth of Japanese companies, they soon burgeoned beyond Ginza's small commercial zone.

In the early 1980s, Mr. Taira Takahashi told me that DNP had received complaints from some local shop owners claiming that the building was always dark with no lightings and affecting the local vigor despite its excellent commercial location of the Ginza district. Hearing that, I ventured to suggest creating a "graphic" gallery. Despite the pessimism, the idea

evolved in rapid strides, and the first floor became an exhibition place for design. During the reconstruction of the first floor, as we stripped off the many layers of building material which seemed to have accumulated along with the building's history of development, we came to a detail from the 1930s which had an Art Deco flair. We saw this as a great gift, and the gallery opened with bare concrete walls. This was in March 1986.

The first one-man exhibition that took place was "Original Paintings of the Vegetable Illustrations" presenting works by Tadashi Ohashi well known for his Kikkoman advertisement. As for the designers' efforts to create design galleries in Japan, we have a long history of hardships. First in 1970, an excellent design gallery opened on the second floor of the DIC Building in Nihonbashi. Unique exhibitions, such as the Japan Illustrator's Club exhibitions, graduation work exhibitions from art universities, industrial design exhibition for Yamaha and GK, were held there. Unfortunately, the gallery was closed after three years because of the recession. After that, graphic exhibitions were briefly seen in places such as Fujie Gallery in Sendagaya and Heart Art Gallery in Aoyama but somehow none of them were able to continue. So weary of sponsored galleries, it was decided that an independent gallery run by membership be created and this was the birth of Tokyo Designers Space. However, after successful 15 years this gallery had bitterly met its end just recently as well. The "ggg" was also compelled to be demolished by 1990,



銀座5丁目に一時移転した際の999外観 999 after temporary relocation to Ginza 5-chome



一時移転先での最初の展覧会 First exhibition at gallery's temporary location

since the building had decayed, and other problems occurred such as the leaking of rain and water pipe accidents. Because of its excellent location, we feared that a "gallery" would be driven away once the building had been renewed. Nevertheless, the President of DNP, Yoshitoshi Kitajima, commanded to keep the gallery; his understanding that a company's gallery would be an excellent source to dispatch information and its possibility as a cultural contribution was deep and limitless. In 1990, shortly before the demolition, the gallery moved to a rental building in Higashi Ginza. We designers were deeply moved by DNP's spirit to carry on a non-profit undertaking with a rent-free gallery.

I believe that galleries are "windholes" to bridge between corporations and citizens. No matter how slightly a window is cracked open, an unexpected breeze can blow through. Employees become autonomous and lively. Such a breeze brings in nutrition called "information". Being in contact with the general public is like having a hotel lobby inside the company. A common space with a free atmosphere develops deeper and better contact among the people and leads to unexpected plans which eventually takes form.

On the other hand, in viewing the situation from the side of design, it is a type of art that requires to be taken apart from the usual production activity and to be inspected from every direction once again with a clear eye. Was the design solution sufficient to the theme? It must be cut apart from commercialism which has become almost common sense. It must be

cut apart from age and prevalence. Once that is done, its relation to culture and civilization becomes distinctly apparent. Many ways of thinking and feeling become clear at once. Views from overseas is also important. By feeling the trend and verifying the past, the world laterally expands starting from the person next to you. Anyhow, from this small window, the wind of earth in this era enters. If the curation is resolute, and if the atmosphere of the space gently captures the people, the winds will continue to enter incessantly.

People's interest in the Internet has deepened significantly in 1995. EXPO done on the Internet, Internet Museums, design competitions on the Internet, educational events and even conferences are done on this luminous object called the monitor. We now live in a convenient time where we interchange with strangers and acquire information without frantically doing such activities. Yet, this virtual world has its formidable limitations, such as the feeling one gets when meeting people. We must not lose a space where we view new pieces of work, where old friends meet, where people debate till their voices grow hoarse, and where we may rejoice.

from ginza graphic gallery 1995 (Dai Nippon Printing Co., Ltd. / 1996), Translated by Transform Corporation



左から、松永真氏、田中一光氏、北島義俊社長、永井一正氏、中村誠氏 From left: Shin Matsunaga, Ikko Tanaka, Yoshitoshi Kitajima, Kazumasa Nagai, Makoto Nakamura



新ビル竣工時の999外観 999 after reopening in its new quarters

展示事業

Exhibitions

ginza graphic gallery 2023-24

March 31 - April 28, 2023

Tokyo Type Directors Club Exhibition 2023

May 15 - June 30, 2023

TADANORI YOKOO My Black Holes

July 11 - August 21, 2023

KOICHI KOSUGI Graphic Park

August 30 - October 23, 2023

Stefan Sagmeister Now is Better

November 1 - 30, 2023

Art Direction Japan 2023 Exhibition

December 11, 2023 - January 31, 2024

Daijiro Ohara HAND BOOK

February 14 - March 23, 2024

YOSHIROTTEN Radial Graphics Bio



Tokyo Type Directors Club Exhibition 2023

March 31 - April 28, 2023

TDC 2023



東京TDC賞2023の成果、国内1,983、海外1,696 から134作品を展示した。注目はグランプリ。アニメーション作家、幸洋子さんの「ミニミニポッケの大きな庭で」で、手描きの絵日記から展開したストップモーション・アニメだ。奇想天外、ファンタジーな世界。そして活版印刷の質感で縦組に組まれた文字と、読むナレーションの声が(圧倒的にいい!)まぜこぜになって迫り、認知しているのが文字なのか言葉なのかがわからなくなる。日本人の黙読は歴史のだいぶ後に始まり、それまでは文字は全て声に出して読んでいた。この歴史から、タイポグラフィにヴォーカリゼーションも含めようとTDC設立時に話していた。35年を経てとうとう来た!

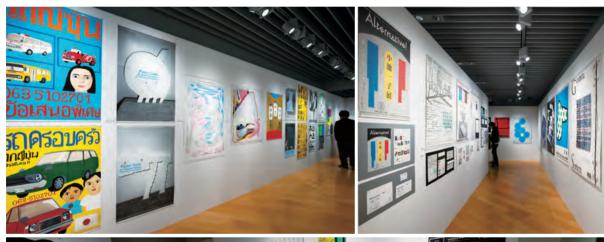
東京TDC 照沼太佳子

The Tokyo TDC Awards 2023 exhibition displayed 134 works selected from a total of 1,983 entries from Japan and 1,696 entries from overseas. The Grand Prize-winning work attracted special attention: In the Big Yard Inside the Teeny-Weeny Pocket, a stop-motion animation by Yoko Yuki based on a hand-drawn illustrated diary. It depicts a fanciful and fantastic world. The vertically set writing of letterpress texture and the reading voice of the narrator (absolutely wonderful!) blend together and loom large, leaving the viewer uncertain whether what is being recognized is written or spoken words. Historically, the Japanese were very late in adopting silent reading: before that, all writing was read aloud. Given that history,

wanting to imbue typography with vocalization is something discussed when Tokyo TDC was established. After 35 years, that day has finally complete.

Takako Terunuma, Tokyo TDC







TADANORI YOKOO My Black Holes

May 15 - June 30, 2023

横尾忠則 銀座番外地 Tadanori Yokoo My Black Holes





「銀座番外地」というのはもちろん高倉健主演の映画『網走番外地』からの援用である。横尾さんは高倉ファンを自認し、この映画のボスターも制作している。ところでもう一つタイトルがついていて、それが「My Black Holes」。この超高密度で出来た絶対磁場は、一度入ったら決して抜け出すことの出来ない恐怖の空間とされている。どうやら横尾さんは、横尾忠則現代美術館にある80数個の作品を収蔵する段ボール箱のことを、そう呼んでいるようであった。私たちはそこに潜む1,200以上の、版下、原画、アイデアノート、ラフスケッチなどを精査し、「銀座番外地」に開帳するよう宇宙的ミッションを与えられた結果のエキシビションとなった。

榎本了壱

The subtitle of this exhibition, "Ginza Bangaichi" - "A Place in Ginza with No Address" - is an allusion to the 1965 film Abashiri Bangaichi -"Abashiri Prison: A Place in Abashiri with No Address" - starring Ken Takakura. Mr. Yokoo is a great fan of Takakura, and he also designed the poster for the original movie. The exhibition's main title, however, is My Black Holes. Black holes, those extremely dense absolute magnetic fields, are said to be scary spaces from which, once entered, there can be no escape. "My black holes" is apparently what Mr. Yokoo called the more than 80 cardboard boxes containing his works at the Yokoo Tadanori Museum of Contemporary Art. For this exhibition, we pored through more than 1,200 paste-ups, original drawings, idea notes, rough sketches and the like lurking in those boxes. The exhibition evolved out of a space mission undertaken for a special unveiling in "a place in Ginza with no address."

Ryoichi Enomoto











KOICHI KOSUGI Graphic Park

July 11 - August 21, 2023

KOICHI KOSUGI Graphic Park 小杉幸一 グラフィックパーク



デザインの展示ということ自体から、考えてみることができないか。そんな気持ちから「KOICHI KOSUGI Graphic Park」は生まれました。展示でなく、〈テーマパーク〉とまず「目的からデザイン」することからスタートしました。そして、夏休み期間という季節性、未来そのものである子供たちにも来てほしい欲望、銀座と恐竜というギャップから生まれるエンターテインメント性などを、僕という一人のアートディレクターの翻訳の場を表現することができました。この場を〈体験ブラットフォーム〉として捉え、さまざまな表現やコラボ、技術を体験していただけるように。このような機会に恵まれ、本当に感謝しかありません。次があったら、今度はもっと新しいアプローチで臨みたいです!

KOICHI KOSUGI Graphic Park evolved from wondering if I could make a display from designs. But rather than focusing on their display, my starting point was to give my designs a purpose: to be like an amusement park. Since the exhibition was to take place during the school summer holiday, I wanted children - our very future - to come. I also wanted it to be entertaining in the incongruity between its location in Ginza and dinosaurs. In the end, I was able to express a place where, as an art director, I perform the role of translator. I aimed for it to be a "platform of personal experience," a place where visitors could come to know various forms of expression, collaborations and technologies. I'm truly grateful for having been

blessed with an opportunity like this. If given a second opportunity, next time I want to adopt more new approaches!

Koichi Kosugi











Stefan Sagmeister Now is Better

August 30 - October 23, 2023

Stefan Sagmeister Now is Better ステファン・サグマイスター ナウ・イズ・ベター



私の最新の作品群「ナウ・イズ・ベター」は、今の世の中を元気づけるようなメッセージを発信すべく、デザインとデータの融合を試みたものです。未曾有の感染症大流行の余波や政治的混乱をはじめ、さまざまな困難に見舞われ続ける世界。今回の個展は、世界がこのように重大な岐路に立つ中で開催されました。こうした現実にもかかわらず、これまでの人類の歩みを長期的な視点から評価してみると、生活のほとんどの側面は向上しています。その具体的な証拠を提示しているのが「ナウ・イズ・ベター」です。数値データは誰でもすぐに分かるよう視覚化し、それを古典的絵画、洋服、彫刻、インスタレーションといった多彩な作品に組み込みました。これにより過去と現在をつなぎ、今日までの進歩に関する希望に満ちたストーリーを伝えているのです。

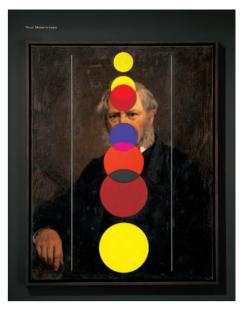
"Now is Better" Stefan Sagmeister's latest collection of works, merges design and data to convey an uplifting message for our current times. This exhibition arrives at a critical juncture as the world faces ongoing challenges, including the aftermath of an unprecedented global pandemic and political turmoil. Amid this reality, "Now is Better" presents tangible evidence that, when assessed from a long-term perspective, most aspects of human development have improved. Sagmeister transforms numbers into visual representations accessible to the wider public. The embedding of data visualizations onto eclectic mediums—antique paintings, clothing, sculptural objects, and installations-bridges the past and present,

while telling a hopeful story of progress over time.

Stefan Sagmeister







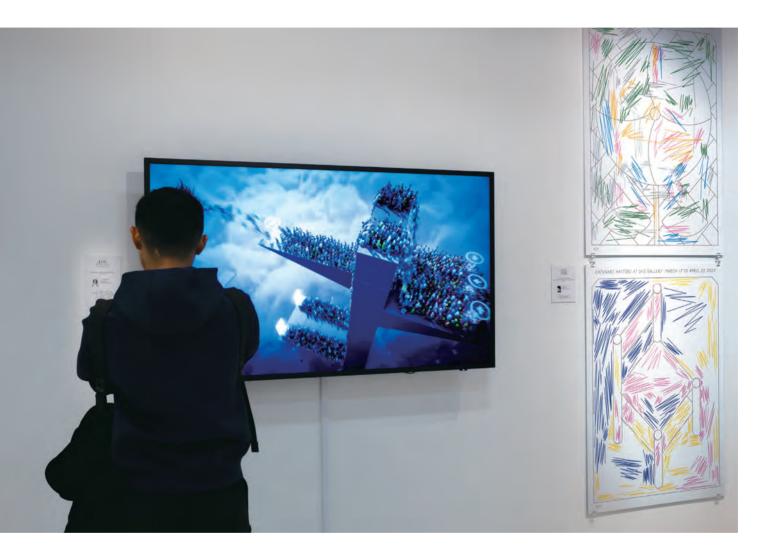




Art Direction Japan 2023 Exhibition

November 1 - 30, 2023

日本のアートディレクション展 2023



コロナ禍の災厄をへて、広告・デザイン界はダメージを受けたかにおもえたが。ADC受賞作をながめると、なかなか健闘しているようにかんじた。2023年のグランプリは、中村勇吾さんの「HUMANITY」という作品が受賞した。最終審査会場では現物のポスターやグラフィックが映像作品よりも目立つのだが。あれよあれよという間に中村さんのゲームに票が入り、圧勝した。テーマは人類はどこへ向かうかという高邁なもので、とんでもない数の人間が一匹の犬に導かれて走っていくという作品だ。圧倒される映像だ。ゲーム作品がグランプリを獲るのははじめてだとおもう。ADC受賞作品も新しい時代に入ったな、と実感した。

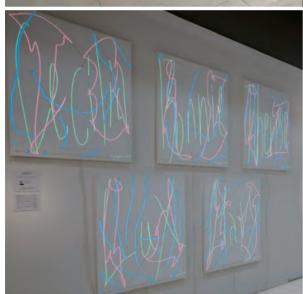
ADC展委員 副田高行

After going through the pandemic disaster, I would have assumed that the advertising and design realms had suffered some damage. But looking at the Tokyo ADC Award-winning works, I sensed that everyone is coping quite well. The Grand Prize-winning work was the video game HUMANITY by Yugo Nakamura. Posters and graphics undeniably stood out more than videos during the final round of judging, but as the voting proceeded, it was for Mr. Nakamura's work that votes poured steadily in, giving it an overwhelming victory. HUMANITY's theme is a noble one: Where is mankind heading to? In the video, an uncanny number of people run past, all led by a single dog. The visuals are overwhelming. I believe this is the first time a video

game has won the Grand Prize. It gave me a sense that Tokyo ADC Award-winning works have entered a new era.

Takayuki Soeda, Member of Tokyo ADC Exhibition Committee











Daijiro Ohara HAND BOOK

December 11, 2023 - January 31, 2024

Daijiro Ohara HAND BOOK





ラフや原画をここまで広げたのは初めてのことでした。完成形よりも、なにかになろうとしている〈手前のかたち〉に心惹かれます。それらをただ並べて懐かしんだりするのではなく、展覧会や書籍を通して新鮮な見え方や聴こえ方になるような再生装置となれたら。デザインのお手本や手引書のようになるよりも、ささやかな相槌や手拍子のような合いの手を打つようなものになれたら。屋台のような仮設という状態にも、不動のものとはまた違う一回性ならではの力を感じます。手探りと手遊びと合いの手の中で、気づけば皆勤賞並みに在廊してしまうほど楽しい空間をつくりあげた組み手のみなさまへ、そしてお越しくださったみなさまへ感謝が尽きません。

大原大次郎

This was the first time I showed my rough sketches and original drawings to such an extent. More than finished works, I'm fascinated by still-unfinished forms that are on the verge of becoming something. Rather than just lining them up and getting nostalgic, through this exhibition and my book I hope they might awaken fresh ways of viewing or "listening" to them. Rather than serving as models or guides to design, I hope they might be like a kind of background accompaniment. The temporary nature of the exhibit fixtures, suggestive of food stalls, has a strength of impermanence unlike something immovable. I wish to express my deepest appreciation to everyone who, with a mixture of trial-and-error and playfulness, helped to put together an enjoyable space where I found myself in attendance practically every day, and to everyone who visited the exhibition.

Daijiro Ohara













YOSHIROTTEN Radial Graphics Bio

February 14 - March 23, 2024

YOSHIROTTEN Radial Graphics Bio ヨシロットン 拡張するグラフィック



Photo 1, 2, 4-7: Photography by Yasuyuki Takaki

僕がグラフィックデザインを知ったきっかけの一つに70-80年代の日本のグラフィックデザイナーの方々の存在がありました。彼らが制作物を発表し続けてきた由緒あるgggで何をすべきかワクワクしながら考え、あの頃自分が受けた衝撃や感動を伝える展覧会にしようと決めました。会場に印刷物の作品はほとんどなく、1階では約80台のモニターを使い、自分のグラフィックの原体験をRGB Punkと題して構成。地階はRadial Graphics Bioと題し、光る床の上に20台のモニターを拡げ500点のアーカイブを見せるフロアを構成しました。改めてグラフィックの面白さやアートディレクションの可能性を伝えることができたのではないかと感じています。いつかまたこの場所で僕の放射状に広がっていく活動領域を見せる展覧会ができたらと妄想しながら、これからも活動していこうと思います。楽しい時間をありがとうございました。 YOSHIROTTEN

My interest in graphic design was fueled, in part, by the presence of Japan's graphic designers active in the 1970s and '80s. As I pondered excitedly what I should do for my solo exhibition at ggg, a gallery of historic renown as a location where those designers showed their works, I decided to aim for an exhibition that would convey the powerful emotional impact of what I had experienced in those days. I opted to show almost no printed materials. On the ground floor, in what I called "RGB Punk," I employed roughly 80 monitors to convey my formative experiences in graphics. On the underground level, which I titled "Radial Graphics Bio" (in the sense of radially expanding graphics), I presented an archive of 500 of my

works using 20 monitors, some on an illuminating floor. I believe I was successful in conveying the entertaining aspect of graphics and the possibilities of art direction. Going forward I will continue my activities, dreaming of someday holding another exhibition at which I would show my radially expanding scope of activities. Thank you for giving me this enjoyable opportunity.

YOSHIROTTEN













kyoto ddd gallery 2023-24

March 21 - May 21, 2023

"edition.nord: Factory dddd: encompassee, entanglement, derivatives"

Space configuration / Buku Akiyama "Situations No.7: with equipment of 'kyoto ddd gallery'"

May 31 - July 30, 2023

Kasai Kaoru Exhibition: NOSTALGIA

August 9 - October 15, 2023

Saul Steinberg: Lines that Transform the Real World

October 25, 2023 - January 7, 2024

Outlier: The Works of Picture Book Editor Daisuke Tsutsui

January 17 - March 17, 2024

MIRROR/MIRROR:

Documenting the Edge of Contemporary Printmaking - CANADA/JAPAN



"edition.nord: Factory dddd: encompassee, entanglement, derivatives"

Space configuration / Buku Akiyama "Situations No.7: with equipment of 'kyoto ddd gallery'"

March 21 - May 21, 2023

エディション・ノルト | ファクトリー dddd:被包摂、絡合、派生物/ | 会場構成 | 秋山ブク | シチュエーションズ7番:京都dddギャラリーの備品による



全部異なる手描きのDMと手作りのチラシ、ポスターには穴が空いていて丸めにくい。会期中何度も変化する展示空間は、設計プランなしの即興的構成。展示物にはキャプションがなく、ヤレや破片などの余剰物に紛れている。作家と友達とお客さんがそこで何かを継続的に作っている。展示会場で、対面トークと海外とのリモート・トーク等のイベントが5回行われ、すべての映像がアーカイヴされる。エントランス空間はブックフェアのように本が並ぶ――。ほんと、様々に「展覧会」の決まりごとから逸脱する企画でした。でも、私達は素晴らしい「場」がそこにつくれたと思っています。最後までサポートしてくださったギャラリーの方々には感謝しかありません。

秋山 伸

Hand-drawn direct mail and hand-made flyers, each piece different; posters with holes, making them difficult to roll up. The exhibition space was changed again and again, each time improvised without a design plan. The items on display had no captions and were mixed together with superfluous stuff like waste paper and fragments. The artist, his friends and guests continuously made something there. Events in-person dialogues, remote talk with people overseas, etc. - were held 5 times, all filmed and archived. The entrance space contained a display of books, like in a book fair... Really, in various ways this was a show that veered from the stereotypical "exhibition." But, I think we made a wonderful "space" there. I'm totally

grateful to everyone at the gallery for their support all the way through.

Shin Akiyama













Kasai Kaoru Exhibition: NOSTALGIA

May 31 - July 30, 2023

葛西薫展 NOSTALGIA



「NOSTALGIA」という語感に惹かれて展覧会のタイトルにした。最初に描いたのは、左手人差し指に攻められて右手がのけぞっている図だ。これは過去の雑記帳から見つけ出したスケッチが元になっている。いつなぜ描いたか憶えがなくて画題の「怒れる手」は後付けである。この1作目が出来たところで、自分の記憶の中から絵にするきっかけを見つけては脈絡なくカタチにしていった。数ヶ月後、出来上がった作品群は思いもよらぬものの集合となったが、忘れていた自分に出会えたように感じた。そして、ここに至る制作途上での鳥口やボールペンでの手作業、インクの滲みや匂い、擦れの音や紙の弾力もまた僕にとってのNOSTALGIAであった。

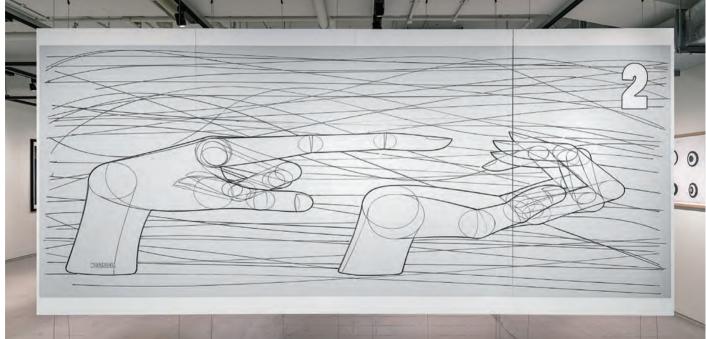
葛西 薫

I titled the exhibition "NOSTALGIA" because I like the sound of the word. The first thing I drew was a figure showing the right hand flinching under attack from the forefinger of the left hand. It's based on a sketch I discovered in one of my old notebooks. I have no recollection of when or why I drew it, and the title, "Angry Hand," I added later. Once this first work was finished, I began picking my memory in search of earlier ideas I could turn into drawings, and these took shape in altogether desultory fashion. After several months, I had amassed an unexpected collection of finished works, and I had the feeling of having encountered a "me" I had forgotten. And working by hand with ruling pens and ballpoint pens, the blotted ink and its

smell, the rubbing sounds and elasticity of paper were also nostalgia to me.

Kaoru Kasai









Saul Steinberg: Lines that Transform the Real World

August 9 - October 15, 2023

ソール・スタインバーグ シニカルな現実世界の変換の試み





矢印は、目指す方向を明らかに読み取れる記号の筈なのに、人の運動の方向とは反対の後方を向き、困惑させる概念を示している。また、渦巻きを用いて描かれた螺旋状、あるいは同心円に、厚さ、あるいは奥行きがなく扁平な人物が登場する。スタインバーグのこれ等のドローイングを見せられれば、有り得る筈がない情景と映ったとしても、すぐに考えさせられることになる。スタインバーグは、理性と感性の間を駆け巡る遊び手。その遊びとは……。既成の概念のままでいいのか、それともそれ等を覆すことを重要と考えるのか、その哲学を我々に問うものである。我々がその問いに翻弄されても、新しい扉を開いてくれる一つの啓示と考えればいいのだろう。

矢萩喜從郎

An arrow should be a code clearly indicating the direction aimed at, but in Saul Steinberg's works, confusedly, they face backward, toward the rear, opposite to the direction of human movement. Within a spiral depicted by a vortex, or concentric circles, appear completely flat human beings without thickness or depth. When shown these and other drawings of Steinberg's, even if what they depict strikes us as impossible, they immediately set us to thinking. Steinberg playfully shifts between the rational and the emotional. What he plays at is this: He questions us with his philosophy. Is it enough to embrace pre-existing concepts, or more important to overturn such concepts? Even if we are at a loss how to answer, it's enough to consider the question a revelation that opens up a new door.

Kijuro Yahagi





Outlier: The Works of Picture Book Editor Daisuke Tsutsui

October 25, 2023 - January 7, 2024

はみだす。とびこえる。絵本編集者 筒井大介の仕事



一人の編集者の仕事にスポットをあてる展示ということで、自分でも気づいていなかった何らかの共通点、通底するものが感じられるのではと、開催前にはそのように感じていました。しかし、展覧会を観て感じたのは、見事にバラバラだな、ということでした。今回52名の作家にご参加いただきましたが、そこには52通りの作家と編集者の関係性があったわけです。それぞれの絵本を作る過程に、その作家とだけの、そしてその時だけの関係性があり、思考や判断が存在します。考えてみれば当たり前のことですが、明確に意識したことはありませんでした。一人の編集者の仕事をみる展示だからこそ気付いたことだとも言えます。出展作のどれも、編集者が違えば全く別の作品になっていたはずです。世界には、全く違う関係性で作られた、全く違う絵本が溢れているといえます。そのことは、そのまま絵本というものの豊かさと可能性を指し示すものではないかと感じています。 筒井大介

As this exhibition was to focus on my work as an editor, beforehand I felt it might enable me to recognize some points in common or underlying threads in my works that I had not realized before. But after seeing the exhibition itself, I came away sensing that everything was absolutely disconnected. Fifty-two artists took part, and what was revealed were 52 different relationships between myself and the artists. In the process of creating each picture book, my relationship with each artist and occasion is unique, and considerations and judgments are made in the given context. On reflection this is altogether natural, and yet I had never been consciously aware of this before. It was also something realized precisely because it was an exhibition

focused on my work as an editor. Each work on display would have been completely different had its editor been someone else. The world overflows with completely different picture books resulting from totally different relationships. This in itself I think bespeaks the richness and possibilities inherent in the realm of picture books.

Daisuke Tsutsui









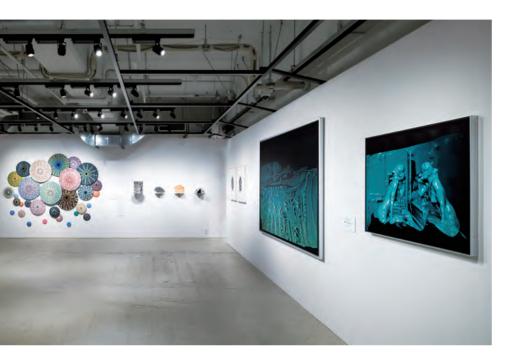


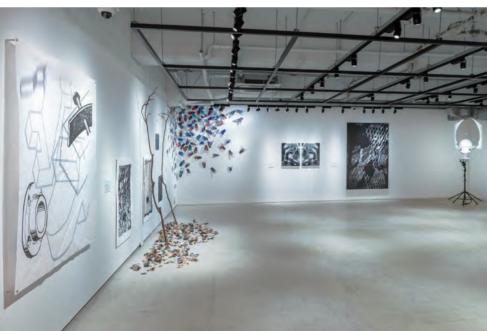
MIRROR/MIRROR:

Documenting the Edge of Contemporary Printmaking - CANADA/JAPAN

First period: January 17 - February 12, 2024

MIRROR/MIRROR: カナダ・日本 現代版画ドキュメント(前期)





「MIRROR/MIRROR:カナダ・日本 現代版画ドキュメント」展は、現代版画の多様性と成熟を共有しつつも変革を継続する、日本とカナダの野心的な作家16名の最近作による展覧会である。技法や形式によって領域を確定することが無意味と思える現代の美術情況の中で、今あえて版画にこだわることによって生み出される表現の質とは何か?とりわけ写真テクノロジーの流入以降の様々な試みに重点を置きつつ紹介を試みた。両国の版画表現の現況や歴史的背景を知ることを通して、二つの文化の友好関係と相互理解を深化させる場の構築を目指した。会期中、出品者が出席するシンポジウムが開催され活発な意見交換が行われた。

木村秀樹

This exhibition featured the most recent works of 16 highly driven printmaking artists from Japan and Canada. Even as contemporary printmaking in both countries demonstrates diversity and maturity, their artists are continuously innovating in different directions. Although in today's art world it seems meaningless to define areas of activity based on technique or form, this exhibition, by focusing on printmaking, sought to explore how to define quality of expression. In particular, it focused on various experiments undertaken since the influx of photographic technology into the printmaking realm. In mounting this exhibition, the aim was to deepen both the ties of friendship and mutual understanding between Japanese and Canadian cultures through exposure to each country's current state of printmaking and historical background. During the exhibition's run, a symposium was held featuring exhibiting artists from both Japan and Canada in a forum of lively exchange.

Hideki Kimura



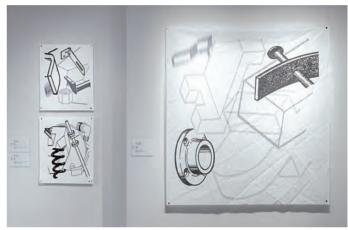
清野 耕一 Koichi Kiyono



ウィリアム・ラング William Laing



吉岡 俊直 Toshinao Yoshioka



デレク・ベサント Derek Michael Besant



ウォルター・ジュール Walter Jule





金 光男 Mitsuo Kim



高橋 耕平 Kohei Takahashi

MIRROR/MIRROR:

Documenting the Edge of Contemporary Printmaking – CANADA/JAPAN

Second period: February 17 - March 17, 2024

MIRROR/MIRROR: カナダ・日本 現代版画ドキュメント(後期)





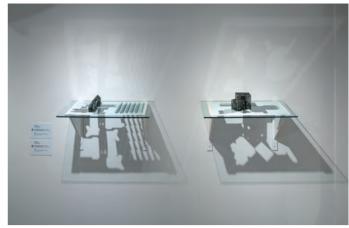








ルネ・デロウィン René Derouin



木村 秀樹 Hideki Kimura



ショーン・コーフィールド Sean Caulfield



大﨑 のぶゆき Nobuyuki Osaki



トレイシー・テンプルトン Tracy Templeton



リズ・イングラム Liz Ingram



大島 成己 Naruki Oshima



教育・普及事業

Education & Enlightenment

ギャラリートーク概要

日本のアートディレクション展 2023 ギャラリートーク (YouTube配信)

出演者:中村勇吾+田中良治

ゲストは、PlayStation、Steam [HUMANITY] のビデオゲームで ADCグランプリを受賞した中村勇吾氏と、TOPPAN「グラフィック トライアル / 5 SISTERS」のポスターでADC賞を受賞した田中良 治氏の二人。まずは二人の受賞作となった作品についてそれぞれ 解説していただいた。お互いの話を聞いていく中で、中村氏が発 見したという二人の共通点は、二人ともあまり全体的な構想がな いということ。どういうことかといえば「こうしよう」と思って最初 に意図してその通りにつくると意図通りになるだけでクリエイティ ブ的にもビジネス的にも飛躍がないため、偶然「こうなった」とい うこと、意図を超えたところを二人とも重んじているという。中 村氏の場合、例えば家を建てるとなったら、トップダウンで考えず にレンガの方に着日をして「このレンガを活かすにはどんな家が良 いだろうか」と基本的にボトムアップで考えることで予定調和を超 えていく。一方、田中氏は完成が見えてくると、もう少し空き地、 余白がないかを探して、主題ではなく脇の方で何か面白いことを 始められないか考えるという。そんな二人の丁々発止のやりとり はその後も続き、トークイベントは大盛況のうちに幕を閉じた。



Daijiro Ohara HAND BOOK ギャラリートーク

出演者: 大原大次郎+角張渉

ゲストは、デザイナーの大原大次郎氏と、彼とは20年近く一緒に 仕事をしているという音楽レーベル「カクバリズム」代表の角張渉 氏の二人。長年の苦楽を共にした二人の軽妙なトークに会場から は歓声があがった。今回のトークでは、大原氏がデザインを手がけ た 「カクバリズム」 所属のバンド 「SAKEROCK」 のアートワークを 時系列で紹介をしながら、彼のデザインの軌跡を振り返っていく。 大原氏曰く、「SAKEROCK」の音楽の成熟度にのせられて、自ら が生み出す書体自体も徐々に強くなっていったとのこと。一方で、 角張氏からみた大原氏のデザインはというと、ひと手間かけるど ころか6手間くらいまで積み重ねていくことが大原氏の平常運転 だという。アイデアを何パターンも提案してくるデザイナーは多い が、パターンとはあくまで枝分かれしたもの、大原氏の提案するア イデアのすべては枝ではなくてもっと本質的な部分、つまり木の幹 だという。今回の展示「Daijiro Ohara HAND BOOK」では完成に 至るまでの経緯(木の幹)を圧倒的な物量と共に見せていてすごく 良いです。お疲れ様です。素晴らしい。と角張氏が大原氏の労を ねぎらいトークイベントは大盛況のうちに幕を下ろした。



葛西薫展NOSTALGIA ギャラリートーク「NOSTALGIA をめぐって」

出演者: 葛西薫

gggでの約30年ぶりの個展開催に向け、白紙の状態から 何をすべきかが難しかったとのこと。20年以上にわたり、 思いついたことなどを言葉や絵で記録したノートを見てい るうち、忘れていた過去のことが次々に浮かび上がり、 「NOSTALGIA」というタイトルをつけたことで、手が自然に 動き始めてできた作品たちだとも。以前より自分の中にあ ったものを写真やイラスト、抽象的な形など様々な方法で 形にしてみる時の手を動かしている過程、その面白さを個々 の作品にまつわる映像、音楽や書籍等を用いて紹介。ddd用 に新たに作られたクローバーのオブジェづくりについても、 やってみるとそれまで考えなかった苦労などが分かり、それ がまた楽しいのだという。最後の質疑応答では、若かりし時、 広告マンとして、映画の大御所との仕事でこっぴどく叱られ た話も披露。今やベテランである葛西氏も子供時代から変 わらずモノづくりの世界を楽しむことを通じて段々と出来 上がってきたのだ、と実感できたトークであった。



はみだす。とびこえる。絵本編集者 筒井大介の仕事 ギャラリートーク (YouTube配信)

出演者: 筒井大介+ミロコマチコ+漆原悠一

筒井氏が絵本3冊を手がけたミロコマチコ氏(画家・絵本作家)との 付き合いは長く、お酒も酌み交わす仲。打合せは何もない所から 始まることもあれば、ミロコ氏が絵具で大きく描いたラフを持ち込 おことも。画家と編集者は絵本のアイデアを一緒に作る仕事。筒 井氏曰くお話を作ることが絵本作りではなく、アイデアの種を探し 大切に育てあげること。行き詰まるのはアイデアを忘れた時。故 に作家とのコミュニケーションは大切で、自分の面白さが分かって いない画家に、フリーの編集者? と怪しまれつつSNSのメッセー ジでコミュニケーションを取ることも。ミロコ氏は自分の面白さを 知られていると絵本作りは面白いと。漆原悠一氏 (グラフィックデ ザイナー) は絵本のデザインは、ページが絵で埋め尽くされた中、 一番良い見せ方を探ることだと。ページへの滞留、めくることを促 すのもデザイン。ミロコ氏の『ドクルジン』では、展開に合わせフォ ントを少しずつ大きくした。筒井氏の根底にはナンセンス絵本の 神様・長新太氏がいて、その影響で子供の筒井少年を楽しませる、 対象は大人までの絵本を作っているという。そこに定番ではない絵 本を次々と生み出す氏のポリシーがあると分かるトークだった。



Daijiro Ohara HAND BOOK クロージングイベント「HAND BOOKの手遊び」 ギャラリーツアー

出演者:大原大次郎+高橋秀之+小野田将+草間翔太

展覧会最終日の閉館後に人数限定のギャラリーツアーを開催し た。アテンドするのは、大原氏と本展設営チームsenkiya店主の高 橋秀之氏、minariの小野田将氏、senkiya ATONIMOの草間翔太 氏の4名。設営の裏話を交えた4人の息の合った掛け合いに参加 者からも思わず笑みがこぼれる。今回、展示什器に使われた資材は、 そのままでは廃棄されてしまう古い民家の貴重な古材を草間氏が 中心となってレスキューしたもの。設営初日には展示作家の大原 氏自ら古材を載せた軽トラックをギャラリーに乗り付けて搬入し、 設営チームと共に展示空間を作り上げていった。まさに展示空間 自体も大原氏自身の「HAND(手)」を動かした作品の一つといえ よう。設営作業中、高橋氏と小野田氏は離れた場所で別々の作業 をしていても、予め示し合わせたかのようにお互いの仕事が最終 的にピタリとハマる瞬間が何度もあったという。大原氏はこれを 「合いの手」と表現する。そんな即興的な個々の演奏が全体のグル ーブを生み出す音楽ライブのように作り出された展示空間を巡る ギャラリーツアーは、名残惜しくも大盛況のうち終了した。



YOSHIROTTEN Radial Graphics Bio ヨシロットン 拡張するグラフィック ギャラリートーク

出演者: YOSHIROTTEN+西野愼二郎+河尻亨一

河尻亨一氏(編集者)をモデレーターに、YOSHIROTTEN氏と彼 のキャリアのスタートから見守ってきた西野愼二郎氏 (GAS AS INTERFACE代表取締役) の3名が登場。YOSHIROTTEN氏の 15年にわたるクリエイティブヒストリーが詰まった展示やクリエ イターとしての姿勢、彼を構成するクリエイティブコスモス (環世 界)を少しずつ紐解いていく。YOSHIROTTEN氏の中には「作り たい」という強い衝動が常にあり、これまで作品を作り続けてき たという。その度にあるレベルに達しているか、10年後にみても カッコよいと思えるかを自問自答しながら作ってきた作品は、優 に数万点を超えるが公開しているものは氷山の一角に過ぎないと いう。長年親交のある西野氏曰く、YOSHIROTTEN氏は新しい グラフィックに触れることを純粋に楽しんでいると感じているとい う。強度の高いクリエイティブやそれを産み出した先人たちへの リスペクト、何よりも「グラフィックを更新し続けたい」という強 い衝動が創作の原動力となっているようだ。YOSHIROTTEN氏 の環世界の一端に触れる刺激的なトークイベントとなった。



MIRROR/MIRROR: カナダ・日本 現代版画ドキュメント シンポジウム「制作の現場から」

出演者: デレク・ベサント、ショーン・コーフィールド、 アレクサンドラ・ヘイセカー、ウィリアム・ラング、トレイシー・テンブルトン、 加納俊輔、金光男、木村秀樹、清野耕一、大崎のぶゆき、 大島成己、高橋耕平、吉岡俊直 (+ ウォルター・ジュール)

登壇者多数で、ギャラリー隣接の会議室で開催。日本側の取り 纏め役である木村氏が貴重な国際交流の場となったと挨拶。録 画でカナダ側の取り纏め役、ジュール氏が登場し、字幕入りの映像で基調講演。カナダの版画の歴史背景、特色や動向について、データも用いアカデミックに解説。カナダ人気質には、面積世界 2位の国土にわずか約4千万人が居住する環境や豊かかつ厳しい自然の影響が少なからずあり、作品にも反映。多くの移住者を受け入れて来た歴史から他国より多様性が備わるとも。その後、出展作家が各自スライドを用いながら、自身の作品への想いや考え方を詳しく紹介。版画でここまでやれるのだ、という作品に込めたコンセブトが伝わった。会場で作品を観るだけでは理解できない、深い考えや背景、そしてさまざまな技法を知る事ができた。最後の質疑応答でも多数の参加者から作品への感想、コメントや質問が活発に行われ非常に有意義なシンボジウムとなった。



ART DIRECTION JAPAN 2023 EXHIBITION Gallery Talk (posted on YouTube)

Participants: Yugo Nakamura + Ryoji Tanaka

The guests for this Gallery Talk were Yugo Nakamura, winner of the ADC Grand Prize for the video game "HUMANITY" for PlayStation, Steam, and Ryoji Tanaka, winner of an ADC Award for "Graphic Trial / 5 Sisters" posters. They began by offering a commentary explaining their award-winning works. Mr. Nakamura, on listening to Mr. Tanaka's remarks, said he discovered they share something in common: namely, the relative lack of a comprehensive concept. What he meant by this, he said, was that if they were to set out with a specific idea in mind and then carry it out precisely, they would merely end with what they intended, eliminating any chance of making a dramatic leap either creatively or in business terms. This is why, Mr. Nakamura added, they both prefer to let chance have its way, resulting in a work that exceeds their original intentions. In his own case, he said that if he were building a house, for example, rather than starting from an overall plan and working down to the details, he would focus on a specific material like bricks and then consider how to build a house that would use bricks to maximum effect. Mr. Tanaka for his part said that whenever completion comes into view, he begins looking for a little more empty space, an extra margin of leeway, pondering whether, rather than in his main subject, there isn't something interesting to be found lurking along the sidelines. Mr. Nakamura and Mr. Tanaka's verbal sparring continued thereafter, bringing to a flourishing close.



Daijiro Ohara HAND BOOK Gallery Talk

Participants: Daijiro Ohara + Wataru Kakubari

The guests for this Gallery Talk were designer Daijiro Ohara and Wataru Kakubari, principal of the music label KAKUBARHYTHM, who has worked with Mr. Ohara for close to 20 years. Their lighthearted talk of sharing good times and bad for so many years brought bursts of laughter from the audience. The discussion was a retrospective look at Mr. Ohara's design through the years, seen against the timeline of his design work for SAKEROCK, a band performing under the KAKUBARHYTHM label. Mr. Ohara said that as SAKEROCK's music increasingly matured, he gradually made the typefaces he created for them more forceful. Mr. Kakubari spoke of Mr. Ohara's design work marveling how it was altogether usual for him to put six times as much effort into his designs as designers normally do. He added that while many designers offer a multitude of proposals relevant to a given idea, their proposals are like different branches all from one tree, whereas the proposals made by Mr. Ohara aren't branches split off from a single idea but rather all ideas that can stand on their own, like the trunks of different trees. In the "Daiiiro Ohara HAND BOOK" exhibition, Mr. Ohara showed an overwhelming amount of the processes by which he perfects his tree trunks - brilliantly and exhaustively, said Mr. Kakubari. The event was a huge success with its audience.



Kasai Kaoru Exhibition: NOSTALGIA Gallery Talk "Talking about NOSTALGIA"

Speaker: Kaoru Kasai

Mr. Kasai said that in preparing for his first solo exhibition at ggg in nearly 30 years, he found it difficult to decide how to proceed as he was entirely free to exercise his own discretion. While poring over notebooks in which, over a period of more than 20 years, he had recorded words or drawings that happened to cross his mind, one after another he began recalling things from the past which he had forgotten. Deciding to title his upcoming exhibition "NOSTALGIA," Mr. Kasai guickly found himself creating works for the show. Using video, music, books and so on relating to individual works, he spoke of how interesting he found the process of giving form, through media such as photography, illustration and abstractions, to things he had long had inside himself. In creating a new clover object specifically for the show at ddd, Mr. Kasai said he came to recognize a kind of difficulty he hadn't imagined before which, he said, he actually found enjoyable. During the Q&A session after his talk. he revealed how he had been scathingly taken to task when, as a young man then in the advertising business, he had worked with a big name in the film industry. Now an old hand at his art. Mr. Kasai said his works gradually take shape through his enjoyment of making things - a stance that hasn't changed ever since his childhood. That enjoyment was palpable in this Gallery Talk.



Outlier: The Works of Picture Book Editor Daisuke Tsutsui Gallery Talk (posted on YouTube)

Participants: Daisuke Tsutsui + mirocomachiko + Yuichi Urushihara

Mr. Tsutsui has known painter and picture book artist mirocomachiko for a long time, having worked with her on three of her picture books. On occasion their meetings begin completely from scratch, while at other times Ms. miroco brings along large rough drawings she made with paints. Their task is to collaborate, as painter and editor, in coming up with ideas for a picture book. Mr. Tsutsui said that making a picture book isn't the creation of a story, but rather a search for seeds of ideas and carefully raising them. When he runs into a brick wall, he said, is when he forgets an idea they discussed, which is why communication with the artist is so important. Ms. miroco said when the editor understands what makes her works interesting, picture book making is interesting. Yuichi Urushihara, a graphic designer, offered that designing a picture book is a search for the best way to show each picture-filled page. He said that design aims to get the viewer to stay focused on a page, and also to instill the desire to turn to the next page. In Ms. miroco's DOKURUJIN, as the story unfolded, he gradually increased the font in size. Mr. Tsutsui said the underlying inspiration behind his works is the "king of nonsense picture books" Shinta Cho (1927-2005). whose work entertained Mr. Tsutsui as a child. Today, he said he creates picture books that will be interesting for adults as well. From this Gallery Talk, his policy of creating a succession of "outlier" works became clear.



Daijiro Ohara HAND BOOK Closing Event: "Playing with HAND BOOK" Gallery Tour

Participants : Daijiro Ohara + Hideyuki Takahashi + Masashi Onoda + Shota Kusama

After the closing of the "Daijiro Ohara HAND BOOK" exhibition on its final day, a Gallery Tour was held by Mr. Ohara accompanied by the team who had set up the show; Hidevuki Takahashi, owner of senkiva, Masashi Onoda of minari, and Shota Kusama of senkiya ATONIMO. Injecting inside stories about setting up the exhibition, the four "tour guides" bantered back and forth, always on the same wavelength, generating laughter among the tour quests. The exhibition fixtures were made from rare used materials from an old folkhouse which Mr. Kusama and others had rescued from their fate on a scrap heap. On the first day of setting up, Mr. Ohara himself drove up to the gallery in a small truck loaded with the old materials. After carrying the materials in, he and the three others began putting together the exhibition space. In this way, one could say that the exhibition space itself was also a work made by Ohara's own HAND. During the setup process, even at times when Mr. Takahashi and Mr. Onoda were off doing work separately, they said ultimately everything fit together exactly as if they had arranged everything in advance - working "hand in hand," as Mr. Ohara put it. It was like they had each improvised a tune, then brought everything together as a group and played it live. The guests were sad to see their special tour come to an end.



YOSHIROTTEN Radial Graphics Bio Gallery Talk

Participants : YOSHIROTTEN + Shinjiro Nishino + Koichi Kawaiiri

This Gallery Talk featured YOSHIROTTEN and Shiniiro Nishino (GAS AS INTERFACE, GASBON METABOLISM, CALM & PUNK GALLERY), who has kept a close eye on YOSHIROTTEN's works since the start of his career, with Koichi Kawajiri (Editor, Ginga writer) serving as moderator. The discussion not only covered this exhibition, which presented an overview of YOSHIROTTEN's 15 years in creative endeavors, but also offered glimpses into YOSHIROTTEN's stance as a creator throughout his career and his creative cosmos. YOSHIROTTEN said he has continuously created out of a constant powerful urge to make something. He stated that on every occasion he has always asked himself whether or not what he has made achieves a certain level and whether it will still likely be "cool" 10 years into the future. He further noted that what he has publicly shown throughout his career is only the tip of the iceberg, that he has actually created well over 20,000 works in all. Mr. Nishino commented that YOSHIROTTEN seems to purely enjoy coming into contact with new graphics. He seems to be inspired to create by a powerful urge to keep updating graphics, even while paying respect to the creatives who came before him and their longenduring works. The talk ended after offering these glimpses into YOSHIROTTEN's creative cosmos. It was a highly stimulating event.



MIRROR/MIRROR: Documenting the Edge of Contemporary Printmaking – CANADA/JAPAN Symposium "from the Creation Scene"

Participants: Derek Michael Besant, Sean Caulfield, Alexandra Haeseker, William Laing, Tracy Templeton, Shunsuke Kano, Mitsuo Kim, Hideki Kimura, Koichi Kiyono, Nobuyuki Osaki, Naruki Oshirma, Kohei Takahashi, Toshinao Yoshioka (+Walter Jule)

Hideki Kimura, coordinator on the Japanese side, opened with on how valuable the occasion was as international exchange. Walter Jule, coordinator on the Canadian side, gave a pre-recorded keynote speech with Japanese subtitling. He offered an academic overview of the historical background behind printmaking in Canada, its special characteristics and predominant trends. He said that Canadians to a significant extent tend to be impacted by their natural environment - a rich but harsh environment in which only about 40 million people live in the world's second-largest land territory - and this is reflected in Canadian artists' works. Mr. Jule added that Canada is more diverse owing to its history of accepting numerous immigrants. Next, the various participating artists introduced their approaches and thoughts about their works. Their talks enabled us to know the deep thoughts, backgrounds and techniques that went into their works - facets one cannot understand by simply viewing works. In the closing Q&A session, many participants offered up comments on the various works and asked many questions, resulting in a significant symposium.



ddd Online Contents Overviews

dddオンライン・コンテンツ概要

「エディション・ノルト | ファクトリー dddd: 被包摂、絡合、派生物/ | 会場構成 | 秋山ブク | シチュエーションズ7番: 京都 ddd ギャラリーの備品による | 会期中に撮影した YouTube 配信の動画コンテンツ

"edition.nord: Factory dddd: encompassee, entanglement, derivatives"

Space configuration / Buku Akiyama "Situations No.7: with equipment of 'kyoto ddd gallery'" videos posted on YouTube.



レクチャー | ポスト・デジタル内職パンク ー手を汚せ!特異点を前に

出演者: 秋山伸

展覧会場にて撮影。アルゼンチンの紀元前550年頃のラス・ マノス洞窟のハンド・ステンシルは一種の孔版印刷で、描い た人の美的判断によるデザインが存在したとする。人類は 手を使うことで進化し、音声言語を持ち、表音文字に至った。 出版物の販売金額は下降しているが、発行冊数はあまり減 っていない状況という。エディション・ノルトの活動は、で きることから始めるが信条。2010年新潟へ戻り、内職的に レーザープリンターや簡易製本によるブリコラージュを実 践。本のポスト・デジタルは、大手印刷会社による大量複製 だけではなく、ZINE (ジン) やハンドメイドにより、読者へ の機能性より著者の表現性に近づいている。いくつかの本 のアーカイブによるブックフェアにも参加。「被包摂」とは、 子供たち参加のワークショップで、主催者側が彼らの参加に 包まれ成り立つ活動。神戸芸術工科大学着仟後も、手作業 による独自の本づくりを行ってきた。本展告知物にもそれ を応用。2045年の特異点とは、AIが人間の脳に匹敵する ことを指すが、秋山氏はAIがいくら進歩しても世界の複雑 さは理解できず、人間の脳しか理解・表現できないデザイン を探求するという。

Lecture | Post-digital home job punk, get your hands dirty! Before the singularity

Speaker : Shin Akiyama

This lecture was videotaped at the gallery during the exhibition. Hand stencils in Argentina's Cueva de las Manos (Cave of the Hands) dating from circa 500 BCE suggest that a form of stencil printing existed and was used to make designs reflecting conscious aesthetic judgments by those who created them. Humankind evolved through use of the hands, acquired spoken languages, and then phonetic writing systems. Mr. Akiyama stated that today, while prices of published works are in decline, publication volumes are not falling very much. The creed of edition.nord is to start from what one is capable of. After returning to Niigata in 2010, Mr. Akiyama engaged in bricolage at home on the side, using a laser printer and simple bookbinding. Post-digital books go beyond the mass-produced reproductions of major printing companies; as zines and handmade books, they are closer to the expressive quality of the writer than functionality which targets the reader. edition.nord has also participated in a number of book fairs based on its book archives. "encompassee" is a workshop for children where the organizer is "encompassed" by their participation. Since taking up his post at Kobe Design University, Mr. Akiyama has created unique hand-made books, a technique which he also applied in creating the publicity materials for this exhibition. By "the singularity of 2045," he refers to the time when Al will equate to the human brain. But Mr. Akiyama opined that no matter how much progress Al might make, it will be unable to understand the complexities of the world. He himself will pursue design that can be understood and expressed only by the human brain.



レクチャー(補遺) | ポスト・デジタル内職パンク 一手を汚せ!特異点を前に

出演者: 秋山伸

前回のレクチャーで伝えきれなかったことを補うために収 録。本展会場構成を担当した秋山ブク(秋山氏自身)の活 動を紹介。建築を学びながらグラフィックデザインへ進んだ のは、美しさより自由を好むからだという。建築の自由は 使う人にありと考え、利用者の立場でアプローチを続けて きた。本展同様、会場の備品のみで構成し、終了後は元に 戻せることが特徴。作品制作で生じたヤレ等「派生物」まで 展示するなど、これまでブク氏が行ってきた様々な展示 (コ ンポジション) を写真や映像で解説。展示を通じ、本づくり のコンサルタントやアーティスト自らのアーティストブック づくりの支援も開始。ワークショップなどを開催するなどの コラボレーションを通じて出て来たのが「絡合性」。組み合 わさって重なる取り組みの豊かさを大切にしている。補遺 で紹介された数々の作品の発想は非常に自由でありなが ら、十分な説得性を持ち、そこに手を動かすことから生ま れる高いデザイン性を感じる。秋山伸とブクに通底するの は水平垂直ではなく、自然の中の自由を愛する点ではない かと締めくくった。

Lecture (Appendix) | Post-digital home job punk, get your hands dirty! Before the singularity

Speaker: Shin Akiyama

This lecture was recorded as an appendix to Mr. Akiyama's previous talk, to convey what he hadn't covered earlier. He introduced the work performed by Buku Akiyama (Mr. Akiyama himself), who was in charge of putting together this exhibition. He said he had gone into graphic design while studying architecture because he preferred freedom over beauty. He believes architectural freedom belongs to the user, so he has continuously approached his work from the standpoint of the user. As with this exhibition, composition uses only the exhibition fixtures, and after it is over everything can be returned to its original state. Using photographs and videos, Mr. Akiyama introduced the various exhibits (compositions) Buku Akiyama has made to date, including displays of "waste" and other "derivatives" generated during the production process. Through this exhibition, he began work as a consultant in bookmaking and supporting the creation of books by artists themselves. From collaboration in holding workshops and the like, what emerged was "entanglement." He accords importance to the richness of entangled and overlapping initiatives. While the ideas of the many works he introduced in this Appendix were extremely free, they were fully convincing, giving a high sense of design that comes from moving one's hands. In closing, Shin Akiyama said what he and Buku Akiyama have in common isn't horizontality/verticality but rather a common love of freedom within nature.







リモート・トーク | ori.studio (北京) × edition.nord

出演者:マキシム・コーミエ+秋山伸

冒頭、グラフィックデザイナーのコーミエ氏は、自らの活動 は既存解釈を再配置可能にする環境づくりに本を使うこと だと語る。事前の相互質問への回答では、秋山氏より中国 の出版動向や『C-side』に日本人が多い理由などを質問。 コーミエ氏からの秋山ブクと伸の二つのペルソナの関係に ついての問いに、ブクの備品を使うスタイルは建築展で始 まり、伸は水平垂直重視のグラフィックデザインの世界での 自由なデザインをブクから学んだと。毎日山の写真を撮る のは存在論的アプローチか? に、自分の存在の確認作業で あり、自分の死を見る作業だと秋山氏は回答。また、デザ インに存在論を使うか? という質問に、秋山氏は著者のコ ンテンツは事象の解釈の一つで、様々な解釈の提示を心が けていると。秋山氏からの北京との関係性は? にコーミエ 氏は、北京は伝統と現代デザイン融合が主流。自分たちの 本づくりを求めて『C-side』を創刊。北京では多様なアプロ ーチが可能だと。秋山氏から自分たちの手による本づくり は身体性希薄な現代への反応・反動か?に、二人とも手で 掴める本づくりを通して本の構造の再解釈や知の在り方を 再検討しているとの結論で終わった。

Online Talk | ori.studio (Beijing) × edition.nord

Participants: Maxim Cormier + Shin Akiyama

The talk opened with graphic designer Maxim Cormier saying that in his activities he uses books to create an environment in which existing interpretations can be rearranged. In the questions prepared in advance to ask each other, Mr. Akiyama asked about publishing trends in China and the reasons why many Japanese are featured in "C-side." Mr. Cormier asked about the relationship between the personas of Buku Akiyama and Shin Akiyama. Mr. Akiyama responded that Buku's style of using fixtures began with his architectural exhibitions, while from Buku Shin learned free design in the realm of graphic design focused on horizontality/verticality. When asked if his taking photographs of mountains every day is an ontological approach, Mr. Akiyama replied that it is a process of confirmation of his own existence, work in which he views his own death. When asked if he uses ontology in his design work, he said the author's contents are one interpretation of a phenomenon, and he attempts to show diverse interpretations. Mr. Cormier, when asked his relationship with Beijing, said the mainstream in Beijing is a confluence of traditional and contemporary design. They launched publication of "C-side" in a quest to make their own books, and he added that in Beijing many different approaches are possible. In response to Mr. Akiyama's question as to whether their making books by hand is a reaction to or against physically diluted contemporary times, both concluded by saying that through bookmaking by hand they are reinterpreting book structure and rethinking use of knowledge.

ギャラリートーク | NEUTRAL COLORS {NC} × edition.nord

出演者:加藤直徳+加納大輔+秋山伸

秋山氏が加藤氏(編集者・発行者)と加納氏(グラフィック デザイナー)を知ったきっかけは、2021年の造本装丁コ ンクールの審査時に二人がつくっている雑誌『NEUTRAL COLORS』(以下NC) 創刊号を手に取ったことから。分厚 く、フライヤーをたくさん束ねたようなスタイルが面白く、 後に神戸芸工大の秋山ゼミも取材・掲載。旅雑誌『トランジ ット』を離れ、自分の雑誌づくりを開始した加藤氏は、加納 氏に声をかけ、インドのタラブックスを訪問。その際に手作 業でリソグラフも良いなと感じ、二人は紙をトラックで東京 から京都へ運びNC創刊号を制作。その後、リソグラフを購 入。毎号が実験なので工程が複雑化しがちだが、秋山氏は その刷り上がりのバラつきへの許容が面白いと。現在、廃 棄用紙に楮を混ぜて作った和紙のプロダクト制作や製本や T合などの機械を導入したことで、自分たちでアートブック を手作業で製本までできないかを模索中とのこと。今後は、 取次を通さない直接販売を増やすこと。雑誌 (NC)を毎号 アップデートしながら、部数の少ない本を手作業でつくって いきたい。秋山氏は地域の人々が参加できる体制を続けた いと締めくくった。

Gallery Talk | NEUTRAL COLORS {NC} × edition.nord

Participants : Naonori Katoh + Daisuke Kano + Shin Akiyama

Shin Akiyama became acquainted with Naonori Katoh (editor & publisher) and Daisuke Kano (graphic designer) on seeing the inaugural issue of their magazine NEUTRAL COLORS (NC) while serving as a judge at the Japan Book Design Awards in 2021. The magazine was bulky in thickness and adopted an interesting style like numerous flyers banded together. Later, Mr. Akiyama's seminar at Kobe Design University was featured in the magazine. At the time, Mr. Katoh had just launched his own magazine after leaving the travel magazine TRANSIT, and he had approached Mr. Kano and together they visited India's Tara Books. On that occasion they were impressed by the use of handmade lithographs. Transporting paper by truck from Tokyo to Kyoto, they produced the first volume of NC. Subsequently they purchased lithographs. Since each issue of NC was experimental, processes tended to become complex, but Mr. Akiyama found the allowance of uneven printing very interesting. Today, Mr. Katoh and Mr. Kano create washi paper products made by mixing kozo (paper mulberry) into paper waste, and having acquired bookbinding and collating machines, they are probing the possibility of making their own art books by hand. Going forward, they aim to increase direct sales, not going through agents. They said that while continuously updating each issue of NC, they hope to hand-make books in small quantities. Mr. Akiyama closed the talk saying he hoped to maintain a format enabling the participation of

ワークショップ&トーク | Designers from Rondade

出演者:松田洋和+吾郷亜紀+佐藤吉悠+吉見嶺+秋山伸

出版レーベルRondadeの若手グラフィックデザイナー4名 が登場し、自己紹介と共に「物性の書物」をテーマに会場で つくった本を発表。松田氏はヤレを集めグルーガンで綴じ た本など4冊。佐藤氏はシルクスクリーンフィルムの芯2本 にヤレを繋いだ巻物。吉見氏はヤレを丸めて穴を開け結束 バンドで綴じた本など4冊。吾郷氏は好きな素材を繋げて ぶら下げる本など4冊。秋山氏は発想力や特異な視点、独 創的な構成がRondadeらしいと講評。秋山氏は告知B1ポ スターで切り抜いた円い紙を繋げた本を制作。悩んだ時は 自分の癖を外して新しい自分を見つけるつもりでデザイン するという佐藤氏の言葉を受け、秋山氏が普段のデザイン について他3名に質問。吉見氏は手を動かす中で即興によ るエラーや偶然性を取り込んでいく。吾郷氏は即興性、瞬 発性重視で自分が楽しむ。松田氏は話し合いながら。秋山 氏はクライアントワークとRondadeの仕事は違う、自分も アートブックは1割、9割は普通の本だと。写真集の作品選 びは写真家の仕事、バラバラのまま本にしたことも。頼ま れた場合は視覚的な連関性重視。見る人の無限の解釈を固 定しないためと締めくくった。

Workshop and Talk | Designers from Rondade

Participants: Hirokazu Matsuda + Aki Ago + Yoshihiro Sato + Bei Yoshimi + Shin Akiyama

This event featured four young graphic designers from the Rondade publishing label. Together with self-introductions, they presented books which they had made on the theme of "books as physical entities." Hirokazu Matsuda introduced four books, including one made from collected paper waste and bound by glue gun. Yoshihiro Sato displayed a scroll comprised of two silkscreen film cores fastened by paper waste. Rei Yoshimi showed four books, including one made by rolling up paper waste, punching holes in it, and binding it with cable ties. Aki Ago also showed four books, including one tied and hung using her favorite materials. Shin Akiyama commented that their conceptual strength, unusual perspectives and unique constructions were just what one would expect from Rondade. Mr. Akiyama made a book by connecting round papers cut out of a B1 size exhibition poster. Mr. Sato said that when he is unsure how to proceed, he designs by putting aside his own tendencies and searching for a new self. In response, Mr. Akiyama asked the other three participants about their usual design methods. Mr. Yoshimi said that while moving his hands, he inputs errors or what occurs by happenstance. Ms. Ago said she enjoys focusing on improvisational and instantaneous aspects. Mr. Matsuda designs while discussing with others how to proceed. Mr. Akiyama noted that works made on commission differ from Rondade's work, adding that in his case art books account for only 10%. He said that choosing works for a photo book is the job of the photographer, and at times he has made books lacking any consistency. When requested, he stresses visual connectivity, closing with the comment that he does so in order not to limit viewers' infinite interpretations.

ddd Special Dialogue Program: Overviews

ddd特別対談概要

2021年7月よりYouTube配信中のデザイン界隈のエキスパートによる対談音声コンテンツ

The DNP Foundation for Cultural Promotion hosts a series of special dialogues featuring experts in design and related areas. Since July 2021, the audio portions of these talk sessions are regularly uploaded to the Foundation's YouTube channel.







特別対談企画 番外編 Graphic KAIKO_1

出演者:後藤哲也+久慈達也+見増勇介

京都在住のデザイナー見増勇介氏がモデレーターを務め、関西 をベースに活動するゲストと共にグラフィックデザインの現状 と今後について考え、関西から発信する連続トークシリーズ 「Graphic KAIKO」の第1回。今回はアジア圏のデザインシーン に造詣の深い、デザイナーの後藤哲也氏と、幅広い分野のデザ インに精通するデザインリサーチャーの久慈達也氏をゲストに 迎えた3名による対談を実施した。グラフィックデザインの現状 について久慈氏に問うと、デザインの目的が売上至上主義から 社会課題解決にシフトしている現在の状況では、プロダクトデ ザインなどと比べるとグラフィックデザインは社会課題解決に はあまり貢献できていないと感じるとのこと。続いて、グラフィ ックデザインのこれからについて問えば、現行のデザイン作業 はAIにより誰にでもできる時代が到来しAIが生成したモノの価 値判断を行う新たな職能が生まれるのではないかと久慈氏。一 方、後藤氏はAIを使いながら新しい価値を作り出せる人が次の 時代のグラフィックデザイナーではと話す。様々な世代の人た ちで何が大事なのかを漉していく作業も必要不可欠と見増氏が 最後に締めくくり。決して楽観的ではない話も多かったが、グ ラフィックデザインの今後を考える貴重な機会となった。

Special Dialogue Extra Edition: Special Dialogu

Participants : Tetsuya Goto + Tatsuya Kuji + Yusuke Mimasu

Graphic KAIKO 1

This was the first session in the "Graphic KAIKO" series launched in the Kansai region to consider the current state and future of graphic design. Yusuke Mimasu, a designer based in Kyoto, served as moderator. The two guest participants, Tetsuya Goto and Tatsuya Kuji, are both based in Kansai. Mr. Goto is a designer highly knowledgeable about the design scene in Asia, while Mr. Kuji is a design researcher well versed in diverse areas of design. When asked his view of the current state of graphic design, Mr. Kuji said the chief purpose of design today is shifting from promoting sales to solving social issues, and under these circumstances his view is that graphic design is lagging behind product design in its ability to contribute to that goal. Mr. Kuji, when asked about the future of graphic design, suggested that design work as performed today will likely come to be carried out by anybody using Al, and this will likely give rise to a new profession in evaluating things generated by Al. Mr. Goto voiced the view that the next generation of graphic designers will be those who can create new value using Al. Mr. Mimasu closed the session offering his opinion that people of various generations will need to determine what is important. Although the session included much that left little room for optimism, it was a valuable opportunity to think about the future of graphic design.

特別対談企画 番外編 Graphic KAIKO_2

出演者: 仲村健太郎+小林加代子+見増勇介

関西をベースに活動するゲストと共にグラフィックデザインの現 状と今後について考え、関西から発信する連続トークシリーズ 「Graphic KAIKO」の第2回。今回はStudio Kentaro Nakamura からブックデザイナーの仲村健太郎氏とウェブデザイナーの小林 加代子氏をゲストに迎え、デザイナーの見増勇介の進行で対談 を実施した。昨今のアプリケーションの進歩によって「人類総デ ザイナー」と言えなくもない現在の状況下、デザイナーとしての 技術や専門性は今後どうなっていくかという質問には、何ができ るかではなく、この人だからこそお願いしたい。デザイナー自身 が考えている事がより大事になっていくではと小林氏。一方、仲 村氏はプロと呼ばれる人は常に新しい事をしている人、プロのデ ザイナーであり続けるには、常に新しい発見をし続けることが今 後も必要だ。と話す。最後にグラフィックデザインのこれからに ついて仲村氏に問うと、「何かが誰かに伝わること」その機会や 体験を提供することが今後のデザインの仕事かもしれない。本を デザインすることは作るだけではなく、配ることもデザインに含 まれると考えている。大学ではデザインのHow (どうやって)を 学んだが、これからはWhat (なにを)、Why (なんのために)のウ ェイトが大きくなっていくだろう。と締めくくった。

Special Dialogue Extra Edition: Graphic KAIKO 2

Participants : Kentaro Nakamura + Kayoko Kobayashi + Yusuke Mimasu

This was the second "Graphic KAIKO," a series produced in the Kansai region in which guests who are based in Kansai engage in discussions concerning the current state and future of graphic design. The guests for this session were book designer Kentaro Nakamura and web designer Kayoko Kobayashi, both of Studio Kentaro Nakamura. Designer Yusuke Mimasu served as moderator. The guests were asked their views of the skills and special expertise designers will need going forward in light of the current presence of "all-round designers of humanity" stemming from today's progress in applications. Ms. Kobayashi answered that what designers themselves think will become increasingly important. Instead of selecting designers based on their individual capabilities, clients will choose designers because of who they are. Mr. Nakamura said that a designer viewed as a true "pro" is one who is always doing new things, and going forward, to continue being a pro, designers will need to keep making new discoveries. At the end, Mr. Nakamura, when asked his view of the future of graphic design, stated the job of designing may come to be providing opportunities or experiences in "conveying something to someone." He said that in this view designing a book involves more than just making it: it also includes distributing it. He closed the session saying that at university he had learned "how" to design, but in the years ahead he believes learning "what" to design and "why" will gain in importance.

特別対談企画 番外編 Graphic KAIKO_3

出演者: 八木良太+見増勇介

連続トークシリーズ「Graphic KAIKO」の第3回。今回は現代アーティストの八木良太氏と、アート・ユニット「intext」としても活動しているデザイナーの見増勇介氏の二人の対談を実施した。お互いの作品を参照しながら思考や表現の方向性を見ていくと、二人ともグラフィックデザイン、とりわけ文字からの影響を受けており作品にもそのことが反映している。八木氏の作品には、欧文書体のルーツといわれている「トラヤヌス帝の碑文」をステレオグラムにして御影石に貼った作品やフランツ・カフカの小説「変身」の一文の活版を溶解し、レコードからとった型に流し込むなど、文字をテーマとしたものが多数ある。見増氏も、世界各国の国語辞典の小口部分に偶発的に表れる模様(これは各国の文法ルールに、こ、温淡や形状が異なる)に着目したグラフィック作品などがあり、二人とも文字本来の「読む」という体験について、メディウムを変質させていくことでその解釈を更新していく。

テクノロジーの進歩によって、ある種の均質化があらゆる分野で 起きたとき、エラーや誤読性が新たな価値を生みだす貴重なもの になっていく、ある体験にメディウムや関係性を変えることで、通 常では成立しない別の意味や可能性を与えていく事は今後もや り続けなくてはいけない。と締めくくった。

Special Dialogue Extra Edition: Graphic KAIKO 3

Participants : Lyota Yagi + Yusuke Mimasu

This third session in the "Graphic KAIKO" talk series was a dialogue between contemporary artist Lyota Yagi and designer Yusuke Mimasu, who is also active as a member of the art unit "intext." A look at how they each think and express themselves, based on a consideration of their respective works, shows that they both are influenced by graphic design, especially typography, and this is reflected in their works. Many of Mr. Yagi's works have typography as their underlying theme. In one work, he makes a stereogram of the Trajan Inscription, said to be the root source of European typefaces, and attaches it to granite. In another, he melts down the letterpress of a line from Franz Kafka's novella Die Verwandlung (The Metamorphosis) and pours it into a mold made from a phonograph record. Similarly, Mr. Mimasu's portfolio includes graphic works which focus on the patterns that appear by happenstance on the fore edges of dictionaries from countries worldwide. (Such patterns differ in depth and form depending on the grammar rules of each country.) In this way, both Mr. Yagi and Mr. Mimasu update the interpretation of the inherent experience of "reading" lettering through metamorphosis of the medium. The talk session closed with the participants saying that going forward, as technological advances result in a kind of homogenization in all fields, errors and misreadings will become precious sources of new value, so designers will need to keep finding new meanings or possibilities other than normal by changing the medium or relationships in their experiences.

Publications 2023-24

出版活動

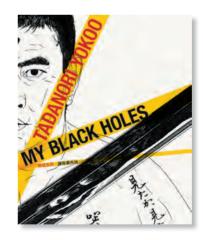








■ Graphic Art & Design Annual 2022





- ggg Books 134 小杉幸一
- ggg Books 135 大原大次郎
- ggg Books 136 ヨシロットン
- 横尾忠則 銀座番外地
- MIRROR/MIRROR: カナダ・日本 現代版画ドキュメント
- DNP文化振興財団 学術研究助成紀要 Vol.5
- ggg Books 134 Koichi Kosugi
- ggg Books 135 Daijiro Ohara
- ggg Books 136 YOSHIROTTEN
- Tadanori Yokoo My Black Holes
- MIRROR/MIRROR:
- Documenting the Edge of Contemporary Printmaking—CANADA/JAPAN
- The Bulletin of Graphic Culture Research Grants, Vol.5



Both Side of Design: Summaries of Online Articles

オンライン記事「デザインの両面」概要

「デザイン」よりも「デザイナー」が前に出てくることは少ない。けれど、もし前に出てきたらどんな面が現れるのか、デザイナーに話を聞くシリーズ。A面は「デザインのこと」、B面は「デザインじゃないこと」(とても好きなこと、ハマっていること)で構成されるオンライン記事。

取材·構成·編集=綾女欣伸

- +アートディレクション=大西隆介 (direction Q)
- +デザイン+イラスト=沼本明希子(direction Q)

It's rare for articles to focus mainly on the designer as opposed to the designer's design work. But when the focus is placed on the designer, what "sides" might we see? This series of online articles interviews designers and has them talk about themselves. Each article consists of two sides: Side A about the designer's design work, and Side B about other things, such as what the designer likes or is deep into at the moment.

Interview, Write-up & Editing = Yoshinobu Ayame / Art Direction = Takasuke Onishi (direction Q) / Design & Illustration = Akiko Numoto (direction Q)



デザインの両面 vol. 1 side A

ゲスト: 有山達也

第1回で話を聞いたのは、数々のブックデザインを手掛ける アートディレクター、デザイナーの有山達也さん。中垣デザ イン事務所を辞めて独立した際はMacとモニターとプリン ターが1台ずつの自宅が仕事場。たくさんの人に助けられ ながらブックデザインの仕事が広がっていったという。かの 『クウネル』(マガジンハウス)の前には同じ判型の『ゆめみ らい』(ベネッセコーポレーション) で名もなき人たちの話の 面白さに気づいた。「現場に行くデザイナー」と呼ばれるよ うになりつつ、近年行き着いた先のひとつがA面の白眉と なる『グレイリスト』の制作秘話だ。千葉の銚子にあるアナ ログオーディオの名店「グレイ」の阿部昌和さんが過去20年 に仕入れて販売したクラシックレコードの記録をカタログ化 した冊子、74冊分を上下2冊にまとめたもの(B5判上製クロ ス装三方銀・合計3200頁以上)。ゲラも途中まで紙で出せ なかったというこの稀覯書、名称などの誤りがわかっても当 時の記録として直しておらず、文章を「絵」のように収めて いる。仕事の明確な出発点は有山さんも覚えていないらし いが、届ける先は100年後のレコードファンにも向けている。

Both Sides of Design Vol.1 Side A

Guest: Tatsuya Ariyama

The guest for the first interview was art director and designer Tatsuya Ariyama, who is a prolific book designer. At the time he went freelance after leaving the Nakagaki Design Office, Ariyama's workplace was his home, and his equipment consisted of only a Mac computer, a monitor and a printer. Ariyama says his work in book design gradually grew thanks to help he received from many people. Prior to his well-known work for ku:nel (Magazine House), with the similarly sized Yume Mirai magazine (Benesse Corporation) he says he came to realize how interesting people who aren't famous can be. As Ariyama came to be known as a designer who travels to get what he needs to inspire him, one of the highlights of Side A was his little known story about designing Grey List. Grey List is a catalogue of the classical recordings purchased and sold during the past 20 years by Masakazu Abe of Grey, a famous analog audio shop located in Choshi, Chiba Prefecture. Grey List (B5, cloth binding, silver edging, 3200+ pages) consists of two volumes incorporating the contents of 74 original booklets. This rare book, which could not be printed out on paper even in the galley proof stage, contains no corrections to the original booklets even if errors in names, etc. were known; rather, the written contents are featured as if they were visuals. As to how this assignment started, Ariyama himself says he doesn't recall. Grey List is sure to please record fans, even those 100







デザインの両面vol. 1 side B

ゲスト: 有山達也

有山さんのB面は「ボクシング」について。過去に井上尚弥 の観戦記を寄稿したほど大好きで、見始めは具志堅用高が 絶頂期の小学4年生頃からだという。ボクシングに詳しくな い筆者は時折相撲や高校野球の話題をテコに井上尚弥の異 次元性や試合の見どころ (KOだけじゃない) や試合のシス テム (デビューは4回戦で2回戦ずつラウンドが上がる) やチ ケットの買い方(ボクサー個人から買えるサイトもある)を 聞いていくが、やはり試合を生で見るのが燃えると有山さ ん。リングに近いとパンチの音だけでなく血が飛んでくるこ ともある。そんな現場感はデザインの仕事にも通じるが、「現 場には基本アンドゥはないので目の前で道が二つに分かれ たときの判断は、失敗しながら身につけてきたと思います。 現場では選択と決断の連続です。現場での失敗は、次回の 現場でアンドゥすればよいのです」と語る。ボクシング業界 は「ドラマ」の仕立て方が他の格闘技と比べ上手くないと指 摘しつつ、飾り立てもないところで黙々とやることをやり続 ける人たちへの憧れが自分を会場へと向かわせているのか もしれないと締めくくる。

デザインの両面 vol. 2 side A

ゲスト: 佐藤亜沙美

第2回に登場するのは、書籍を中心に最近は大河ドラマの タイトルロゴまで手掛ける、アートディレクター・デザイナ 一の佐藤亜沙美さん。デザインに興味を持った入口はなん とマリオペイント。たしかに簡易版イラストレーターではあ るが、その先に入門したコズフィッシュでは制作期間11年の 作品集制作の傍ら祖父汀慎さんによる「課外授業」の日々。 在籍8年間の仕事よりもその雑談での貴重な話が自分の血 肉になっているという。独立後の転機は新装刊を丸ごと任 された『Quick Japan』(太田出版)。紙やインキを変えまく る毎回特別号のような仕様はその後の『文藝』(河出書房新 社) リニューアルにもつながるようだ。個の覚悟を問われた 『圏外編集者』の都築響一さんからはデザインしすぎないこ とを教わり、柴田聡子さんの詩集『さば一く』ではスピンを 探しに一緒に問屋街にも行った。そうした密なやりとりを 重ねられ、デザイナーとしての職域が確保されている感覚が あるからこそ、やはり書籍がホームグラウンドだと語る。

デザインの両面 vol. 2 side B

ゲスト: 佐藤亜沙美

佐藤さんのB面は、「出産・子育て」。取材の2年前に生まれ たお子さんとその日常について話を聞いていく。出産はコ ロナ禍ど真ん中の2021年の1月。子どもを産むとは思わな かった自分がその気になったのは、自身が「母親」になりた かったくらい子ども好きな、パートナーで小説家の滝口悠生 さんの存在が大きいという。インデザインを駆使して資料 を作り、産後すぐ保育園に預けられたのちも、話の中心とな るのは滝口さんが毎日つけている「育児日記」だ。我が子の 毎日の体調と出来事が事細かく書かれたそれが、たまに交 換日記の機能も果たす。快・不快がベースの子からの視線 でデザインを眺めると「私がこの20年で築いてきたスキル や思考なんか軽く吹っ飛んでしまいますね」と語る。最近は 余計な力が抜けて自分の中に風が吹き込むようになった。 それは「開いている」子どもの存在に触発されてのこと。自 己のパターンが破壊されるところに喜びを感じる佐藤さん に、刺激体質を再確認してしまうのだった。

Both Sides of Design Vol.1 Side B

Guest: Tatsuya Ariyama

Tatsuya Ariyama's Side B is about boxing. He says he first started watching boxing matches around the time he was a fourth grader in elementary school, just when Yoko Gushiken was at his peak, and so fond is he of the sport that he has written about watching Naoya Inoue boxing. The writer of Side B, not being very familiar with boxing, occasionally inserted tidbits about sumo or high school baseball and asked Ariyama such things as what makes Inoue so extraordinary, what the highlights of a boxing match are (beyond just a knockout), how boxing matches work (4 rounds in a boxer's debut match, increasing by 2 rounds per match thereafter), how tickets are bought (including purchases through online websites of individual boxers), etc. Ariyama said, as expected, what's most exciting is to see a match live. Sitting in a ringside seat, you can not only hear the sound of the punches, sometimes splatters of blood come flying your way too. The feeling of being where the action is shares something in common with the work of design too. Ariyama says that at work basically you can't undo what has already been done, so making decisions when there are two paths before you is something he has learned to do, even at the expense of making errors. On the job, it's an ongoing succession of choosing and deciding. If you make an error, he says, you just undo the damage on your next job. Akiyama pointed out that the boxing profession isn't as good at creating "drama" as other martial arts, and he closed by saying that what drives him to go see boxing matches in person is his aspiration to be like boxers who, without fancy finery, just keep going silently about their work

Both Sides of Design Vol.2 Side A

Guest: Asami Sato

The guest for Vol.2 was art director and designer Asami Sato, who works primarily in book design but recently even created the title logo for NHK's "Taiga Drama." She became interested in design, oddly enough, through Mario Paint. While she clearly focuses on simple illustrations, at cozfish she was involved in preparing a collection of works taking 11 years to complete, and simultaneously she spent the time working on Shin Sobue's "Kagai jugyo" educational program. More than the work she did during her 8-year stint there, she says she learned from the precious takeaways from the small talk she experienced there. Her turning point after going freelance was being entrusted with designing the entirety of the new edition of Quick Japan (Ohta Books). With every issue created as if it were a special issue, requiring constant changes of paper and inks, her work on Quick Japan appears to have led to the subsequent revamping of Bungei magazine (Kawade Shobo Shinsha). From Kyoichi Tsuzuki, author of Kengai henshusha, who insisted that she design from her individual perspective, she learned to not overdo design. For Satoko Shibata's poetry collection Sabaque, Sato even went with Shibata to the wholesale district searching for just the right bookmark ribbon. She said that through these lesser known exchanges she acquired the sense of having secured a work scope as a designer, and for that reason she says her "home ground" is books.

Both Sides of Design Vol.2 Side B

Guest: Asami Sato

Asami Sato's Side B was about her experiences in childbirth and raising her child. She spoke about her child born two years earlier and her everyday life as a mother. Sato gave birth in January 2021, in the midst of the Covid pandemic. She said she had never imagined herself having a child, and to a large extent what caused her to change her mind was the existence of her partner, the writer Yusho Takiguchi, who is so fond of children he wishes he himself could be a mother. Using InDesign she prepared a slew of materials about their heavy work responsibilities, so very soon after giving birth they were able to place the child in a day nursery. Throughout this time the center of their conversations was Takiguchi's "childrearing diary." It contained detailed descriptions of their child's day-today wellbeing and daily occurrences, and at times it functioned like a shared diary. Sato said she took a hard look at her design work from the perspective of a child, for whom things are either pleasant or unpleasant, and this made her think the skills and thoughts she had built up over the past 20 years proved meaningless. Lately, her excessive pressure has abated and a fresh breeze now blows through her, all triggered by the existence of her child. Sato said she feels joy at having broken her rigidly ingrained ways of doing things, making her realize anew that by nature she responds to outward stimulations.

アーカイブ事業

Archiving

Poster Archives 2023-24

Akira Uno Poster Collection

字野亞喜良ポスターコレクション

2023年度は独自のスタイルを持った作家からの寄贈が 続いた。宇野亞喜良氏からは、ギンザ・グラフィック・ギ ャラリーでの展覧会のため、特殊印刷設計によって制作 された実験的な作品が寄贈された。また2021年に急逝 された谷口広樹氏による、絵やデザインなどカテゴリーを 超えた独自の表現がうかがえる作品も新たにコレクショ ンに加わった。さらに永井一正氏からはライフワークとし て制作されているLIFEシリーズの新作など、近作が寄贈 された。彼の飽くなき制作世界の全体を俯瞰できる作品 群である。加えて財団の2つのギャラリーを巡回した「ソ ール・スタインバーグ展」の出品作品も寄贈された。 ポス ターや版画など貴重なオリジナル作品が含まれる。

あわせて2023年9月に活動を停止したクリエイションギ ャラリーG8から展覧会ポスターを受贈した。38年にわ たる活動から生まれた多彩なデザイナーによるポスター は、現代日本のデザインに関する貴重な資料といえよう。

During the 2023 fiscal year, we received a succession of poster donations from designers known for their individualistic styles. Akira Uno donated experimental works he created for an exhibition at ginza graphic gallery, made using a special printing technique. Another addition to the Poster Archives was bequeathed by Hiroki Taniguchi, who passed away in 2021. His works are suggestive of a unique means of expression transcending categories such as painting or design. Kazumasa Nagai donated recent works, including new posters he created as part of his "LIFE" series, a career-long undertaking. As a group these works enable a broad overview of his tireless creative world. Another donation this year consisted of works featured in the "Saul Steinberg Exhibition" successively held at the Foundation's two galleries. Included were his posters, prints and other precious original works.

Also donated this past year were exhibition posters from Creation Gallery G8, which ceased its activities in September 2023. This collection incorporates works by highly diverse designers featured during the gallery's 38 years in operation, and together they constitute a treasure trove of materials relating to design in contemporary Japan.







2022



2022



2022



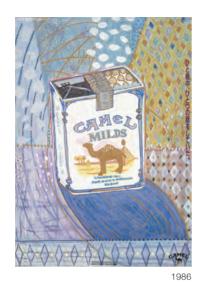
2022



2022

Hiroki Taniguchi Poster Collection

谷口広樹ポスターコレクション



















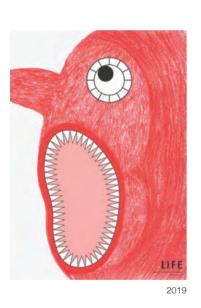
Kazumasa Nagai Poster Collection

永井一正ポスターコレクション







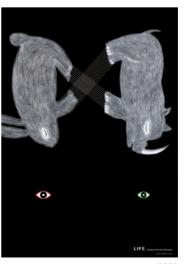












2020 2021 2022

Ikko Tanaka Archive

田中一光アーカイブ

日本を代表するグラフィックデザイナー、田中一光 (1930-2002) の業績を文化遺産として後世に継承することを目的に、京都市内に田中一光アーカイブを開設した。資料の調査および目録化とともに、外部の研究者による閲覧や調査の受け入れもおこなっている。

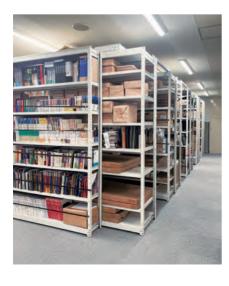
<所在地>

〒601-8348 京都府京都市南区吉祥院観音堂町29 DNPデータテクノ京都南工場内

The Ikko Tanaka Archive was newly established this year in Kyoto, its aim being to pass on to future generations the cultural legacy of the life-long works of Ikko Tanaka (1930-2002), one of Japan's foremost graphic designers. In addition to internal study and cataloguing of the donated materials, the new venue is made available to outside researchers wishing to view and study the collection.

<Location>

DNP Data Techno Co., Ltd., Kyoto-Minami Plant 29 Kisshoin Kannondo-cho, Minami-ku, Kyoto City, Kyoto 601-8348



DNP Graphic Design Archives

DNPグラフィックデザイン・アーカイブ

◆ポスターアーカイブ(2024年3月現在)

- ① 収蔵作家: 244名 (国内作家124名、海外作家120名)
- ② 総点数: 18,428点
- ③ 2023年4月~2024年3月の受入れ状況:

<日本>

- H - T - Z	
·宇野 亞喜良	23点
·谷口 広樹	94点
· 永井 一正	66点
・クリエイション	ギャラリー G8展覧会ポスター
	392点

<海外>

・ソール・スタインバーグ	175点
計	750点

◆アーカイブ作品貸出

① 奈良県立美術館

奈良県立美術館 開館50周年記念 特別展 「田中一光 デザインの幸福」 2023年4月22日~6月11日 田中一光作品17点、木田安彦作品1点

- ② クリエイションギャラリー G8
 THE ENDING '23
 2023年8月1日~9月2日
 宇野亞喜良作品8点、山口はるみ作品8点
- ③ 21_21 DESIGN SIGHT もじ イメージ Graphic 展 2023年11月23日~2024年3月10日 所蔵作家8名の作品8点
- ④ 広東美術館(中国) 広州デザイントリエンナーレ2024 2024年1月16日~5月31日 永井一正作品22点

◆ Poster Archives (as of March 2024)

- ① Artists represented: 244 (124 domestic, 120 from overseas)
- ② Items in collection: 18,428
- ③ Items received between April 2023 and March 2024

< Japan > · Akira Uno

· Hiroki Taniguchi	94
· Kazumasa Nagai	66
· Creation Gallery G8 exhibition posters	392
< Overseas >	
· Saul Steinberg	175
Total	750

◆ Loans of Archived Works

- lkko Tanaka "Design of Happiness"
 Exhibition at Nara Prefectural Museum of Art April 22 – June 11, 2023
 17 Ikko Tanaka works, and 1 Yasuhiko Kida work
- (2) The Ending '23
 Exhibition at Creation Gallery G8
 August 1 September 2, 2023
 8 Akira Uno works, and 8 Harumi Yamaguchi works
- ③ Modes and Characters: Poetics of Graphic Design Exhibition at 21_21 DESIGN SIGHT November 23, 2023 – March 10, 2024 8 works by 8 designers from the Archives
- ④ Guangzhou Design Triennial 2024 Exhibition at Guangdong Museum of Art (China) January 16 – May 31, 2024 22 Kazumasa Nagai works

国際交流事業

International Exchange

Tour: Food – Poster Design from Japan The Center for Visual Arts, Berlin, Germany

June 3 - August 4, 2023

巡回: 食一日本のポスターデザイン展 The Center for Visual Arts (ドイツ・ベルリン)

2020年にCCGA現代アートグラフィックセンター、及び京都dddギャラリーにて開催した「食のグラフィックデザイン」展が、2023年1月に国際交流基金ケルン日本文化会館に巡回開催した後、アジアのデザインや芸術を普及する目的で設立された、ドイツ・ベルリンのギャラリー、The Center for Visual Arts (CVA)にて開催された。20名以上のグラフィックデザイナーによって1957年から2016年にかけて制作された作品50点を展示。「食」をテーマとして社会問題や生活全体に対するイメージを独創的な手法で表現した作品を紹介した。会期中には財団の森崎陵子が現地に赴きギャラリーガイドツアーを開催。本展のコンセプトや代表的な作品の解説を行い、参加者の作品への理解と興味をさらに深めるイベントとなった。

催: The Center for Visual Arts**共** 催: 公益財団法人 DNP 文化振興財団

入場者数:436名

イベント: ギャラリーガイド

森崎陵子(DNP文化振興財団)

This exhibition was based on the "Graphic Design of Food" exhibition held at the Center for Contemporary Graphic Art (CCGA) and kyoto ddd gallery in 2020. After subsequently traveling to The Japan Cultural Institute in Cologne in January 2023, the show was held at The Center for Visual Arts (CVA), a gallery in Berlin established to promote Asian arts and design. On display were 50 posters created by more than 20 graphic designers between 1957 and 2016 on the theme of "food," each employing an original approach to graphically address foodrelated social issues or how food impacts our lives as a whole. Throughout the exhibition period, the Foundation's Takako Morizaki was on hand to provide guided tours of the gallery. By explaining the exhibition's fundamental concept and various representative works on display, visitors gained a deeper understanding and enhanced interest.

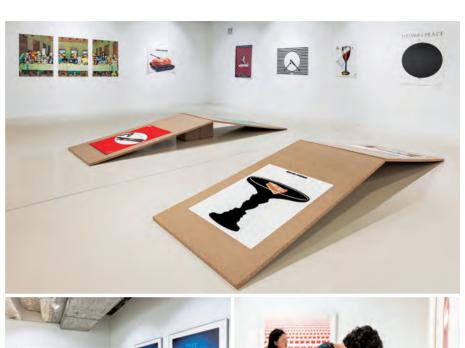
Organizer: The Center for Visual Arts

Co-organizer: DNP Foundation for Cultural Promotion

Number of visitors: 436

Auxiliary event: Gallery guided tour by

Takako Morizaki (DNP Foundation for Cultural Promotion)











Photography by He Bo ©hesign

Tour: A Sense of Movement: Japanese Sports Posters The Japan Foundation, Toronto

January 13 - April 15, 2023

巡回:動きの感覚を呼び起こす:日本のスポーツ・ポスター 国際交流基金トロント日本文化センター

コロナ禍の2020年、国際交流基金ロンドン主催のオ ンライン講演会 「動きの感覚を呼び起こす: 日本の グラフィックデザイナーとスポーツ・ポスター」(講演 者: 北沢永志氏 DNP文化振興財団 当時) が契機と なり、ポスター展を同基金在外拠点に巡回。シドニ 一日本文化センター(2021年)、パリ日本文化会館 (2022年) を経て、2023年はトロント日本文化セン ターで開催された。最終開催地となる本展では作品 数を増やし、グラフィックデザイン黎明期を牽引した デザイナーから活躍中の若手デザイナーまで、25名 68作品を展示した。会期中、元財団の北沢氏が現地 に赴き講演を行った。展覧会開催のきっかけから始 まり、日本とカナダのスポーツ文化の比較、日本のポ スターに見られる特徴、そして展示作品の詳細な解 説など、スポーツを切り口にした興味深い内容とな り、参加者から好評を博した。

主 催: 国際交流基金トロント日本文化センター 共 催: 公益財団法人DNP文化振興財団

入場者数:1,544名

講演会登壇者: 北沢永志(元 DNP文化振興財団)

In 2020, amid the Covid-19 pandemic, Eishi Kitazawa (then affiliated with the DNP Foundation for Cultural Promotion) presented an online lecture, sponsored by The Japan Foundation, London, titled "Conjuring a Sense of Movement - Japanese Graphic Designers & Sports Posters." His talk became the inspiration behind the exhibition "A Sense of Movement: Japanese Sports Posters," which has subsequently traveled to several of The Japan Foundation's overseas bases. After shows at The Japan Foundation, Sydney in 2021 and The Japan Cultural Institute in Paris in 2022, in 2023 the show took place at The Japan Foundation, Toronto, its final venue. For this occasion, the number of works was increased to 68 by 25 designers, spanning from leaders during the early period of Japanese graphic design to young designers active today. During the Toronto show, Eishi Kitazawa gave a live on-site presentation of profound interest, covering topics such as the impetus behind the exhibition, a comparison of sports culture in Japan and Canada, the special characteristics of Japanese posters, and a detailed commentary on the works being displayed. His talk was enthusiastically received by those in attendance.

Organizer: The Japan Foundation, Toronto

Co-organizer: DNP Foundation for Cultural Promotion

Number of visitors: 1,544 Speaker: Eishi Kitazawa

(formerly of DNP Foundation for Cultural Promotion)













Photo 1-5: ©The Japan Foundation, Tronto

Photo 6: ©TORJA Japanese Magazine

Support of CHAOTIC ORDER: Yui Takada with ori.studio pidan Gallery, Shanghai

November 23, 2023 - January 24, 2024

協力: Yui Takada with ori.studio CHAOTIC ORDER 高田唯 混乱的秩序 中国巡回展 pidan Gallery (中国・上海)

gggにて2022年に開催した「Yui Takada with ori.studio CHAOTIC ORDER 高田唯 混沌とした秩序」の中国巡回展。 gggでは、新作の凧の展示とともに、北京を拠点に活動する ori.studio編集・デザインによる高田氏の作品集『AXIS』が展覧会に合わせて出版され、展示と『AXIS』が双壁を成す内容となったが、上海展ではそれら核となる展示内容と構成を踏襲しつつ、新作を加えた。『AIXS』特別版も出版され、展示では同書のオブジェが象徴的に立てられた。中国をはじめアジア諸国でも人気を誇る高田氏。入場者数は2,000人近くを数え、会期中に開催された高田氏によるトークイベントとサイン会は若者を中心とする熱心な観客で溢れ、活気に満ちた1日となった。

主 催:上海自由意志文化芸術有限公司

キュレーター: 赵梦莎

カ:国際交流基金北京日本文化センター、 公益財団法人DNP文化振興財団

特別協力:ピダン

イベント: トークイベント 高田唯、ori.studio、赵梦莎、 西尾健史 (オンライン)

This exhibition was originally held at ggg in 2022. On that occasion Yui Takada in part showed newly created kites, while another area was dedicated to works featured in AXIS, a simultaneously published collection of Takada's works co-created with Beijing-based ori.studio. For the show in

Shanghai, this core body was augmented by various new works. A special edition of AXIS was also published, and it was symbolically placed around the exhibition area in the guise of art objects. Yui Takada enjoys great popularity in China and other Asian countries, resulting in near 2,000 visitors to the exhibition. His talk event and autograph session drew enthusiastic crowds, especially young visitors, making for a very lively day.

Organizer: Shanghai Free Will Culture & Art Co.

Curator: Mengsha Zhao

Cooperation: The Japan Foundation, Beijing; DNP Foundation for Cultural Promotion Special cooperation: pidan Gallery

Auxiliary event: Talk show by Yui Takada, ori.studio, Mengsha Zhao, Takeshi Nishio (online)





Photography by Jiaxu Hu

Support of Guangzhou Design Triennial Guangdong Museum of Art

January 16 - May 31, 2024

協力:第1回広州デザイントリエンナーレ 広東美術館(中国)

2024年1月より、広州初となるデザイントリエンナーレが開催された。今回のテーマは「The Warmbeings (温かな存在)」。4部構成の展示のうち、香港のグラフィックデザイナー、スタンリー・ウォン氏がキュレーターを務める第4章「Design: Existing・Living・Being」「にて、永井一正氏の作品「LIFE」シリーズ22点の出展協力を行った。このシリーズは永井氏が1980年代までの抽象的なスタイルからフリーハンドによる具象的な表現に180度転換し、取り組み続けている作品である。また、本展覧会には永井氏のほかにも、浅葉克己氏、平野甲賀氏、原研哉氏、新村則人氏など日本のデザイナーも多く参加している。

主 催: 広東美術館 チーフ・キュレーター: 王绍强 入場者数: 180,833 名

イベント:カンファレンス、学芸員ガイドツアー、他

Starting in January, a design triennial was launched for the first time in Guangzhou, China. The overall theme of the event was "The Warm-beings," and the show was divided into four thematic exhibitions. In the fourth part – "Design:

Existing · Living · Being," curated by graphic designer Stanley Wong of Hong Kong – Kazumasa Nagai cooperated with 22 works from his "LIFE" series. This series of freehand figurative works, currently still in progress, represents a complete turnaround from Nagai's earlier abstract style embraced into the 1980s. Other designers from Japan who took part in this event included Katsumi Asaba, Koga Hirano, Kenya Hara and Norito Shinmura.

Organizer: Guangdong Museum of Art Chief Curator: Shaoqiang Wang Number of visitors: 180,833

Events: Academic conferences, Curatorial tours, etc.,





Photo 1,2: ©Guangdong Museum of Art

Photo 3: Photography by Stanley Wong

AGI Congress Auckland 2023

September 17 - 22, 2023 (AGI Open: September 18 and 19)

AGI総会オークランド2023

AGI(国際グラフィック連盟)会員が集結する年に1度 の総会がニュージーランド (NZ) のオークランドで開 催された。欧州やアメリカ方面からNZへのアクセス が悪いということもあり、参加者は100名未満と例年 に比べ少なかったが、逆に今まで少なかったアジアや 南米諸国からの参加が目立った。全日程を通して、 オークランドに拠点を置くディーン・プール氏主宰の Alt Groupメンバーを中心に、きめ細かに計画され、 充実したプログラムが組まれていた。開催地のオーク ランドはNZ北島北部に位置する最大の都市である が自然環境を保った魅力的な街。総会中は、随所に NZの先住民であるマオリの文化や歴史を知る機会 があり、AGIという国際的な団体にふさわしく多様な 文化を尊重する総会であった。また、佐藤卓氏、原研 哉氏はAGIオープンで講演を行い、参加デザイナー や一般参加者の学生など多くの観客を引き付けた。

The annual meeting of members of Alliance Graphique Internationale (AGI) took place in Auckland, New Zealand. Although the total number of attendees was under 100, fewer than in most years owing to the long travel distances from Europe and the U.S., this year saw a salient increase in participants from Asia and South America. The event was meticulously planned primarily by members of Auckland-based Alt Group, led by Dean Poole, resulting in a highly rewarding program. Auckland, which is located in the north of New Zealand's North Island, is the country's most populous city, yet it is situated amid a beautifully preserved natural environment. During the Congress, attendees were provided opportunities to learn about the culture and history of the Maori, New Zealand's Indigenous inhabitants. This focus was well aligned with AGI's respect for diverse cultures in its role as an international organization. From Japan, Taku Satoh and Kenya Hara gave presentations at AGI Open, attracting great interest from both Congress attendees and participants from the general public.













Photo 1,3-6: Photography by David St George

Photo 2: Photography by Jinki Cambronero

研究助成事業

Research Grants

Graphic Culture Research Grants

グラフィック文化に関する学術研究助成

「グラフィック文化に関する学術研究助成」は2023年に10年目を迎えた。これまで、国内外から延べ595名の研究者から応募があり、計130件の研究を採択した。応募数は年々増えており、研究者の間での本プログラムの認知度も高まってきた。2023年度グラフィック文化に関する学術研究助成は、国内53件、海外7件、計60件の応募を受け付けた。審査は例年どおり、書類による一次審査と審査委員の対面による二次審査の二段階で行った。討議の結果、グラフィックに関わる幅広いテーマを対象とするA部門で10件、アーカイブをテーマとするB部門で4件、計14件を新規採択研究に選出した。また、2022年度採択研究のうち継続助成希望のあった8件については、中間報告書にもとづく書類審査の結果、継続助成が承認された。

2023 marked the 10th year since the start of the Foundation's "Graphic Culture Research Grants" program. During this first decade a total of 595 applications were received from researchers worldwide, with 130 chosen as grantees. The number of applicants has increased year by year, demonstrating the growing recognition of the program among the world's research populations.

In 2023, a total of 60 applications were received, including 53 from within Japan and 7 from overseas. As in previous years, the screening took place in two stages: an initial review of the application documents, followed by a session attended by all Screening Committee members. After discussions, a total of 14 new research projects were selected for funding: 10 in Category A (research on a broad range of graphic-related topics) and 4 in Category B (research on graphic culture-related archives). In addition, 8 projects selected in 2022 were approved for continued support, based on evaluation of the grantees' interim reports.

2023年度募集要項

A部門 グラフィックデザイン、グラフィックアート全般をテーマとする学術研究

B部門 グラフィック文化に関するアーカイブをテーマとする研究

助成対象 大学、美術館等の研究機関に所属する研究者(大学院修士課程在籍者以上)、

または、それに準じる研究実績のある者(大学教授または美術館館長の推薦の

ある者)

助成金額 1件につき上限50万円

助成期間 2024年1月1日~2024年12月31日まで(1回を限度に次年度に継続研究が可)

申請方法 所定様式の申請書を郵送とメール 申請期間 2023年4月1日~2023年6月16日まで

Overview of the 2023 Grant Program

Category A Research on graphic design or graphic art in general Category B Research on graphic culture-related archives
Eligibility Scholars affiliated with research institutions

(universities, art museums, etc.) or

individuals having corresponding research credentials

Grant amount Maximum 500,000 yen

Grant period January 1, 2024, to December 31, 2024. (Grants are awarded on an annual basis, with

extension for a second year possible, but one time only.)

Application method Designated application form, to be submitted by

regular post and e-mail.

Application period April 1, 2023 to June 16, 2023



応募件数

	国内	海外	計
A部門	39	7	46
B部門	14	0	14
計	53	7	60

Number of Applications

	Japan	Overseas	Total
Category A	39	7	46
Category B	14	0	14
Total	53	7	60

2023年度 採択研究 (14件)

		T .	T.	1
部門	テーマ	代表研究者	所属·職名	助成額
Α	境界科学の視覚文化論:グローバル・ヒストリーとしての念写	ハンスン・ショーン	ダラム大学 准教授	500,000円
А	ロマ民族 (ジプシー) のシンボル学	角 悠介	神戸市外国語大学 客員研究員	500,000円
А	ジャン=エミール・ラブルールと「独立版画家協会」— 20世紀前半のフランスにおける版画の普及運動	髙野 詩織	町田市立国際版画美術館 学芸員	500,000円
А	木版画を媒体とした現代美術の実践:インドネシア・マレーシアを事例として	廣田 緑	国際ファッション専門職大学 准教授	500,000円
А	〈紙的思考〉: 戸田ツトムによる文明批評	デンニッツァ・ガブラコヴァ	ウエリントン・ヴィクトリア大学 上級講師	200,000円
Α	デジタル時代における楽譜印刷と音楽文化の相互的影響関係に関する研究	関 慎太朗	日本学術振興会 特別研究員 DC2	500,000円
Α	小川一眞が結んだ人と国:明治期における写真での日英交流	清水 由布紀	津田塾大学 助教	500,000円
Α	近代日本における「ブツ撮り」写真―1920年代から60年代を中心に	芦髙 郁子	滋賀県立美術館 学芸員	500,000円
А	版画集団 MAXI GRAPHICA 研究―地域と版表現の関係性	堀本 宗徳	大阪公立大学 博士前期課程	200,000円
А	南アジアおよび東南アジアのグラフィック文化におけるラーマーヤナ	アナンディ・ラオ	ロンドン大学 東洋アフリカ研究学院 南アジア研究所講師	500,000円
В	中国と日本に現存する中国イスラームの絵画・書道・ポスターの調査: 目録とアーカイブの構築を目指して	海野 典子	早稲田大学大学院 アジア太平洋研究科 講師	500,000円
В	泰山製陶所のデジタルアーカイブズの構築	坂口 英伸	東京藝術大学 教育研究助手	500,000円
В	1930-40年代における猪熊弦一郎の雑誌表紙絵に関する 調査研究とデジタルアーカイブ公開	吉澤 博之	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 学芸課 レジストラー	500,000円
В	東アジアのタイポグラフィ:2000年から現在までの傾向について一 国際タイポグラフィビエンナーレTypojanchi を通して一	徐慧	滋賀県立大学 人間文化学部 生活デザイン学科 専任講師	470,000円

2023 Selected Research Topics

Cat.	Research Topic	Applicant	Affiliated Institution	Grant Amount (JPY)
А	The Visual Culture of 'Fringe' Science: Thoughtography as Global History	Hansun HSIUNG	Durham University	500,000
А	Symbology of Rroms (Gypsies)	Yusuke SUMI	Kobe City University of Foreign Studies	500,000
А	Jean-Émile Laboureur and Société des Peintres-graveurs Indépendants: Revival of Printing in the First Half of the Twentieth Century France	Shiori TAKANO	Machida City Museum of Graphic Arts	500,000
А	Contemporary Art Practice through Woodblock Prints: A Case Study in Indonesia and Malaysia	Midori HIROTA	Professional Institute of International Fashion	500,000
А	"Paper Thought": Approaching the Digital Humanities through Toda Tztom's Criticism	Dennitza GABRAKOVA	Victoria University of Wellington	200,000
А	A Study on the Mutual Influence of Sheet Music Printing and Musical Culture in the Digital Age	Shintaro SEKI	Japan Society for the Promotion of Science	500,000
А	Connecting People and Countries through Photography by Kazumasa: Anglo-Japanese Photographic Exchange in the Meiji Era	Yuki SHIMIZU	Tsuda University	500,000
А	Photographs of "Butsudori" in Modern Japan: Focusing on the 1920s to 1960s	Ikuko ASHITAKA	Shiga Museum of Art	500,000
А	Research on MAXI GRAPHICA, a Japanese printmaker collective— Relationship between region and print representation	Sotoku HORIMOTO	Osaka Metropolitan University	200,000
А	Ramayana in South and Southeast Asian Graphic Culture	Anandi RAO	SOAS, University of London	500,000
В	Investigation of Chinese Islamic Pictures, Calligraphies, and Posters in China and Japan: Toward the Creation of a Catalog and Archive	Noriko UNNO	Graduate School of Asia-Pacific Studies, Waseda University	500,000
В	Building of Digital Archives of Taizanseitosho	Eishin SAKAGUCHI	Tokyo University of the Arts	500,000
В	Research of Genichiro Inokuma's works of 1930-1940's magazine cover and Build out open database of the collection	Hiroyuki YOSHIZAWA	Marugame Genichiro-Inokuma Museum of Contemporary Art	500,000
В	East Asian typography: Trends from 2000 to the present —Through the International Typography Biennale Typojanchi—	Hye SEO	School of Human Cultures, Department of Living Design, The University of Shiga Prefecture	470,000

2022年度 採択研究継続助成(8件)

部門	テーマ	代表研究者	所属·職名	助成額
А	記念用プリント・テキスタイルにみる近代:国民国家・伝統・エスニシティーの表象	門田 園子	お茶の水女子大学 グローバルリーダーシップ研究所 特別研究員	500,000円
А	戦前期日本のポスター史、デザイン文化史	田島 奈都子	青梅市立美術館 学芸員	497,000円
A	ポスタルメディアにみる女子スポーツの身体表象: 戦前期日本の運動会を中心として	崎田 嘉寛	北海道大学 大学院 教育学研究院 准教授	400,000円
А	教育者としての上野リチー戦後デザインへの影響ー	牧田 久美	京都市立芸術大学 芸術資源研究センター 客員研究員	400,000円
А	工場と芸術――戦後日本社会における絵画と生の近接性	鯖江 秀樹	京都精華大学 准教授	450,000円
В	「アノニマスな記録」としての写真: 1960年代後半から70年代前半 日本における写真のリアリズムについて	久後 香純	ニューヨーク州立ビンガムトン大学 博士課程大学院生	400,000円
В	デジタル時代におけるキリシタン版: デジタル手法による「キリシタン版」探索の可能性と限界に関する考察	モリス ジェームズ・ハリー	早稲田大学 准教授	481,000円
В	復興する東北沿岸部で行われたリフォトグラフィー・プロジェクトのアーカイブ	マクラウド ギャリー	筑波大学 准教授	400,000円

2023 Continuation Grants (2022 Selected Research Topics)

Cat.	Research Topic	Applicant	Affiliated Institution	Grant Amount (JPY)
А	Modernity in Commemorative Printed Textiles: Representations of Nation-States, Traditions, and Ethnicity	Sonoko MONDEN	Institute for Global Leadership, Ochanomizu University	500,000
А	History of Posters and Cultural History of Design in Prewar Japan	Natsuko TAJIMA	Ome Municipal Museum of Art	497,000
А	Postal Media's Representation of the Sporting Female Body at Athletic Meet in Prewar Japan	Yoshihiro SAKITA	Faculty of Education, Hokkaido University	400,000
А	Felice Rix-Ueno as an educator and her influence on the Japanese postwar design	Hisami MAKITA	Archival Research Center, Kyoto City University of Arts	400,000
А	Expression in the Plant: Juxtaposition of Art with Life in Postwar Japan	Hideki SABAE	Kyoto Seika University	450,000
В	Photography as "Anonymous Document": The Formation of a New Realism of Photography in the Late 1960s and early 70s Japan	Kasumi KUGO	Binghamton University	400,000
В	Kirishitan-ban in the Digital Age: A Study of the Opportunities and Limitations of Applying Digital Methods to Kirishitan-ban	James Harry MORRIS	Waseda University, Waseda Institute for Advanced Study	481,000
В	An archive of rephotography projects along Tohoku's recovering coast	Gary McLEOD	University of Tsukuba	400,000

DNP文化振興財団学術研究助成紀要

『DNP文化振興財団学術研究助成紀要 Vol.5』は、2022年末までに助成期間満了を迎えた19人の成果論文を収録した。巻末特集は、国立アートリサーチセンター情報資源グループの川口雅子氏、谷口英理氏、石黒礼子氏に「日本のアート・デザイン分野学術研究の振興とそのためのアーカイブの整備・利活用」をテーマにご寄稿いただいた。紀要は、国会図書館をはじめ、大学図書館、美術館、研究所など各所関連機関へ献本した。

The Bulletin of Graphic Culture Research Grants

Volume 5 of *The Bulletin of Graphic Culture Research Grants* incorporated the results findings of 19 recipients whose grant period finished by the end of 2022. The *Bulletin* also contained a special feature, "Promotion of Academic Research in Japanese Art and Design and the Preparation and Utilization of Related Archives," written by Masako Kawaguchi, Eri Taniguchi and Reiko Ishiguro of the Resources Research Group at the National Center for Art Research (NCAR). Copies of the new *Bulletin* were donated to the National Diet Library and numerous university libraries, art museums, research institutes, etc.

Research Results Presentations and Exchange Session

研究成果報告会および交流会

2022年末に助成期間満了を迎えた採択者を対象に、2023年11月24日(金)、東京国立近代美術館にて成果報告会と交流会を行った。コロナ禍のために、対面で行われる成果報告会および交流会は4年ぶりの開催となった。

成果報告会では、対象者を代表して以下の4名の成果発表があった。

·中山 恵理(郡山市立美術館 学芸員)

『日本近代石版画研究発展のための亀井至一・竹二郎研究』

·碓井 麻央(世田谷美術館 学芸員)

『戦後日本のデザインにおける勝見勝の国際的役割― 1960-70年代のICOGRADA関係者との書簡を中心に』

· 石崎康子 (元横浜市歴史博物館 主任学芸員)

『金属活字における平仮名・片仮名字形一覧の作成と研究』 ・キオ・グリフィス(多摩美術大学 客員教授)

『グラフィックの身体性: BIPOCデザインの越境性について』

交流会も合わせて70名の参加者があり、審査委員、研究者同士のコミュニケーションの良い機会となった。

On November 24, 2023, research results presentations and an exchange session were held at the National Museum of Modern Art, Tokyo (MOMAT) for recipients whose grant period finished at the end of 2022. This was the first time in four years that these events were conducted in person, having been suspended during the pandemic.

Results presentations were made by the following four grantees on behalf of all recipients:

- · Eri Nakayama (Curator, Koriyama City Museum of Art):
- "Studies on Shiichi Kamei and Takejiro Kamei for the Development of Research on the History of Modern Lithography in Japan"
- · Mao Usui (Curator, Setagaya Art Museum):
- "The International Role of Masaru Katzumie in Postwar Japan —
 A Closer Look at Katzumie's Correspondence with ICOGRADA Officials in the 1960s and 1970s"
- · Yasuko Ishizaki (former Senior Curator, Yokohama History Museum):
- "Listing and Study of Hiragana and Katakana Typefaces in Metal Types"
- · Kio Griffith (Visiting Professor, Tama Art University):
- "Graphic Embodiment: The Transcultural Nature of BIPOC Design"

A total of 70 individuals took part in the exchange session, providing an excellent opportunity for communication among researchers and members of the Screening Committee.









2023-24 Financial Support Activities

2023-24年度助成実績

1 対象 第34回田善顕彰版画展

主催 須賀川商工会議所青年部/ 須賀川市教育委員会後援

年月 2024/2

金額 50,000円

備考 須賀川出身の江戸期の銅版画家、亜欧堂田善(あおう どうでんぜん)顕彰を目的とする市内小中学生対象の版 画コンクール Target The 34th Denzen Print Award Exhibition

Organizers Sukagawa Chamber of Commerce Youth Division,

Sukagawa Board of Education

Date February, 2024

Amount JPY 50,000

Remarks Print contest for Sukagawa elementary and junior high school

students aimed at spreading recognition of copper plate print

artist and Sukagawa native Aodo Denzen (1748-1822).

ggg 展覧会概要

TDC 2023

会期=2023年3月31日-4月28日

受賞作家=○グランプリ=幸洋子 ○タイプデ ザイン賞=Junyao Chu ○ブックデザイン賞 = OK-RM (Rory McGrath and Oliver Knight) ○RGB賞= A DECADE TO DOWN! OAD PRO-JECT TEAM ()TDC賞=岡崎智弘、M/M (Paris) Michael Amzalag + Mathias Augustyniak, Han Gao, Nanjing Han Qing Tang Design, M/M (Paris) Michael Amzalag + Mathias Augustyniak / Paul McNeil、Rok Hudobivnik ○特別賞=立花文穂

展示概要=文字の視覚表現を軸にしたグラフィ ックデザインの国際コンペティション「東京TDC 賞2023 (東京タイプディレクターズクラブ)の 成果を紹介するTDC展。2022年秋の公募に寄 せられた3,679点(国内1,983、海外1,696)の 中から40名の選考委員による厳正な審査の結 果、11の受賞作品、74のノミネート作品を含む 484作品が入選。受賞作品・ノミネート作品を はじめ、世界先鋭のグラフィック 134作品を展示 Lit-

横尾忠則 銀座番外地 Tadanori Yokoo My Black Holes

会期=2023年5月15日-6月30日

編集=榎本了壱、北沢永志

協力=構屋忠則現代美術館

展示構成=HIGURF 17-15cas

作家略歴=1936年、兵庫県西脇市生まれ。1956年、 神戸新聞社に入社、グラフィックデザイナーとして活 躍し、1959年独立。唐士郎や寺山修司の実験演劇、 土方巽の暗黒舞踏といった前衛的な舞台のためのポ スターを数多く手がけ、国内外から高く評価される。 1980年、パブロ・ピカソ展に衝撃を受け「画家宣言」 を発表。以降、画家として本格的に創作活動を開始 し、現在でも精力的に新作を生み出し続けている。

展示概要=横尾忠則氏のgggにおける4回目の個展。 展示作品にはポスターや書籍などの完成品はなく、作 品を構成するラフスケッチ、アイデアノート、デッサ ンや、表現エレメントとしてのドローイング、原画、コ ラージュ、版画やポスターを仕上げるための版下、色 指定紙等々、作品完成以前の膨大な「デザイン表現の プロセス」に焦点を当てた。横尾忠則現代美術館に 保管されている膨大な資料から、厳選した約250点 を展示。まさにブラックホールのように、 横尾氏の創 造空間に引き込まれ、吸い込まれそうなる「無」の境 地を感じるような展覧会となった。

KOICHI KOSUGI Graphic Park 小杉幸一 グラフィックパーク

会期=2023年7月11日-8月21日

作家略歴=アートディレクター、クリエイティブデ ィレクター。武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学 科卒業。博報堂を経て、2019年「onehappy」を設 立。「コミュニケーション人格」デザインでその企 業や商品やサービスのキャラクターを明快にし、 クリエイティブディレクション、アートディレクショ ンを行う。

展示概要=小学生の頃から絵を描くことが好きだ った、でも描くという行為そのものよりも、人に喜 んでもらうことが嬉しくてとにかく描いていた、と 小杉氏は白身の幼少期を振り返る。そんな'幸一 少年'は現在「デザイナーやアートディレクターは、 形をつくるだけの人ではなくて、考え方を"翻訳"し てつくる人」と表現し、クライアントやプロジェク トチームの考えや感覚を、自分という主観を通し て言語化し、視覚化すること(=翻訳)を诵じて、 世の中にハッピーで前向きなメッセージを発信し ている。「グラフィックパーク」と題した本展は、小 杉氏が手掛けてきた広告デザインやキャンペーン、 CIデザイン、ブランド開発などの代表的な仕事が 会場を包みこみ、gggは遊び心満載なテーマパー クに変容した。

Tokyo Type Directors Club Exhibition 2023

Dates = March 31 - April 28, 2023

Award Winners = Grand Prize: Yoko Yuki. Type Design Prize: Junyao Chu. Book Design Prize OK-RM (Rory McGrath and Oliver Knight). RGB Prize: A DECADE TO DOWNLOAD PROJECT TEAM, TDC Prize: Tomohiro Okazaki: M/M (Paris) Michael Amzalag + Mathias Augustyniak; Han Gao; Nanjing Han Qing Tang Design; M/M (Paris) Michael Amzalag + Mathias Augustyniak / Paul McNeil; Rok Hudobivnik. Special Prize: Fumio Tachibana

Exhibition Overview = The 2023 Tokyo TDC Exhibition introduced the results of an international graphic design competition organized by the Tokyo Type Directors Club (TDC) focused on visual representation of written language through type design and typography. The awards winners were selected by a committee of 40 judges from a pool of 3.679 entries submitted starting in autumn 2022: 1.983 from within Japan and 1.696 from overseas. In the initial round of screening, a total of 484 entries were chosen. In the second round, this figure was pared down to 11 award winners and 74 prize nominations. The exhibition displayed 134 works, including not only the nominated and award-winning works but also cutting-edge graphics by entrants worldwide.

TADANORI YOKOO My Black Holes

Dates = May 15 - June 30, 2023

Editing = Ryoichi Enomoto, Eishi Kitazawa Cooperation = Yokoo Tadanori Museum of Contemporary Art

Space Design = HIGURE 17-15cas

Artist Profile = Tadanori Yokoo was born in Nishiwaki City, Hyogo Prefecture, in 1936, In 1956 he joined The Kobe Shimbun newspaper company, where he served as a graphic designer until going freelance in 1959. He received high acclaim, both in Japan and abroad, for his numerous posters for avant-garde stage performances, including the experimental plays of Juro Kara and Shuji Terayama and Butoh of Tatsumi Hiiikata, In 1980, on seeing an exhibition of works by Pablo Picasso, Yokoo announced he was becoming a painter, whereupon he launched full scale on a career as a painting artist. Today, he vigorously continues to produce new works. Exhibition Overview = This was Tadanori Yokoo's fourth solo show at ggg. Rather than showing his posters, books and other finished works, here the focus was on the vast array of materials that have served as elements of his design process, including: rough sketches, idea notes, drawings, collages, and paste-ups and color schemes used in creating his prints and posters. Approximately 250 works were chosen from enormous amounts of materials stored at the Yokoo Tadanori

Museum of Contemporary Art. Like a real black hole,

exhibition visitors were "sucked into the vortex" of Tadanori Yokoo's creative realm of "nothingness."

KOICHI KOSUGI Graphic Park

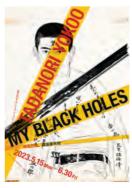
Dates = July 11 - August 21, 2023

Artist Profile = Art director and creative director Koichi Kosugi graduated from Musashino Art University with a degree in Visual Communication Design. After working at Hakuhodo, he established onehappy in 2019. As a creative director and art director, he employs "communication personality" design to give clarity to the character of a company's products or services.

Exhibition Overview = From the time he was in primary school, Koichi Kosugi loved to draw. But more than the act of drawing, he says it was the happiness he derived from making others happy that motivated him. He says that as a designer and art director he isn't just someone who creates images. Rather, he describes himself as one who "translates" ways of thinking. He defines "translation" as taking the particular thoughts or perceptions of a client or project team and, passing them through his own subjective lens, transforming them into words or visual forms as a way of bringing happiness and positive thinking to the world. In Graphic Park Koichi Kosugi filled the gallery with his representative works, including advertising designs, campaign artwork, CD designs, branding designs, and much more. He transformed aga into a highly entertaining amusement park.



Design: Dohyung Kim



Design: Tadanori Yokoo, Daichi Aiiima



Design: Koichi Kosugi

ステファン・サグマイスター ナウ・イズ・ベター

会期=2023年8月30日-10月23日

作家略歴=ローリング・ストーンズからグッゲン ハイム美術館まで多様なクライアントのために デザインを手がける。グラミー賞受賞2回のほ か、多くの主要な国際デザイン賞を受賞。サグ マイスターの仕事はグラフィックに根ざすが、映 画監督、家具制作、プロダクト製造、時計のデザ イン、最近では衣類のデザインにも挑む。オー ストリア出身、ウィーン応用美術大学でMFA取 得、フルブライト奨学金を受けてニューヨークの プラット・インスティテュートにて修士号取得。 展示概要=世界で起きている戦争、気候変動や 自然災害などスマートフォンやPCからの情報を 見ると世界は悲劇に満ちていると感じる。しか し、人類の歩みを100年単位で考えると、私た ちの生活は多くの面で改善されていることに気 づく。展覧会では、このような広い視野から見 た世の中の変化を、「ナウ・イズ・ベター」という タイトルに思いを込めて、19世紀の古典的絵画 を大胆に改造した作品や、レンチキュラーの効 果を活かした作品を展示した。gggでは20年ぶ りとなるステファン・サグマイスターの個展。

日本のアートディレクション展2023

会期=2023年11月1日-30日

受賞作家=○グランプリ=中村勇吾 ○ADC会 員當=服部—成。植原豪輔+渡邊良重 ○原弘 賞=柿木原政広+岡本正史 ○ADC賞=関戸 貴美子+岩崎宏俊、田中良治、鎌谷聡次郎+菅 野薫+鎌田貴史、永井貴浩、上西祐理+加瀬透 +牧寿次郎+小野直紀、玉置太一、藤井亮、加 藤寛之+畠山大介+STATION STAMP design team、塚本哲也+大野大樹+尾上永晃、後智仁 展示概要=1952年の設立以来、展覧会や年鑑 の発行などを通じ、日本に「アートディレクション」 という考え方を普及させる活動を続けてきた東 京アートディレクターズクラブ(ADC)。昨年度ま ではgggで[会員作品]、G8で[一般作品]と、2 つの会場で開催していたが、今年度よりgggの みの開催となった。グランプリを受賞した中村勇 吾氏によるPlayStation、Steamのビデオゲーム 「HUMANITY」をはじめ、2022年6月から2023 年5月までに発表された約6.000点の応募作か ら受賞作品とノミネート作品約120点を展示。

Daijiro Ohara HAND BOOK

会期=2023年12月11日-2024年1月31日作家略歴=タイポグラフィを基軸としたグラフィックデザイン、イラストレーション、映像制作などに従事するほか、展覧会やワークショップを通して言葉や文字の新たな知覚を探るプロジェクトを多数展開する。受賞にJAGDA新人賞東京TDC賞。2023年12月に初の単著『HAND BOOK:大原大次郎 Works & Process』(グラフィック社)を刊行。

展示概要=圧倒的な量を誇る音楽関係の仕事を中心に、書籍や映像制作など、文字・タイポグラフィを基軸に活動を続けるグラフィックデザイナーの大原大次郎氏。独自の描き文字やイラストレーションの印象が強い大原氏のすべての実践に通底するのが「手」= HANDを使うということ。同時期にグラフィック社から出版された大原氏の初の作品集とともに展覧会名も「HAND BOOK」と名付け、幅広い分野の作品を展示。文字や作字をキーワードに、これまでの制作物の完成までのプロセスを展示した。

YOSHIROTTEN Radial Graphics Bio ヨシロットン 拡張するグラフィック

会期=2024年2月14日-3月23日制作協力=株式会社NONFIX / KIM YOOSOO作家略歴=ファインアートと商業美術、デジタルと身体性、都市のユースカルチャーと自然世界など、複数の領域を往来しながら活動中。デザイン・スタジオ「YAR」の代表で、商業に於いて視覚芸術が関わるほぼ全ての範囲で膨大な量の仕事を手掛ける。2023年にはマルチメディア・アートプロジェクト「SUN」を日本各地で展開。展示概要=グラフィックデザインを起点に、映像作品、立体的な制作物、クライアントワークなど幅広く活動するYOSHIROTTEN。会場1階ではYOSHIROTTENの活動の原点ともなった「RGB」の光で表現された「RGB Punk」シリーズや、鑑賞者が実際にボタンを押して表現体験ができる

「RGB Machine」を展示。地階では今まで制作

した過去15年間の作品をモニターにランダムに

投影した。

Stefan Sagmeister Now is Better

Dates = August 30 - October 23, 2023

Artist Profile = Stefan Sagmeister has designed for clients as diverse as the Rolling Stones and the Guggenheim Museum. He is a two-time Grammy winner and has received numerous major international design awards. While his work remains centered on graphic design, he has also dabbled in film direction, furniture crafting, product making, watch design and, most recently, apparel design. A native of Austria, he received his MFA from the University of Applied Arts in Vienna and, as a Fulbright Scholar, a master's degree from Pratt Institute in New York.

Exhibition Overview = Stefan Sagmeister says that from the information we see every day on our smartphones and computer screens, the world seems to be filled with tragedy: wars around the globe, dire effects of climate change, natural disasters, and on and on. But if we look back on humanity's progress in increments of 100 years, we will realize that our lives have improved in many ways. This is the idea infused in Stefan Sagmeister's choice of "Now is Better" as his exhibition title, his way of looking at the changes taking place in our world from a broader perspective. For his first solo show at ggg in 20 years, he exhibited boldly reworked classical paintings from the 19th century and works employing lenticular effects.

Art Direction Japan 2023 Exhibition

Dates = November 1 - 30, 2023

Award Winners = Grand Prize: Yugo Nakamura. ADC Members Award: Kazunari Hattori; Ryosuke Uehara + Yoshie Watanabe. Hara Hiromu Award: Masahiro Kakinokihara + Masashi "Kinpachi" Okamoto. ADC Award: Kimiko Sekido + Hirotoshi Iwasaki; Ryoji Tanaka; Sojiro Kamatani + Kaoru Sugano + Takashi Kamada; Takahiro Nagai; Yuri Uenishi + Toru Kase + Jujiro Maki + Naoki Ono; Taichi Tamaki; Ryo Fujii; Hiroyuki Kato + Daisuke Hatakeyama + STATION STAMP design team; Tetsuya Tsukamoto + Hiroki Ono + Noriaki Onoe; Tomohifo Ushiro.

Exhibition Overview = Since its establishment in 1952, the Tokyo Art Directors Club (ADC) has continuously undertaken activities to promote the concept of "art direction" in Japan through exhibitions, publication of a yearbook, etc. Until last year, this annual exhibition was held at two venues; ggg for works by ADC members, and Creation Gallery G8 for works by non-members. This year, the event took place solely at ggg and displayed approximately 120 works in total; both the award-winning works - including Yugo Nakamura's Grand Prize winning video game "HUMANITY" for PlayStation's Steam platform - as well as outstanding nominated works selected from the near 6,000 entries presented, used or published between June 2022 and May 2023.

Daiiiro Ohara HAND BOOK

Dates = December 11, 2023 - January 31, 2024 Artist Profile = Daijiro Ohara works primarily in graphic design focused on typography, illustration, and video production. He also undertakes numer ous projects that explore new perceptions of words and letters through exhibitions and workshops. He is the recipient of a JAGDA New Designer Award and Tokyo TDC Award. In December 2023 he published HAND BOOK: Works & Process, his first book as a solo author. Exhibition Overview = Daijiro Ohara's activities as a graphic designer center on lettering and typography. Besides an overwhelming volume of musicrelated work, he is also active in book and video production. His entire practice is built on the use of the HAND to create unique hand-lettering and illustrations that make a strong impression. The exhibition featured his works in a broad array of areas and covered his entire production process. his focus being on lettering and letter design. The exhibition title, HAND BOOK, was taken from his simultaneously published first book of collected

YOSHIROTTEN Radial Graphics Bio

Dates = February 14 - March 23, 2024 Cooperation = nonfix Inc. / KIM YOOSOO Artist Profile = YOSHIROTTEN moves between various dichotomous realms: fine art and commercial art, the digital and physical realms, urban youth culture and the natural world, etc. With YAR his own design studio, he handles a vast amount of work in almost all areas of commercial visual arts. In 2023, YOSHIROTTEN took his multimedia art project "SUN" to multiple venues across Japan. Exhibition Overview = Grounded in graphic design, YOSHIROTTEN is active across a broad spectrum of areas including video and installations as well as commissioned works. The ground floor of the gallery was devoted to his "RGB Punk" series, the starting point of his artistic activities, where he used RGB lighting as his mode of expression; and "RGB Machine," where visitors could express themselves artistically by physically pressing buttons. The exhibit on the underground level consisted of random monitor displays of YOSHI-ROTTEN's works from the past 15 years.



Design: Stefan Sagmeister, Photo: Bela Borsodi



Design: Noriaki Hayashi



Design: Daijiro Ohara



ddd 展覧会概要

エディション・ノルト | ファクトリー dddd: 被包摂、絡合、派生物/

| 会場構成 | 秋山ブク | シチュエーションズ7番: 京都 ddd ギャラリーの備品による

会期=2023年3月21日-5月21日

作家略歴=秋山伸:1963年 新潟県生まれ。edition. nord代表、グラフィックデザイナー、ブック・メイカー。1990年代半ばから、美術・建築の書籍や展覧会のグラフィックデザインを数多く手がける。/ 秋山ブク:2001年より「コンボジション」シリーズとして、ギャラリー、店舗、倉庫、屋外公園、図書館などのその場にある備品だけで即興的に空間を構成する作品を作り続けている。2016年より、一旦構成した作品を会期中に、自ら、あるいは協働者の力を借りて何回も組み直す「シチュエーションズ」を始める。

展示概要=タイトル通り、会場は手作り製本にこだ わる秋山氏の印刷、製本工場の條相。持込のリソグ ラフ印刷機とインタタンク、印刷用紙、製本ミシン、 裁断機、シルクスクリーン用製版機、印刷時に発生 したヤレ(失敗作)まで配置。会期中、会場にはスタ ッフが常駐し、制作活動を実践。また、インスタレー ション担当の秋山ブク氏が展示空間を5回改変。 dddの脚立や各種展示台、仮設壁板などの備品を利 用し、一見乱雑ながら、わくわくするファクトリーが 形を変え何度中楽しめる稀有な展費会となった。

"edition.nord: Factory dddd: encompassee, entanglement, derivatives" Space configuration / Buku Akiyama "Situations No.7: with equipment of "kyoto ddd gallery"

Dates = March 21 - May 21, 2023

Artist Profile = Shin Akiyama was born in in Niigata Prefecture in 1963. He is director of edition nord. graphic designer and publisher. Since the mid-1990s. he has been involved in numerous graphic design proiects for art and architecture books and exhibitions. Buku Akiyama has created works in the "Composition" series, improvising spatial compositions with existing equipment in galleries, stores, etc. since 2001. In 2016, he launched "Situations," reconstructing works multiple times over the course of an exhibition, working either independently or with the help of collaborators. Exhibition Overview = As its title suggests, the exhibition recreated the factory where Shin Akiyama prints and binds books with handmade craftsmanship. To achieve this, he had the gallery outfitted with a lithograph printer, ink tanks, printing paper, bookbinding machine, cutting machine, silkscreen platemaking machine, and even waste generated during the printing process. Throughout the exhibition's run, his staffs were always demonstrating production activities. Buku Akiyama, who was in charge of installations, reworked

the exhibition space five times. He used various equip-

ment from ddd; stepladders, display tables, temporary

wallboards, etc., resulting in an exciting, created a rare

exhibition that could be enjoyed multiple times

AMERICANS AND PARTIES AND PART

Design: Shin Akiyama, edition.nord

葛西薫展 NOSTALGIA

会期=2023年5月31日-7月30日 協力=株式会社サン・アド

作家略歴=1949年北海道札幌市生まれ。文華印刷、大谷デザイン研究所を経て、1973年サン・アド入社。現在同社顧問。サントリーウーロン茶、ユナイテッドアローズ、とらや、TORAYA AN STANDなどの広告制作およびアートディレクションの他、CI・サイン計画、映画・演劇のグラフィック、タイトルワーク、ブックデザインなど、活動は多岐にわたる。東京ADCグランブリ、原弘賞、毎日デザイン賞、亀倉雄策賞など受賞。

展示概要=gggから巡回。タイトル「NOSTAL-GIA」を望郷、郷愁などの意味以外に「論理の外にある意味のないものへの興味。その深層にあるもの」と捉え、手作業から生まれた多面的な作品の数々を紹介。入口に一列の本棚を設け、数多くのブックデザインを手に取れるよう展示。壁ごとに額縁の色を変えるなど、シンプルだが明瞭な作品構成。中央には、来場者を出迎えるかのように葛西氏が新たに制作した艶やかな黒のクローバーのオブジェを配置し、ノスタルジックな作品世界の街並に迷い込んだかのような印象を与えた。

Kasai Kaoru Exhibition: NOSTALGIA

Dates = May 31 - July 30, 2023 Cooperation = SUN-AD Company Limited

Artist Profile = Kaoru Kasai was born in Sapporo, Hokkaido, in 1949. After stints working at Bunka Printing and Ohtani Design, in 1973 he joined SUN-AD, where he currently serves as advisor. His creative activities span a wide range, including advertising and art direction for Suntory Oolong Tea, United Arrows, and Toraya Confectioner, among others, as well as corporate identity and signage planning, book design, and graphics and title design for films and theater plays. His major awards received include the Tokyo ADC Grand Prize, Memorial Prize of Hiromu Hara, Mainichi Design Award, and the Yisaku Kamekura Design Award.

Exhibition Overview = This exhibition was originally held at ggg. It introduced a large number of Mr. Kasai's multifaceted handcrafted works on the theme of "nostalgia," a term which, in addition to its conventional sense of longing for places and times gone by, for him connotes a fascination with things that have no logical meaning, and the things that lie deep within them. The gallery entrance was outfitted with bookshelves containing many books designed by Mr. Kasai. Inside, the gallery walls were each framed in different colors, making for a clear and simple arrangement of his works. In the center was a newly created clover object in glossy black, poised as if to welcome visitors. Overall, the exhibition gave the impression of suddenly finding oneself astray in a world of nostalgic works.

ソール・スタインバーグ シニカルな現実世界の変換の試み

会期=2023年8月9日-10月15日

監修・展示構成・評論=矢萩喜從郎

協力=ソール・スタインバーグ財団、マーグ画廊 作家略歴=1914年ルーマニア生まれ、ブカレス ト大学で哲学と文学を学んだ後、イタリアのミラ ノ王立工科大学(現ミラノ工科大学)で建築を専攻 し1940年卒業。翌年ファシスト政権下の反ユダヤ 的なイタリアを逃れアメリカに渡る。戦後はニュー ヨークに居を構え、『The New Yorker』誌の仕事を 50年以上にわたり手がけた。知的で洗練されたス タイルで、漫画(cartoon)の世界に革命を起こし、 美術の領域にグラフィックを取り入れた第一人者。 日本でも藤子不二雄や柳原良平、和田誠等、多く の漫画家やイラストレーターに影響を与えた。

展示概要=gggから巡回。会場に効果的に壁を立てることで、スタインバーグ財団から寄贈されたポスター、リトグラフ、エッチング、木版画をはじめ、ドローイングを中心とした代表作の複製作品など数多くの作品を展示。ダイナミックに斜めに連なるギャラリー中央のパネルには代表作であるドロイングが出現。スタインバーグの軽妙でありながらもシニカルな作品世界の背景についても理解し、表現する空間づくりに成功した。

Saul Steinberg: Lines that Transform the Real World

Dates = August 9 - October 15, 2023

Supervision, Exhibition Composition and Critique = Kijuro Yahagi

Artist Profile = Saul Steinberg was born in Romania in 1914. He studied in the Faculty of Philosophy and Letters at the University of Bucharest, and then majored in architecture at Regio Politecnico Milan (now Politecnico di Milano) in Italy, graduating in 1940. In 1941, fleeing the anti-Semitism rampant under Italy's fascist government, he emigrated to the United States. After the war he settled in New York City, and over the next half-century his drawings were a regular feature of The New Yorker magazine. His intellectual and refined style sparked a revolution in the realm of cartoons, and he was a leading force in incorporating graphic design into the realm of art. His work had an influence on many Japanese manga artists and illustrations.

Exhibition Overview = This exhibition, originally mounted at ggg, featured a large number of works donated by the Saul Steinberg Foundation, including posters, lithographs, etchings, woodblock prints, and reproductions of representative works, mainly drawings. Displayed at the center of the gallery was his dynamically drawings, depicted on obliquely placed panels. The exhibition succeeded in creating a space enabling understanding and appreciation of Mr. Steinberg's works as well as the background behind his witty yet often cynical artistic realm.



Design: Kaoru Kasai



Design: Kijuro Yahagi

はみだす。とびこえる。絵本編集者 筒井大介の仕事

会期=2023年10月25日-2024年1月7日 空間デザイン=tento

作家略歴=1978年大阪府生まれ。絵本編集者。 教育画劇、イースト・プレスを経てフリー。野分 編集室主宰。『ブラッキンダー』(スズキコージ)、 『オオカミがとぶひ』(ミロコマチコ) がそれぞれ 第14回、第18回日本絵本賞大賞。 にこどもたち はまっている』(荒井良二) が第26回日本絵本賞 を受賞。水曜えほん塾、nowaki絵本ワークショ ップを主宰し、作家の発掘、育成にも力を注い でいる。

参加作家=朝倉世界一、網代幸介、阿部海太、 荒井良二、五十嵐大介、石井聖岳、いぬんご、井 上洋介、植田真、eto、及川賢治・竹内繭子、大 畑いくの、小原秀一、片山健、加藤休宝、 気、きくちちき、鬼頭祈、合田里美、小林エリカ、 酒巻恵、坂本千明、沢田としき、シゲタサヤカ、 死後くん、城芽ハヤト、しんよんひ、スケラッコ、 スズキコージ、たんじあきこ、つじにぬき、寺門 孝之、直見芽以子、長崎訓子、中田いくみ、中野 真典、nakaban、長谷川義史、ハダタカヒト、原 マスミ、樋口佳絵、町田尚子、マメイケダ、マルー、 ミシシッピ、みなはむ、宮崎夏次系、みやざきひ ろかず、ミロコマチコ、本秀康、森田るり 協力=あかね書房、亜紀書房、アドシステム、イースト・ブレス、市谷の杜本と活字館、井上真樹、岩崎書店、WAVE出版、大牟田市ともだちや絵本美術館、偕成社、片山中蔵、教育画劇、京都市老人福祉施設協議会、佼成出版社、坂上祐介、沢田節子、創元社、竹尾、noie.cc、nowaki、BL出版、ブルージェイ、ほるぶ出版、ミシマ社、Yutaka Kikutake Gallery

展示概要=絵本作家52名の貴重な原画や多くのラフスケッチ、作家から寄せられた筒井氏との仕事に纏わるエピソードと筒井氏の各作品へのコメントをいくつかのコーナーに分けて展示。デジタル作画作品はモニターでスライドショー毎生。編集者のこだわりが伝わる色校正も多数展示。絵本の領域を広げ続ける編集者ならではの幅と奥行きのある絵本展となった。一日ではすべてを見切れないと何回も来場する絵本ファンも多かった。

MIRROR/MIRROR: カナダ・日本 現代版画ドキュメント

会期=前期:2024年1月17日-2月12日 後期:2024年2月17日-3月17日

後援=カナダ大使館

出展作家=前期: デレク・ベサント、アレクサンドラ・ヘイセカー、ウォルター・ジュール、ウィリアム・ラング、金光男、清野耕一、高橋耕平、吉岡俊直/後期:ショーン・コーフィールド、ルネ・デロウィン、リズ・イングラム、トレイシー・テンブルトン、加納俊輔、木村秀樹、大崎のぶゆき、ナーロセコ

展示概要=現代版画の多様性と成熟を共有し、かつ創作の前提としつつも、安住を好まず変革を継続する、日本とカナダの野心的な作家たちによる格闘の諸相を紹介。技法や形式による領域の確定が無意味とも思える現代の美術状況の中で、今あえて版画にこだわることで生み出される表現の質とは何か? 一 切実であり、普遍性をもったこの問いに対して、出品者16様の解答が試みられた。日加修好95周年。版画表現の現況や歴史を通して、両国の文化の相互理解を示らに深める場となった。

Outlier: The Works of Picture Book Editor Daisuke Tsutsui

Dates = October 25, 2023 - January 7, 2024 Spatial Design = tento

Artist Profile = Daisuke Tsutsui was born in Osaka Prefecture in 1978. After initially working at kyoui-kugageki and then Eastpress, he went freelance and became principal of nowaki. Two picture books (by Koji Suzuki and mirocomachiko, respectively) which Mr. Tsutsui edited won the 14th and 18th Japan Picture Book Award Grand Prize, and another (by Ryoji Arai) received a 26th Japan Picture Book Award. Through his picture book school and workshops, Mr. Tsutsui also focuses on unearthing and nurturing new artists

Collaborating Artists = Sekajichi Asakura, Kosuke Ajiro, Kaita Abe, Ryoji Arai, Daisuke Igarashi, Kiyotaka Ishii, inun co, Yosuke Inoue, Makoto Ueda, eto, Kenji Oikawa + Mayuko Takeuchi, Ikuno Ohata, Hidekazu Ohara, Ken Katayama, Yasumi Kato, Takehiro Karube, Chiki Kikuchi, Inori Kito, Satomi Gouda, Frika Kobayashi, Megumi Sakamaki, Chiaki Sakamoto, Toshiki Sawada, Sayaka Shigeta, shigokun, Hayato Jome, Younghee Shin, sukeracko, Koji Suzuki, Akiko Tanji, Ninuki Tsuji, Takayuki Terakado, Meiko Naomi, Kuniko Nagasaki, Ikumi Nakada, Masanori Nakano, nakaban, Yoshifumi Hasegawa, Takahito Hada, Masumi Hara, Kae Higuchi, Naoko Machida, Mame Ikeda, MARUU, MISSISSIPPI, minahamu, Natsujikei Miyazaki, Hirokazu Miyazaki, mirocomachiko,

Hideyasu Moto, Ruri Morita

Cooperation = AKANE SHOBOU Publishing, Akishobo, ADD-SYSTEM, Eastpress, Ichigaya Letterpress Factory, Maki Inoue, Iwasaki Shoten, Wave Publishers, OOMUTASHI TOMODACHIYA EHON-BIJUTSUKAN, KAISEI-SHA, Nakazo Katayama, kyouikugageki, Kyoto-shi rojin fukushi shisetsu kyogiikai, Koseishuppan, Yusuke Sakagami, Setsuko Sawada, SOGENSHA, TAKEO, noie.cc, nowaki, BL shuppan, BLUE JAY, Holp Shuppan Publications, MISHIMA-SHA PUBLISHING, Yutaka Kikutake Gallery

Exhibition Overview = This exhibition consisted of a number of divided sections showing rare original drawings and numerous rough sketches by 52 picture book artists, notes from the various artists describing anecdotes relating to working with Mr. Tsutsui, and Mr. Tsutsui's own comments on the various works on exhibit. Works created digitally were shown on monitors in the form of a slide show. A large number of color proofs were also displayed, conveying Mr. Tsutsui's uncompromising attention to detail as an editor. In all, a picture book exhibition of great breadth and depth was achieved by this editor who continues to expand the realm of picture books. Many picture book fans, unable to take in everything in just one visit, came to the gallery numerous times.

MIRROR/MIRROR: Documenting the Edge of Contemporary Printmaking - CANADA/JAPAN

Dates = First period: January 17 - February 12, 2024 / Second period: February 17 - March 17, 2024

Support = Embassy of Canada

Artists = First period: Derek Michael Besant, Alexandra Haeseker, Walter Jule, William Laing, Mitsuo Kim, Koichi Kiyono, Kohei Takahashi, Toshinao Yoshioka / Second period: Sean Caulfield, René Derouin, Liz Ingram, Shunsuke Kano, Hideki Kimura, Nobuyuki Osaki, Naruki Oshima, Tracy Templeton

Exhibition Overview = This exhibition, timed to coincide with the 95th anniversary of establishment of friendly relations between Japan and Canada, presented the different aspects of the "competition" between ambitious artists from these two countries which share in having contemporary printmaking of great diversity and maturity, traits which inform their creativity but which shun contentment with the present and instead continuously innovate. In the world of contemporary art, defining distinct genres according to production mode or form seems meaningless So what quality of expression emerges from insistence on working with printmaking? Here, 16 artists sought to answer this pressing and universal guestion. Through the printmaking expression in Canada and Japan, the exhibition served to further deepen mutual understanding of their respective cultures.



Design: tento



Design: Kentaro Nakamura

1986-2024

1986

- 3月 1回 大橋正展 野菜のイラストレーション
- 4月 2回 福田繁雄展 Illustric412
- 5月 3回 奥村靫正展 燦々彩譜
- 6月 4回 秋山育展 ピクチャーレリーフ
- 7月 5回 1986 ADC展
- 8月 6回 アートワークス展 I The World is Art.
- 9月 7回 佐藤晃一展 箱について―2
- 10月 8回 粟津潔展 エノタメノジブンカクメイ
- 11月 9回 追悼・ハーバート・バイヤー展 ヴィジュアル・コミューケーションのパイオーア
- 12月 10回 K2 Live!展 ケイを知らずにツーといふな。

1987

- 1月 11回 いろはの絵展 辻修平と
 The CA WorkshopによるCGカリグラフィ
- 2月 12回 花の万博+博覧会のシンボルマーク展
- 3月 13回 藤幡正樹展 geometric love
- 4月 14回 松永直 毎日デザイン賞受賞記念展
- 5月 15回 安西水丸 二色
- 6月 16回 ルウ・ドーフスマンとCBSの クリエイティブワークス展
- 7月 17回 1987 ADC展
- 8月 18回 アートワークス展II Rest in Peace
- 9月 19回 五十嵐威暢の立体数字展
- 10月 20回 青葉益輝プリンティングアート展 Graphically
- 11月 21回 オルガー・マチスのポスター展 意外性の真実
- 12月 22回 ミルトン・グレイザー展 イメージの魔術師

1988

- 1月 23回 木村勝パッケージングディレクション展 リンゴになった箱と動詞になった箱
- 2月 24回 谷口広樹展 猿の記憶
- 3月 25回 銀座百点 表紙原画展:創刊400号記念
- 4月 26回 吉田カツ・描き下し刷り下し展 5月 27回 AGL 88 Tokyo 展
- 世界のグラフィックデザイン
- 6月 28回 イッセイ・ミヤケのポスター展 I.I.I. at GGG
- 7月 29回 1988 ADC展
- 8月 30回 アートワークス展Ⅲ Peace by Piece
- 9月 31回 情報ポスター・リクルート展
- 10月 32回 早川良雄「女」原画展
- 11月 33回 仲條正義展 NAKAJOISH
- 12月 34回 スタシスのポスターとイラストレーション展 存在の深淵に迫る東欧からのメッセージ

1989

- 1月 35回 ショッピング・バッグ・デザイン
- 2月 36回 矢萩喜従郎展
- 3月 37回 Texture 皆川魔鬼子+田原桂一+山岡茂
- 4月 38回 タナカノリユキ展 Gokan-都市の表層
- 5月 39回 オトル・アイヒャー展
- 現代哲学の先駆者 W. フォン・オッカム
- 6月 40回 操上和美展 Photographis 7月 41回 若尾草一郎展 Wakao Collection
- 8月 42回 アートワークス展IV 百花繚乱
- 9月 43回 永井一正展
- 10月 44回 Europalia '89 Japan 新作ポスター 12人展
- 11月 45回 チャールズ S. アンダーソン最新作品展覧会
- 12月 46回 清原悦志の仕事 オマージュ

1990

- 1月 47回 秋月繁展 遊びの箱
- 2月 48回 菊地信義 装幀の本「棚」
- 3月 49回 原田維夫木版画展 馬
- 4月 50回 田中一光グラフィックアート植物園

- 5月 51回 山城隆一 猫のいないイラスト展
- 6月 52回 松井桂三3D展
- 7月 53回 寺門孝之展 遺伝子導入天使
- 8月 54回 アートワークス展V 東京標本箱1990
- 9月 55回 田原桂一展 光の香り
- 10月 56回 浅葉克己の新作展 アジアの文字
- 11月 57回 伊勢克也展 イメージのマカロニ
- 12月 58回 蓬田やすひろ展 ピーブル

1991

- 1月 59回 舟橋全二展
- 2月 60回 太田徹也のダイヤグラム
- 3月 61回 ペア・アーノルディ展
- Posters, Prints and Painting
- 4月 62回 澤田泰廣展 P2 [Painting×Printing]
- 5月 63回 新井苑子展 インスピレーションを描く
- 6月 64回 Communication & Print 新作ポスター 10人展
- 7月 65回 オブジェ・ブック展
- 中垣信夫+中垣デザイン事務所 8月 66回 アートワークス展VI
- "Bacteriart" Messages from Dream Island
- 10-11月 67回 Trans-Art 91
- 12月 68回 1991 ADC展

1992

- 1月 69回 アイヴァン・チャマイエフ展 コラージュ
- 2月 70回 立花ハジメ初の個展 ape-MAN
- 3月 71回 第4回東京TDC展
- 4月 72回 ヘンリク・トマシェフスキ展
- 5月 73回 シーモア・クワスト展 メタル彫刻
- 6月 74回 鹿目尚志展 BOX·XX
- 7月 75回 中村誠 個展
- 8月 76回 リック・バリセンティ展
- 9月 77回 葛西薫展 'AERO'
- 10月 78回 灘本唯人、宇野亜喜良、和田誠、 山口はるみ展
- 11月 79回 ポール・ランド展
- 12月 80回 フロシキ展

1993

- 1月 81回 小島良平展 Tropica Grafica
- 2月 82回 稲越功一展 アウト・オブ・シーズン
- 3月 83回 1992 ADC展
- 4月 84回 第5回東京TDC展
- 5月 85回 U.G.サトーのポスター展 "Treedom"
- 6月 86回 オマージュ 向秀男展
- 7月 87回 文字からのイマジネーション
- 8月 88回 現代香港のデザイン8人展
- 9月 89回 勝井三雄展 光の国:夜と昼の挟間に
- 10月 90回 1993 Illustration 4
- 安西水丸 · 河村要助 · 矢吹申彦 · 湯村輝彦
- 11月 91回 ソール・バス展
- 12月 92回 グリーティング・ポップアップ13人展

1994

- 1月 93回 粟津潔展 H²O Earthman
- 2月 94回 第6回東京TDC展
- 3月 95回 上條喬久展 Windscape Mindscape
- 4月 96回 片山利弘展
- 5月 97回 永井一正展
- 6月 98回 オランダのグラフィックデザイン100年
- 7月 99回 1994 ADC展
- 8-9月100回 グラフィック・グッズ展 デザインからの贈りもの
- 10月101回 平野甲賀展 文字の力 10月 特別展 九州の九人の九つの個性展

- 11月102回 角倉雄策ポスター新作展
- 12月103回 原研哉展
- 12月 特別展「私の好きなもの」
 - +橋とし子、中村幸子、メグ·ホソキ3人展

1005

- 1月104回 ブルーノ・ムナーリ展
- 2月105回 日本のブックデザイン展1946-95
- 3月106回 第7回東京TDC展
- 4月107回 ピーター・ブラッティンガ展
- 5月108回 田中一光展 人間と文字
- 6月109回 ニクラウス・トロックスラーポスター展
- 7月110回 1995 ADC展
- 8月111回 リズム&ヒューズの
- コンピュータグラフィックス展 9月112回 八木保展 自然観
- 9月 特別展 世界のグラフィック20人 ギンザ・グラフィック・
- ギャラリー 10周年/ggg Books 20冊記念 10月113回 モダン・タイポグラフィの流れ展―1
- 11月114回 戸田正寿 イヤイヤランド展
- 12月115回 日本のイラストレーション50年展

1996

- 1月116回 澤田やすひろ展 お江戸で、ゆらゆら
- 2月117回 モダン・タイポグラフィの流れ展―2
- 3月118回 NIPPON.IIN ポスター 23 人展イン・サンパウロ
- 4月119回 第8回東京TDC展
- 5月120回 現代ハンガリーのグラフィック4人展
- 6月121回 勝岡重夫タイポグラフィックアート展
- Departure 7月122回 1996 ADC展
- 8月123回 前田ジョン かみとコンピュータ展
- 9月124回 K2-黒田征太郎/長友啓典
- 二脚の椅子展 10月125回 チェコ・アヴァンギャルド・ブックデザイン 1920s-'30s
- 11月126回 Graphic Wave 1996
- 青木克憲/佐藤卓/山形季央 12月127回 アラン・ル・ケルネ展

1997

- 97
- 1月128回 下谷二助展 人じん 1月特別展 CCGA特別展:
- ジョセフ・アルバース展
- 2月129回 大橋正展 体温をもつ野菜たち
- 3月130回 創立10周年記念 東京TDC展
- 4月131回 仲條正義○○○展
- 5月132回 今日の雑誌8誌による・特集エコロジー展
- 6月133回 横尾忠則ポスター展
- 吉祥招福繁昌描き下ろし!! 7月134回 1997 ADC展
- 8月135回 河原敏文とポリゴン・ピクチュアズ展
- ロッキー・ホラ商會
- 9月136回 メキシコ10人展
- 10月137回 Graphic Wave 1997
- 秋田寛/井上里枝/福島治 10月 特別展 勝見勝賞 10周年記念展
- 11月138回 福田繁雄のポスター〈Supporter〉 12月139回 GLOBAL展 世界33人の
 - デザイナーによるデュオポスター
- 1月140回 鈴木八朗展 8RO ART & AD 2月141回 オーデルマット+ティッシ
- グラフィックデザイン展
- 3月142回 スタシス・エイドゥリゲヴィチウス展 4月143回 1998 TDC展

1998

- 5月144回 スタジオ・ドゥンバー展
- 6月145回 山本容子展 オペラレッスン
- 7月146回 1998 ADC展
- 8月147回 河口洋一郎展 雷脳宇宙への旅
- 9月148回 Graphic Wave 1998
 - 蝦名龍郎/平野敬子/三木健
- 10月149回 グンター・ランボー展
- 11月150回 フィリップ・アペローグ展 フランス文化におけるポスター
- 12月151回 ヘルベルト・ロイピン展

1999

- 199
- 1月152回 海外作家によるFuroshiki Graphics展
- 2月153回 日本のタイポグラフィック1946-95
- 3月154回 木村恒久構成フォト・グラフィックス展 What? 3月 特別展 堀内誠一の仕事展 雑誌づくりの決定的醍醐
- 4月155回 1999 TDC展
- 5月156回 現代ブルガリアのグラフィックデザイン展
- 6月157回 日比野克彦展 誘拐したい
- 7月158回 1999 ADC展
- 7月 特別展 前田ジョン One-line.com
- 8月159回 矢萩喜従郎展
- 9月160回 Graphic Wave 1999 鈴木守/松下計/米村浩
- 10月161回 FUSE展
- 11月162回 松井桂三展
- 12月163回 ポール・デイヴィスのポスター展
- 12月 特別展 アーヴィング・ペン 三宅一生の仕事への視点
- 2000
- 1月164回 Graphic Message for Ecology 1月 特別展 篠山紀信&マニュエル・ルグリ展
- フォトセッションinバリ・オペラ座1998-1999夏
- 2月165回 ブルーノ・モングッツィ展 形と機能の詩人
- 3月166回 伊藤憲治展 医学誌「ステトスコープ」の 表紙デザイン半世紀
- 4月167回 2000 TDC展
- 5月168回 Poster Works Nagoya 12
- 岡本滋夫+11人のデザイナーたち 6月169回 なにわの、こてこてグラフィック展
- 7月170回 2000 ADC展
- 8月171回 日宣美の時代
- 日本のグラフィックデザイン 1951-70展
- 9月172回 Graphic Wave 2000 秋山具義/Tycoon Graphics/中島英樹
- 10月173回 D-ZONE / 戸田ツトム展 11月174回 ピエール・ベルナール展

12月175回 本とコンピュータ展 書物変容ーアジアの時空

- 2001
- 1月176回 二〇〇一年木田安彦展

現実的であれ、不可能を試みろ!

- 2月177回 イタロ・ルビ展 Not Just Graphics
- 3月178回 "Spring has come" 松永真、ディテールの競演。
- 4月179回 2001 TDC展

澁谷克彦/永井一史/ひびのこづえ

- 5月180回 コントラブンクト展 デンマーク国家のデザインプログラム
- 6月181回 原弘のタイポグラフィ 7月182回 2001 ADC展
- 8月183回 灘本唯人 にんげんもよう 9月184回 Graphic Wave 2001
- 10月185回 ハングルポスター展
- 11月186回 サイトウマコト展
- 12月187回 チップ・キッド展

76

0000	44.0004.0 40.0 744		
2002	11月234回 祖父江慎+cozfish展	2月272回 Helvetica forever: Story of a Typeface	9月313回 寄藤文平の夏の一研究
1月188回 ウーヴェ・レシュ展 2月189回 宇野亜喜良展	12月235回 スイスポスター 100年展	ヘルベチカ展	10月314回 AGI展 11月315回 横尾忠則 初のブックデザイン展
2月109回 于野亜菩及版 3月190回 デザイン教育の現場から	2006	3月273回 DRAFT Branding & Art Directors 4月274回 2009 TDC展	12月315回 横尾志則 初のフッシナリイン展 12月316回 テセウス・チャン ヴェルクNo.20:銀座
3月 190回 チザイン教育の現場から セント・ジュースト大学院の新手法	1月236回 角倉雄策1915-1997	5月275回 矢萩喜從郎展	The Extremities of the Printed Matter
セント・シュースト人子院の新手法 4月191回 2002 TDC展	1月236回 电启磁束 1915-1997 日本デザイン界を牽引したパイオニア	5月275回 大秋音使即展 [Magnetic Vision / 新作100点]	The Extremities of the Printed Matter
5月192回 DRAFT展	2月237回 野田凪展	6月276回 グラフィックデザイナー マックス・フーバー展	2013
6月193回 アラン・チャン展 東情西韻	とうと37回 新山瓜根 Hanpanda コンテンポラリーアート	7月277回 2009 ADC 展	1月317回 松永真ポスター 100展
6月 特別展 花森安治と暮しの手帖展	3月238回 シアン展	8月277回 2009 ADC 展 8月278回 [ラストショウ]細谷巖アートディレクション展	2月318回 カリ・ピッポ ポスターとドローイング
7月194回 2002 ADC展	4月239回 2006 TDC展	9月279回 銀座界隈隈ガヤガヤ青春ショー	シンブル・ストロング・シャープ
8月195回 タナカノリユキ展 OUT OF DESIGN	5月240回 永井一史	~言い出しつべ横尾忠則~	3月319回 DNPグラフィックデザイン・アーカイブ収蔵品展V
9月196回 Graphic Wave 2002	HAKUHODO DESIGN「ブランドとデザイン」	選本唯人・宇野亜喜良・和田誠・横尾忠則4人展	LIFE 永井一正ポスター展
左合ひとみ/澤田泰廣/新村則人	6月241回 田名網敬一主義展	10月280回 山形季央展	4月320回 TDC展 2013
10月197回 SUN-AD人	7月242回 2006 ADC展	11月281回 北川一成	5月321回 KM [ケーエム] カレル・マルテンス
11月198回 ブラジルのグラフィックデザイン展	8月243回 アレクサンダー・ゲルマン展	12月282回 広告批評展	6月322回 ホワイ・ノット・アソシエイツ
ブックデザインにみる今日のブラジル	ニューヨーク・コネクション	ひとつの時代の終わりと始まり	予定は失敗のもと。未定は成功のもと。
12月199回 ハーブ・ルバリン展	9月244回 Graphic Wave 2006 School of Design		7月323回 2013 ADC展
12/310011 / / / // / / / / / / / / / / / / /	古平正義/平林奈緒美/水野学/山田英二	2010	8月324回 大宮エリー展
2003	9月 特別展 AGI日本デザイン総会開催記念: 掛け軸展	1-2月283回 DNPグラフィックデザイン・アーカイブ収蔵品展II	9月325回 PARTY そこにいない。展
1月200回 田中一光 ポスターとグラフィックアート展	10月245回 勝手に広告展	田中一光ポスター 1953-1979	10月326回 長嶋りかこ展
2月201回 サディク・カラムスターファ展	[中村至男+佐藤雅彦]の活動No.6	3月284回 DNPグラフィックデザイン・アーカイブ収蔵品展Ⅲ	[Between Human and Nature]
旅と儀式、言葉と形象	11月246回 中島英樹展 Clear in the Fog	福田繁雄のヴィジュアル・ジャンピング	11月327回 ヤン・チヒョルト展
3月202回 現代中国平面設計展	12月247回 早川良雄 日本のデザイン黎明期の証人	4月285回 TDC展 2010	12月328回 トマシェフスキ展 世界を震わす詩学
4月203回 2003 TDC展		5月286回 Talking the Dragon 井上嗣也展	
5月204回 ファブリカ展 1994 / 03 混沌から秩序へ	2007	6月287回 NB@ggg ネヴィル・ブロディ 2010	2014
6月205回 空山基展	1月248回 Exhibitions Graphic Messages from	7月288回 2010 ADC展	1月329回 勝井三雄展 兆しのデザイン
7月206回 2003 ADC展	ggg & ddd 1986-2006 [Part I]	8月289回 ラルフ・シュライフォーゲル展	2月330回「指を置く」展 佐藤雅彦+齋藤達也
8月207回 新島実展 色彩とフォントの相互作用	2月 Exhibitions Graphic Messages from	9月290回 ブッシュピン・パラダイム	3月331回 明日のデザインと福島治
9月208回 Graphic Wave 2003	ggg & ddd 1986-2006 [Part II]	シーモア・クワスト ポール・デイヴィス	[Social Design & Poster]
佐野研二郎/野田凪/服部一成	3月249回 キムラカツ展 問いボックス店	ミルトン・グレイザー ジェームズ・マクミラン	4月332回 TDC展 2014
10月209回 副田高行「広告の告白」展	4月250回 2007 TDC展	10月291回 海と山と新村則人	5月333回 phono / graph sound, letters, graphics
11月210回 ステファン・サグマイスター展	5月251回 ヘルムート・シュミット	11月292回 服部一成二千十年十一月	6月334回 永井裕明展 Graphic Jam Zukō
12月211回 河野鷹思展	デザイン イズ アティテュード	12月293回 EUPHRATES ユーフラテス展	7月335回 2014 ADC展
昭和を駆け抜けたモダニスト1906-99	6月252回 廣村正彰 2D⇔3D	~研究から表現へ~	8月336回 びのこづさいぼー:
	7月253回 2007 ADC展		ひびのこづえ+[にほんごであそぼ]のしごと
2004	8月254回 ワルシャワの風 1966-2006	2011	9月337回 So French ミシェル・ブーヴェ・ポスターズ
1月212回 永井一正ポスター展	ワルシャワ国際ポスター・ビエンナーレ金賞受賞作品展	1月294回 秀英体100	10月338回 セミトランスペアレント・デザイン 退屈
2月213回 伊藤桂司・谷口広樹・ヒロ杉山展	9月255回 佐野研二郎 ギンザ・サローネ	2月295回 イアン・アンダーソン/	11月339回 Persona 1965
3月214回 雑誌をデザインする集団キャップ展	10月256回 中島信也CM展	ザ・デザイナーズ・リパブリックが	グラフィックデザイン展〈ペルソナ〉50年記念
4月215回 2004 TDC展	中島信也と29人のアートディレクター	トーキョーに帰ってきた。	12月340回 荒井良二だもん
5月216回 佐藤卓展 Plasticity	11月257回 Welcome to Magazine Pool	3月296回 デザイン 立花文穂	
6月217回 現代デンマークポスターの10年	雑誌デザイン10人の越境者たち	4月297回 TDC展 2011	2015
デンマーク・デザイン・センターによるセレクション	12月258回 Aoba Show 青葉益輝ワン・マン・ショー	5月298回 佐藤晃一ポスター	1月341回 浅葉克己のタイポグラフィ展
7月218回 2004 ADC展		6月299回 レイモン・サヴィニャック展:	Asaba's Typography.
8月219回 バーンブルック・デザイン展	2008	41歳、「牛乳石鹸モンサヴォン」の	2月342回 Line in the sand ボール・デイヴィス
Friendly Fire	1月259回 アーットダ!戸田正寿ポスターアート展	ポスターで生まれた巨匠	3月343回 APPLE+ 三木健 学び方のデザイン
9月220回 Graphic Wave 2004	2月260回 グラフィックデザインの時代を築いた	7月300回 2011 ADC展	「りんご」と日常の仕事
工藤青石/ GRAPH /生意気	20人の証言 Interviews by 柏木博	8月301回 [ジー ジー ジー ジー] グルーヴィジョンズ展	4月344回 TDC展2015
10月221回 疾風迅雷 杉浦康平雑誌デザインの半世紀展	3月261回 Textasy	9月302回 工藤青石展 形と色と構造の感情	5月345回 2 Men Show
11月222回 佐藤可士和 Beyond	ブロディ・ノイエンシュヴァンダー展	10月303回 100 ggg Books 100 Graphic Designers	スタンリー・ウォン[黄炳培]×
12月223回 もう一人の山名文夫 1920-70年代	4月262回 2008 TDC展	11月304回 イデオポリス東京:	アナザーマウンテンマン[又一山人]
	5月263回 アラン・フレッチャー	スクール・オブ・ヴィジュアルアーツ	6月346回 ライゾマティクス グラフィックデザインの死角
2005	英国グラフィックデザインの父	美術学修士課程卒業制作展	7月347回 2015 ADC展
1月224回 七つの顔のアサバ展	6月264回 がんばれニッポン、を広告してきたんだ	12月305回 杉浦康平・マンダラ発光	8月348回 ラース・ミュラー 本 アナログリアリティー
2月225回 バラリンジ・デザイン展	そういえば、俺。応援団長佐々木●宏		9月349回 色部義昭 Wall
古代の文化と現代のデザイン	7月265回 2008 ADC展	2012	10月350回 21世紀琳派ポスターズ
3月226回 青木克憲XX展	8月266回 Now Updating··· THA /	1-2月306回 DNPグラフィックデザイン・アーカイブ収蔵品展IV	10人のグラフィックデザイナーによる競演
4月227回 2005 TDC展	中村勇吾のインタラクティブデザイン	没後10周年記念企画	11月351回 字字字 大日本タイポ組合
5月228回 和田誠のグラフィックデザイン	9月267回 平野敬子 デザインの起点と終点と起点	田中一光ポスター 1980-2002	12月 特別展 [千代田区立日比谷図書文化館にて開催]
6月229回 チャマイエフ&ガイスマー展	10月268回 白 原研哉展	3月307回 ロトチェンコ	DNPグラフィックデザイン・アーカイブ収蔵品展
40年間にわたるデザイン活動	11月269回 M/M [Paris] The Theatre Posters	一彗星のごとく、ロシア・アヴァンギャルドの寵児―	THE NIPPON POSTERS
7月230回 2005 ADC展	12月270回 OYKOT Wieden+Kennedy Tokyo:	4月308回 TDC展 2012	
8月231回 佐藤雅彦研究室展 課題とその解答	10 Years of Fusion	5月309回 キギ展 植原亮輔と渡邉良重	2016
9月232回 Graphic Wave 2005		6月310回 ジヤンピン・ヘ フラッシュバック	1-3月 特別展 [千代田区立日比谷図書文化館にて開催]
谷田一郎/東泉一郎/森本千絵	2009	7月311回 2012 ADC展	千代田区立日比谷図書文化館主催/
10月233回 CCCP研究所=ドクター・ペッシェ &	1月271回 きらめくデザイナーたちの競演	8月312回 The Posters 1983-2012	DNP文化振興財団共催

10月233回 CCCP研究所=ドクター・ペッシェ & 1月271回 きらめくデザイナーたちの競演

DNP グラフィックデザイン・アーカイブ収蔵品展

マドモアゼル・ローズ展

7月311回 2012 ADC展 8月312回 The Posters 1983-2012

世界ポスタートリエンナーレトヤマ受賞作品展

祖父江慎+コズフィッシュ展 ブックデザイ

DNP文化振興財団共催

4-5月352回 ggg30周年記念 明日に架ける橋

ggg 展覧会ポスター 1986-2016

3-4月394回 TDC 2023

2024

5-6月395回 横尾忠則 銀座番外地

7-8月396回 小杉幸一 グラフィックパーク

12-1月399回 Daijiro Ohara HAND BOOK

8-10月397回 ステファン・サグマイスター ナウ・イズ・ベター

11月398回 日本のアートディレクション展 2023

2-3月400回 ヨシロットン 拡張するグラフィック

6月353回 TDC 2016

7-9月354回 2016 ADC展

9-10月355回 ノザイナー かたちと理由

11-12月356回 榎本了壱コーカイ記

2017

1-3月357回 仲條正義 IN & OUT, あるいは飲&嘔吐

4月358回 TDC 2017

5-6月359回 ロマン・チェシレヴィチ 鏡像への狂気

7月360回 2017 ADC展

7月 特別展 追悼!「長友啓典」特別展

8-9月361回 Apeloiggg Tokyo フィリップ・アペロワ展

9-11月362回 組版造形 白井敬尚

11-1月363回 マリメッコ・スピリッツ — バーヴォ・ハロネン/

マイヤ・ロウエカリ/アイノ=マイヤ・メッツォラ

2018

1-3月364回 平野甲賀と晶文社展

4月365回 TDC 2018

5-6月366回 ウィム・クロウエル グリッドに魅せられて

7-8月367回 Harumi Yamaguchi×Yoshirotten

Harumi's Summer 9-10月368回 横尾忠則 幻花幻想幻画譚1974-1975

10-11月369回 日本のアートディレクション展 2018

12-1月370回 続々 三澤遥

2019

2-3月371回 ポーラ・シェア: Serious Play

4月372回 TDC 2019

5-6月373回 Beginnings 井上嗣也展

7-8月374回 田名網敬一の観光展

8-10月375回 Sculptural Type コントラブンクト 10-11月376回 日本のアートディレクション展 2019

11-1月377回 カール・ゲルストナー 動きの中の思索

2020

1-3月378回 河口洋一郎 生命のインテリジェンス

6-8月379回 TDC 2020

10-11月380回 いきることば つむぐいのち

永井一正の絵と言葉の世界

12-3月381回 石岡瑛子

グラフィックデザインはサバイブできるか

2021

4-5月382回 TDC 2021

6-7月383回 Sports Graphic スポーツ・グラフィック

7-8月 特別展 オリンピック・ランゲージ:

デザインでみるオリンピック

9-10月384回 葛西薫展 NOSTALGIA

11月385回 日本のアートディレクション展 2020-2021

12-3月386回 ソール・スタインバーグ

シニカルな現実世界の変換の試み

2022

4月387回 TDC 2022

5-6月388回 佐藤卓TSDO展 <in LIFE>

7-8月 389回 Yui Takada with ori.studio CHAOTIC ORDER

髙田唯 混沌とした秩序

9-10月390回 細谷巖 突き抜ける気配

Hosoya Gan - Beyond G

11月391回 日本のアートディレクション展 2022

12-1月 392回 宇野亞喜良 万華鏡

2023

2-3月393回 動物会議 緊急大集合!

4-5月 48回 グンター・ランボー展

7-8月 51回 現代ハンガリーのグラフィック4人展

5-6月 49回 第8回東京TDC展

6-7月 50回 カリ・ピッポ展

8-9月 52回 1996 ADC展

2001

1-2月 96回 二〇〇一年木田安彦展

2-3月 97回 コントラブンクト展

THE CROWNING TOUCH

3-4月 98回 ザルツブルク音楽祭ポスター展

1992		0.40	50E #EST->, #3, 1-3, 42- 4E	5 CH 00H 0004 TDOH	0.40 - 1.40
	A.C. Turne Art 'O.L.		53回 前田ジョン かみとコンピュータ展	5-6月 99回 2001 TDC展	9-10月143回 青木克憲XX展
	1回 Trans-Art '91展		54回 アラン・ル・ケルネ展	6-7月100回 チップ・キッド展	10-11月144回 ドイツAGIグラフィックデザイン展
3月	2回 アイヴァン・チャマイエフ展 コラージュ	11-12月	55回 ウッディ・パートル展	7-8月101回 ハングルポスター展	パーフェクトフォルム
4-5月	3回 第4回東京TDC展			8-9月102回 2001 ADC展	11-12月145回 和田誠のグラフィックデザイン
5-6月	4回 リック・バリセンティ展	1997		9-10月103回 ウォルフガング・ワインガルト展	
6-7月	5回 シーモア・クワスト展 メタル彫刻		56回 ジョアン・マシャド展	タイポグラフィへのわが道	2006
7-8月	6回 デザイン・プリント・ペーパー展	2-3月	57回 K2オオサカ展 黒田征太郎+長友啓典	10-11月104回 "Spring has come"	1-2月146回 スイスポスター 100年展
8-9月	7回 ヴァン・オリバー展	3-4月	58回 グラフィックデザイン・イン・チャイナ展	松永真、ディテールの競演。	2-3月147回 グラフィック・ソート・ファシリティ展
10月	8回 中村誠 個展	4-5月	59回 創立10周年記念 東京TDC展	11-12月105回 デザイン教育の現場からⅡ	GTF / 50プロジェクト
10-11月	9回 マイケル・メイヴリー展	5-6月	60回 メキシコ10人展	セント・ジュースト大学院の新手法	3-4月148回 野田凪展
11-12月	10回 灘本唯人、宇野亜喜良、和田誠、	7月	61回 カトー・デザイン 思考するデザイン展		Hanpanda コンテンポラリーアート
	山口はるみ展	8-9月	62回 1997 ADC展	2002	4-5月149回 ブルーノ・オルダー二展
		9-10月	63回 ラルフ・シュライフォーゲル展	1-2月106回 灘本唯人 にんげんもよう	5-6月150回 2006 TDC展
1993		10-11月	64回 ジェームズ・ビクトル展 貼紙禁止	2-3月107回 サイトウマコト展	6-7月151回 ブラック&ホワイトポスター展
1-2月	11回 フロシキ展	11-12月	65回 GLOBAL展 世界33人の	3-4月108回 オット+シュタイン展	8月152回 2006 ADC展
2-3月	12回 ホワイノット・アソシエイツ展		デザイナーによるデュオポスター	4-5月109回 タピロ展 ヴェニス・ビエンナーレのポスター	
3-4月	13回 アレン・ホリ+ロバート・ナカタ展			5-6月110回 2002 TDC展	2007
	解き放たれた声	1998		7月111回 ウィーンのポスター展	5-6月153回 Exhibitions Graphic Messages from
4-5月	14回 1992 ADC展	1-2月	66回 ファイトヘルベ/デ・ヴリンゲル展	ウィーン市立図書館アーカイブ1883-2002	ggg & ddd 1986-2006
	15回 ラッセル・W・フィッシャー展		未来を振り返る	7-9月112回 三木健展	7-8月154回 2007 TDC展
	16回 第5回東京TDC展	2-3月	67回 ジャン・ベノア・レヴィ展 その視覚的活動	9-10月113回 2002 ADC展	8-9月155回 ヘルムート・シュミット
	17回 文字からのイマジネーション		68回《トロイカ》ロシア 3人展	10-11月114回 サディク・カラムスターファ展	デザイン イズ アティテュード
	18回 デザイン・プリント・ペーパー展 Part I		69回 フィリップ・アペローグ展	旅と儀式	10-11月156回 2007 ADC展
	19回 ビル・ソーバーン展	4 0/3	フランス文化におけるポスター	11-12月115回 中国グラフィックデザイン展	11-12月157回 キムラカツ展 問いボックス店
	20回 U.G.サトーのポスター展 Treedom	68	70回 1998 TDC展	11-12月 113回 中国ノフノイッフナッイン展	11-12月137日 イムフガラ族 同いボック人店
	21回 勝井三雄展 光の国: 夜と昼の狭間に		70回 1996 TDC展 71回 スタジオ・ドゥンバー展	2003	2008
12-1月	22回 現代香港のデザイン8人展		72回 1998 ADC展	1-2月116回 SUN-AD人	1-2月158回 Welcome to Magazine Pool
1001			73回 ザフリキ展	2-3月117回 田中一光 ポスターとグラフィックアート展	雑誌デザイン10人の越境者たち
1994		10-11月	74回 現代イスラエルのビジュアルコミュニケーター	3-4月118回 ファブリカ展 1994 / 03 混沌から秩序へ	2-4月159回 佐野研二郎 ギンザ・サローネ・オーサカ
	23回 ソール・バス展		デビッド・タルタコーバ展	4-6月119回 墨と椅子について	4-6月160回 中島信也CM展
	24回 グリーティング・ポップアップ13人展	11-12月	75回 台湾四人展	カン・タイキュン+フリーマン・ラウ	中島信也と29人のアートディレクター
3-4月	25回 リュディ・バウア/			アート&デザイン展	6-7月161回 2008 TDC展
	インテグラルコンセプト展	1999		6-7月120回 2003 TDC展	8月162回 Now Updating··· THA /
4-5月	26回 Illustration4 安西水丸·河村要助·		76回 海外作家による Furoshiki Graphics 展	7-8月121回 ルーバ・ルコーバ展	中村勇吾のインタラクティブデザイン
	矢吹申彦·湯村輝彦	2-3月	77回 ピエール・ニューマン展	8-9月122回 2003 ADC展	9-10月163回 2008 ADC展
5-6月	27回 ジェニファ・モーラ展	3-4月	78回 ポーラ・シェア展	9-10月123回 ステファン・サグマイスター展	10-11月 164回 Aoba Show 青葉益輝ワン・マン・ショー
	27回 フェーファ し フ辰				
6-7月	28回 永井一正展	5-6月	79回 ハンブルクのグラフィックデザイン展	10-11月124回 ヨーロッパの文化ポスター展	11-12月165回 Graphic West 真 and / or 善
		5-6月	79回 ハンブルクのグラフィックデザイン展 オルガー・マチス+クリスティアーネ・フライリンガー	10-11月124回 ヨーロッパの文化ポスター展 ノイエ・ザムルング・ミュンヘンの	11-12月 165回 Graphic West 真 and / or 善 杉崎真之助と高橋善丸のグラフィックデザイン
7-8月	28回 永井一正展				
7-8月 8-9月	28回 永井一正展 29回 ウーヴェ・レシュ展	6-7月	オルガー・マチス+クリスティアーネ・フライリンガー	ノイエ・ザムルング・ミュンヘンの	
7-8月 8-9月 9-10月	28回 永井一正展 29回 ウーヴェ·レシュ展 30回 1994 ADC展	6-7月 7-8月	オルガー・マチス+クリスティアーネ・フライリンガー 80回 1999 TDC展	ノイエ・ザムルング・ミュンヘンの 所蔵作品より	杉崎真之助と高橋善丸のグラフィックデザイン
7-8月 8-9月 9-10月	28回 永井一正展 29回 ウーヴェ・レシュ展 30回 1994 ADC展 31回 デザイン・プリント・ベーバー展 Part III	6-7月 7-8月 8-9月	オルガー・マチス+クリスティアーネ・フライリンガー 80回 1999 TDC展 81回 ヤン・ライリッヒJr.展 時代のミルハウス	ノイエ・ザムルング・ミュンヘンの 所蔵作品より	杉崎真之助と高橋善丸のグラフィックデザイン 2009
7-8月 8-9月 9-10月	28回 永井一正展 29回 ウーヴェ・レシュ展 30回 1994 ADC展 31回 デザイン・プリント・ベーバー展 Part III 32回 アメリカのAD2人展	6-7月 7-8月 8-9月 9-10月	オルガー・マチス+クリスティアーネ・フライリンガー 80回 1999 TDC展 81回 ヤン・ライリッヒ Jr.展 時代のミルハウス 82回 1999 ADC展	ノイエ・ザムルング・ミュンヘンの 所蔵作品より 11-12月125回 空山基展	杉崎真之助と高橋曽丸のグラフィックデザイン 2009 1-2月166回 Helvetica forever: Story of a Typeface
7-8月 8-9月 9-10月 10-11月	28回 永井一正展 29回 ウーヴェ・レシュ展 30回 1994 ADC展 31回 デザイン・プリント・ベーバー展 Part II 32回 アメリカのAD2人展 デビッド・カーソン+ゲーリー・ケブキ	6-7月 7-8月 8-9月 9-10月	オルガー・マチス+クリスティアーネ・フライリンガー 80回 1999 TDC展 81回 ヤン・ライリッヒJr.展 時代のミルハウス 82回 1999 ADC展 83回 スコット・マケラ [WIDE OPEN] 展	ノイエ・ザムルング・ミュンヘンの 所蔵作品より 11-12月125回 空山基展 2004	ド崎真之助と高橋曽丸のグラフィックデザイン 2009 1-2月166回 Helvetica forever: Story of a Typeface ヘルベチカ展
7-8月 8-9月 9-10月 10-11月	28回 永井一正展 29回 ウーヴェ・レシュ展 30回 1994 ADC展 31回 デザイン・プリント・ペーパー展 PartⅢ 32回 アメリカのAD2人展 デビッド・カーソン+ゲーリー・ケブキ エディトリアルデザインの新潮流	6-7月 7-8月 8-9月 9-10月 10-11月	オルガー・マチス+クリスティアーネ・フライリンガー 80回 1999 TDC展 81回 ヤン・ライリッヒJr.展 時代のミルハウス 82回 1999 ADC展 83回 スコット・マケラ [WIDE OPEN] 展 84回 尊厳	ノイエ・ザムルング・ミュンヘンの 所蔵作品より 11-12月125回 空山基展 2004 1-2月126回 副田高行「広告の告白」展	ド鸠真之助と高橋曽丸のグラフィックデザイン 2009 1-2月166回 Helvetica forever: Story of a Typeface ヘルベチカ展 3-4月167回 きらめくデザイナーたちの競演
7-8月 8-9月 9-10月 10-11月	28回 永井一正展 29回 ウーヴェ・レシュ展 30回 1994 ADC展 31回 デザイン・プリント・ペーパー展 PartⅢ 32回 アメリカのAD2人展 デビッド・カーソン+ゲーリー・ケブキ エディトリアルデザインの新潮流	6-7月 7-8月 8-9月 9-10月 10-11月	オルガー・マチス+クリスティアーネ・フライリンガー 80回 1999 TDC展 81回 ヤン・ライリッヒJr.展 時代のミルハウス 82回 1999 ADC展 83回 スコット・マケラ [WIDE OPEN] 展 84回 尊厳 チャズ・マヴィヤネーデイヴィースの世界展	ノイエ・ザムルング・ミュンヘンの 所蔵作品より 11-12月125回 空山基展 2004 1-2月126回 副田高行「広告の告白」展 2-3月127回 永井一正ポスター展	ド鸠真之助と高橋普丸のグラフィックデザイン 2009 1-2月166回 Helvetica forever: Story of a Typeface ヘルペチカ展 3-4月167回 きらめくデザイナーたちの競演 DNPグラフィックデザイン・アーカイブ収載品展
7-8月 8-9月 9-10月 10-11月 12月	28回 永井一正展 29回 ウーヴェ・レシュ展 30回 1994 ADC展 31回 デザイン・プリント・ペーパー展 PartⅢ 32回 アメリカのAD2人展 デビッド・カーソン+ゲーリー・ケブキ エディトリアルデザインの新潮流	6-7月 7-8月 8-9月 9-10月 10-11月	オルガー・マチス+クリスティアーネ・フライリンガー 80回 1999 TDC展 81回 ヤン・ライリッヒJr.展 時代のミルハウス 82回 1999 ADC展 83回 スコット・マケラ [WIDE OPEN] 展 84回 尊厳 チャズ・マヴィヤネーデイヴィースの世界展 85回 マカオ 2人展	ノイエ・ザムルング・ミュンヘンの 所蔵作品より 11-12月125回 空山基展 2004 1-2月126回 副田高行「広告の告白」展 2-3月127回 永井一正ポスター展 3-4月128回 現代デンマークポスターの10年	ド鸠真之助と高橋善丸のグラフィックデザイン 2009 1-2月166回 Helvetica forever: Story of a Typeface ヘルペチカ展 3-4月167回 きらめくデザイナーたちの競演 DNPグラフィックデザイン・アーカイブ収蔵品展4-6月168回 DRAFT Branding & Art Directors
7-8月 8-9月 9-10月 10-11月 12月 1995 1-2月	28回 永井一正展 29回 ウーヴェ・レシュ展 30回 1994 ADC展 31回 デザイン・プリント・ベーバー展 Part II 32回 アメリカのAD2人展 デビッド・カーソン+ゲーリー・ケブキ エディトリアルデザインの新潮流 33回 亀倉雄策ポスター新作展	6-7月 7-8月 8-9月 9-10月 10-11月	オルガー・マチス+クリスティアーネ・フライリンガー 80回 1999 TDC展 81回 ヤン・ライリッヒJr.展 時代のミルハウス 82回 1999 ADC展 83回 スコット・マケラ [WIDE OPEN] 展 84回 尊厳 チャズ・マヴィヤネーデイヴィースの世界展 85回 マカオ 2人展 ウン・ヴァイメン/ピクトル・ヒューゴ・マレイロス	ノイエ・ザムルング・ミュンヘンの 所蔵作品より 11-12月125回 空山基展 2004 1-2月126回 副田高行「広告の告白」展 2-3月127回 永井一正ポスター展 3-4月128回 現代デンマークポスターの10年 デンマーク・デザイン・センターによるセレクション	ド崎真之助と高橋善丸のグラフィックデザイン 2009 1-2月166回 Helvetica forever: Story of a Typeface ヘルペチカ展 3-4月167回 きらめくデザイナーたちの競演 DNPグラフィックデザイン・アーカイブ収蔵品展 4-6月168回 DRAFT Branding & Art Directors 6-7月169回 2009 TDC展
7-8月 8-9月 9-10月 10-11月 12月 1995 1-2月 2-3月	28回 永井一正展 29回 ウーヴェ・レシュ展 30回 1994 ADC展 31回 デザイン・プリント・ベーパー展 Part III 32回 アメリカのAD2人展 デビッド・カーソン+ゲーリー・ケブキ エディトリアルデザインの新潮流 33回 亀倉雄策ポスター新作展	6-7月 7-8月 8-9月 9-10月 10-11月 11-12月	オルガー・マチス+クリスティアーネ・フライリンガー 80回 1999 TDC展 81回 ヤン・ライリッヒJr.展 時代のミルハウス 82回 1999 ADC展 83回 スコット・マケラ [WIDE OPEN] 展 84回 尊厳 チャズ・マヴィヤネーデイヴィースの世界展 85回 マカオ 2人展 ウン・ヴァイメン/ピクトル・ヒューゴ・マレイロス	ノイエ・ザムルング・ミュンヘンの 所蔵作品より 11-12月125回 空山基展 2004 1-2月126回 副田高行「広告の告白」展 2-3月127回 永井一正ポスター展 3-4月128回 現代デンマークポスターの10年 デンマーク・デザイン・センターによるセレクション 4-5月129回 雑誌をデザインする集団キャップ展	ド崎真之助と高橋善丸のグラフィックデザイン 2009 1-2月166回 Helvetica forever: Story of a Typeface ヘルペチカ展 3-4月167回 きらめくデザイナーたちの競演 DNPグラフィックデザイン・アーカイブ収配品展 4-6月168回 DRAFT Branding & Art Directors 6-7月169回 2009 TDC展 8-10月170回 2009 ADC展
7-8月 8-9月 9-10月 10-11月 12月 1995 1-2月 2-3月 3-4月	28回 永井一正展 29回 ウーヴェ・レシュ展 30回 1994 ADC展 31回 デザイン・ブリント・ベーパー展 Part III 32回 アメリカのAD2人展 デビッド・カーソン+ゲーリー・ケブキ エディトリアルデザインの新潮流 33回 亀倉雄策ポスター新作展 34回 ヘルマン・モンタルボ ポスター展 35回 ブルーノ・ムナーリ展	6-7月 7-8月 8-9月 9-10月 10-11月 11-12月 2000 1-2月	オルガー・マチス+クリスティアーネ・フライリンガー 80回 1999 TDC展 81回 ヤン・ライリッヒJr.展 時代のミルハウス 82回 1999 ADC展 83回 スコット・マケラ [WIDE OPEN] 展 84回 尊厳 チャズ・マヴィヤネーデイヴィースの世界展 85回 マカオ 2人展 ウン・ヴァイメン/ピクトル・ヒューゴ・マレイロス	ノイエ・ザムルング・ミュンヘンの 所蔵作品より 11-12月125回 空山基展 2004 1-2月126回 副田高行「広告の告白」展 2-3月127回 永井一正ポスター展 3-4月128回 現代デンマークポスターの10年 デンマーク・デザイン・センターによるセレクション 4-5月129回 雑誌をデザインする集団キャップ展 5-6月130回 2004 TDC展	ド崎真之助と高橋善丸のグラフィックデザイン 2009 1-2月166回 Helvetica forever: Story of a Typeface ヘルペチカ展 3-4月167回 きらめくデザイナーたちの競演 DNPグラフィックデザイン・アーカイブ収配品展 4-6月168回 DRAFT Branding & Art Directors 6-7月169回 2009 TDC展 8-10月170回 2009 ADC展 10-12月171回 矢萩喜從郎展
7-8月 8-9月 9-10月 10-11月 12月 1995 1-2月 2-3月 3-4月 4-5月	28回 永井一正展 29回 ウーヴェ・レシュ展 30回 1994 ADC展 31回 デザイン・プリント・ベーパー展 Part III 32回 アメリカのAD2人展 デビッド・カーソン+ゲーリー・ケブキ エディトリアルデザインの新潮流 33回 亀倉雄策ポスター新作展 34回 ヘルマン・モンタルボ ポスター展 35回 ブルーノ・ムナーリ展 36回 グラッパ・デザイン展	6-7月 7-8月 8-9月 9-10月 10-11月 11-12月 2000 1-2月 2-3月	オルガー・マチス+クリスティアーネ・フライリンガー 80回 1999 TDC展 81回 ヤン・ライリッヒJr.展 時代のミルハウス 82回 1999 ADC展 83回 スコット・マケラ [WIDE OPEN] 展 84回 尊厳 チャズ・マヴィヤネーデイヴィースの世界展 85回 マカオ 2人展 ウン・ヴァイメン/ピクトル・ヒューゴ・マレイロス	ノイエ・ザムルング・ミュンヘンの 所蔵作品より 11-12月125回 空山基展 2004 1-2月126回 副田高行「広告の告白」展 2-3月127回 永井一正ポスター展 3-4月128回 現代デンマークポスターの10年 デンマーク・デザイン・センターによるセレクション 4-5月129回 雑誌をデザインする集団キャップ展 5-6月130回 2004 TDC展 6-7月131回 ピエール・メンデル展	ド崎真之助と高橋善丸のグラフィックデザイン 2009 1-2月166回 Helvetica forever: Story of a Typeface ヘルペチカ展 3-4月167回 きらめくデザイナーたちの競演 DNPグラフィックデザイン・アーカイブ収配品展 4-6月168回 DRAFT Branding & Art Directors 6-7月169回 2009 TDC展 8-10月170回 2009 ADC展 10-12月171回 矢萩喜從郎展
7-8月 8-9月 9-10月 10-11月 12月 1995 1-2月 2-3月 3-4月 4-5月 5-6月	28回 永井一正展 29回 ウーヴェ・レシュ展 30回 1994 ADC展 31回 デザイン・ブリント・ベーバー展 Part III 32回 アメリカのAD2人展 デビッド・カーソン+ゲーリー・ケブキエディトリアルデザインの新潮流 33回 亀倉雄策ポスター新作展 34回 ヘルマン・モンタルボ ポスター展 35回 ブルーノ・ムナーリ展 36回 グラッパ・デザイン展 37回 第7回東京TDC展	6-7月 7-8月 8-9月 9-10月 10-11月 11-12月 2000 1-2月 2-3月 3-4月	オルガー・マチス+クリスティアーネ・フライリンガー 80回 1999 TDC展 81回 ヤン・ライリッヒJr.展 時代のミルハウス 82回 1999 ADC展 83回 スコット・マケラ [WIDE OPEN] 展 84回 尊厳 チャズ・マヴィヤネーデイヴィースの世界展 85回 マカオ 2人展 ウン・ヴァイメン/ピクトル・ヒューゴ・マレイロス	ノイエ・ザムルング・ミュンヘンの 所蔵作品より 11-12月125回 空山基展 2004 1-2月126回 副田高行「広告の告白」展 2-3月127回 永井一正ポスター展 3-4月128回 現代デンマークポスターの10年 デンマーク・デザイン・センターによるセレクション 4-5月129回 雑誌をデザインする集団キャップ展 5-6月130回 2004 TDC展 6-7月131回 ピエール・メンデル展 8-9月132回 2004 ADC展	ド崎真之助と高橋善丸のグラフィックデザイン 2009 1-2月166回 Helvetica forever: Story of a Typeface ヘルペチカ展 3-4月167回 きらめくデザイナーたちの競演 DNPグラフィックデザイン・アーカイブ収蔵品展 4-6月168回 DRAFT Branding & Art Directors 6-7月169回 2009 TDC展 8-10月170回 2009 ADC展 10-12月171回 矢萩喜從郎展 [Magnetic Vision 新作60/100点]
7-8月 8-9月 9-10月 10-11月 12月 1995 1-2月 2-3月 3-4月 4-5月 5-6月 6-7月	28回 永井一正展 29回 ウーヴェ・レシュ展 30回 1994 ADC展 31回 デザイン・プリント・ベーバー展 Part III 32回 アメリカのAD2人展 デビッド・カーソン+ゲーリー・ケブキ エディトリアルデザインの新潮流 33回 亀倉雄策ポスター新作展 34回 ヘルマン・モンタルボ ポスター展 35回 ブルーノ・ムナーリ展 36回 グラッパ・デザイン展 37回 第7回東京TDC展 38回 ミシェル・ブーヴェ展 ポスター、路傍の美	6-7月 7-8月 8-9月 9-10月 10-11月 11-12月 2000 1-2月 2-3月 3-4月 4-5月	オルガー・マチス+クリスティアーネ・フライリンガー 80回 1999 TDC展 81回 ヤン・ライリッヒJr.展 時代のミルハウス 82回 1999 ADC展 83回 スコット・マケラ [WIDE OPEN] 展 84回 尊厳 チャズ・マヴィヤネーデイヴィースの世界展 85回 マカオ 2人展 ウン・ヴァイメン/ピクトル・ヒューゴ・マレイロス 86回 Graphic Message for Ecology 87回 松井桂三展 88回 ボール・デイヴィスのポスター展	ノイエ・ザムルング・ミュンヘンの 所蔵作品より 11-12月125回 空山基展 2004 1-2月126回 副田高行「広告の告白」展 2-3月127回 永井一正ポスター展 3-4月128回 現代デンマークポスターの10年 デンマーク・デザイン・センターによるセレクション 4-5月129回 雑誌をデザインする集団キャップ展 5-6月130回 2004 TDC展 6-7月131回 ピエール・メンデル展 8-9月132回 2004 ADC展 9-10月133回 バーンブルック・デザイン展	ド崎真之助と高橋善丸のグラフィックデザイン 2009 1-2月166回 Helvetica forever: Story of a Typeface ヘルペチカ展 3-4月167回 きらめくデザイナーたちの競演 DNPグラフィックデザイン・アーカイブ収蔵品展 4-6月168回 DRAFT Branding & Art Directors 6-7月169回 2009 TDC展 8-10月170回 2009 ADC展 10-12月171回 矢萩喜從郎展 [Magnetic Vision 新作60/100点]
7-8月 8-9月 9-10月 10-11月 12月 1995 1-2月 2-3月 3-4月 4-5月 5-6月 6-7月 7-8月	28回 永井一正展 29回 ウーヴェ・レシュ展 30回 1994 ADC展 31回 デザイン・プリント・ペーパー展 Part III 32回 アメリカのAD2人展 デビッド・カーソン+ゲーリー・ケブキエディトリアルデザインの新潮流 33回 亀倉雄策ポスター新作展 34回 ヘルマン・モンタルボ ポスター展 35回 ブルーノ・ムナーリ展 36回 グラッパ・デザイン展 37回 第7回東京TDC展 38回 ミシェル・ブーヴェ展 ポスター、路傍の美 39回 田中一光展 人間と文字	6-7月 7-8月 8-9月 9-10月 10-11月 11-12月 2000 1-2月 2-3月 3-4月 4-5月 5-6月	オルガー・マチス+クリスティアーネ・フライリンガー 80回 1999 TDC 展 81回 ヤン・ライリッヒ Jr. 展 時代のミルバウス 82回 1999 ADC 展 83回 スコット・マケラ [WIDE OPEN] 展 84回 尊厳 チャズ・マヴィヤネーデイヴィースの世界展 85回 マカオ 2人展 ウン・ヴァイメン/ピクトル・ヒューゴ・マレイロス 86回 Graphic Message for Ecology 87回 松井柱三展 88回 ボール・デイヴィスのポスター展 89回 なにわの、こてこてグラフィック展	ノイエ・ザムルング・ミュンヘンの 所蔵作品より 11-12月125回 空山基展 2004 1-2月126回 副田高行「広告の告白」展 2-3月127回 永井一正ポスター展 3-4月128回 現代デンマークポスターの10年 デンマーク・デザイン・センターによるセレクション 4-5月129回 雑誌をデザインする集団キャップ展 5-6月130回 2004 TDC展 6-7月131回 ピエール・メンデル展 8-9月132回 2004 ADC展 9-10月133回 パーンブルック・デザイン展 Friendly Fire	ド崎真之助と高橋曽丸のグラフィックデザイン 2009 1-2月166回 Helvetica forever: Story of a Typeface ヘルベチカ展 3-4月167回 きらめくデザイナーたちの競演 DNPグラフィックデザイン・アーカイブ収蔵品展 4-6月168回 DRAFT Branding & Art Directors 6-7月169回 2009 TDC展 8-10月170回 2009 ADC展 10-12月171回 矢萩喜従郎展 [Magnetic Vision 新作60/100点] 2010 1-3月172回 Graphic West 2 感じる箱展
7-8月 8-9月 9-10月 10-11月 12月 1995 1-2月 2-3月 4-5月 5-6月 6-7月 7-8月 8-9月	28回 永井一正展 29回 ウーヴェ・レシュ展 30回 1994 ADC展 31回 デザイン・プリント・ペーパー展 Part III 32回 アメリカのAD2人展 デビッド・カーソン+ゲーリー・ケブキ エディトリアルデザインの新潮流 33回 亀倉雄策ポスター新作展 34回 ヘルマン・モンタルボ ポスター展 35回 ブルーノ・ムナーリ展 36回 グラッパ・デザイン展 37回 第7回東京TDC展 38回 ミシェル・ブーヴェ展 ポスター、路傍の美 39回 田中一光展 人間と文字 40回 テレロング展	6-7月 7-8月 8-9月 9-10月 10-11月 11-12月 2000 1-2月 2-3月 3-4月 4-5月 5-6月 6-7月	オルガー・マチス+クリスティアーネ・フライリンガー 80回 1999 TDC 展 81回 ヤン・ライリッヒJr.展 時代のミルハウス 82回 1999 ADC 展 83回 スコット・マケラ [WIDE OPEN] 展 84回 尊厳 チャズ・マヴィヤネーデイヴィースの世界展 85回 マカオ 2人展 ウン・ヴァイメン/ピクトル・ヒューゴ・マレイロス 86回 Graphic Message for Ecology 87回 松井柱三展 88回 ボール・デイヴィスのポスター展 89回 なにわの、こてこてグラフィック展 90回 2000 TDC 展	ノイエ・ザムルング・ミュンヘンの 所蔵作品より 11-12月125回 空山基展 2004 1-2月126回 副田高行「広告の告白」展 2-3月127回 永井一正ポスター展 3-4月128回 現代デンマークポスターの10年 デンマーク・デザイン・センターによるセレクション 4-5月129回 雑誌をデザインする集団キャップ展 5-6月130回 2004 TDC展 6-7月131回 ピエール・メンデル展 8-9月132回 2004 ADC展 9-10月133回 パーンブルック・デザイン展 Friendly Fire 10-11月134回 チェコのポスター展	ド崎真之助と高橋曽丸のグラフィックデザイン 2009 1-2月166回 Helvetica forever: Story of a Typeface ヘルペチカ展 3-4月167回 きらめくデザイナーたちの競演 DNPグラフィックデザイン・アーカイブ収蔵品展 4-6月168回 DRAFT Branding & Art Directors 6-7月169回 2009 TDC展 8-10月170回 2009 ADC展 10-12月171回 矢萩喜從郎展 [Magnetic Vision 新作60/100点] 2010 1-3月172回 Graphic West 2 感じる箱展 grafの考えるグラフィックデザインの実験と検証
7-8月 8-9月 9-10月 10-11月 12月 1995 1-2月 2-3月 3-4月 4-5月 5-6月 6-7月 7-8月 8-9月 9-10月	28回 永井一正展 29回 ウーヴェ・レシュ展 30回 1994 ADC展 31回 デザイン・プリント・ペーパー展 Part III 32回 アメリカのAD2人展 デビッド・カーソン+ゲーリー・ケブキ エディトリアルデザインの新潮流 33回 亀倉雄策ポスター新作展 34回 ヘルマン・モンタルボ ポスター展 35回 ブルーノ・ムナーリ展 36回 グラッパ・デザイン展 37回 第7回東京TDC展 38回 ミシェル・ブーヴェ展 ポスター、路傍の美 39回 田中一光展 人間と文字 40回 テレロング展 41回 1995 ADC展	6-7月 7-8月 8-9月 9-10月 10-11月 11-12月 2000 1-2月 2-3月 3-4月 4-5月 5-6月 6-7月	オルガー・マチス+クリスティアーネ・フライリンガー 80回 1999 TDC展 81回 ヤン・ライリッヒJr.展 時代のミルハウス 82回 1999 ADC展 83回 スコット・マケラ [WIDE OPEN] 展 84回 尊厳 チャズ・マヴィヤネーデイヴィースの世界展 85回 マカオ 2人展 ウン・ヴァイメン/ピクトル・ヒューゴ・マレイロス 86回 Graphic Message for Ecology 87回 松井桂三展 88回 ボール・デイヴィスのポスター展 89回 なにわの、こてこてグラフィック展 90回 2000 TDC展 91回 アントン・ベイク展 ボディ・アンド・ソウル	ノイエ・ザムルング・ミュンヘンの 所蔵作品より 11-12月125回 空山基展 2004 1-2月126回 副田高行「広告の告白」展 2-3月127回 永井一正ポスター展 3-4月128回 現代デンマークポスターの10年 デンマーク・デザインする集団キャップ展 5-6月130回 2004 TDC展 6-7月131回 ビエール・メンデル展 8-9月132回 2004 ADC展 9-10月133回 パーンブルック・デザイン展 Friendly Fire 10-11月134回 チェコのポスター展 プラハ美術工芸博物館	ド崎真之助と高橋曽丸のグラフィックデザイン 2009 1-2月166回 Helvetica forever: Story of a Typeface ヘルベチカ展 3-4月167回 きらめくデザイナーたちの競演 DNPグラフィックデザイン・アーカイブ収蔵品展 4-6月168回 DRAFT Branding & Art Directors 6-7月169回 2009 TDC展 8-10月170回 2009 ADC展 10-12月171回 矢萩喜從郎展 [Magnetic Vision 新作60/100点] 2010 1-3月172回 Graphic West 2 感じる箱展 grafの考えるグラフィックデザインの実験と検証 3-5月173回 北川一成
7-8月 8-9月 9-10月 10-11月 12月 1995 1-2月 2-3月 3-4月 4-5月 5-6月 6-7月 7-8月 8-9月 9-10月 10-11月	28回 永井一正展 29回 ウーヴェ・レシュ展 30回 1994 ADC展 31回 デザイン・プリント・ペーパー展 Part III 32回 アメリカのAD2人展 デビッド・カーソン+ゲーリー・ケブキ エディトリアルデザインの新潮流 33回 竜倉雄策ポスター新作展 34回 ヘルマン・モンタルボ ポスター展 35回 ブルーノ・ムナーリ展 36回 グラッパ・デザイン展 37回 第7回東京TDC展 38回 ミシェル・ブーヴェ展 ポスター、路傍の美 39回 田中一光展 人間と文字 40回 テレロング展 41回 1995 ADC展 42回 デザイン・ブリント・ペーパー展 IV	6-7月 7-8月 8-9月 9-10月 10-11月 11-12月 2000 1-23月 2-3月 3-4月 4-5月 5-6月 6-7月 7-9月	オルガー・マチス+クリスティアーネ・フライリンガー 80回 1999 TDC展 81回 ヤン・ライリッヒJr.展 時代のミルハウス 82回 1999 ADC展 83回 スコット・マケラ [WIDE OPEN] 展 84回 尊厳 チャズ・マヴィヤネーデイヴィースの世界展 85回 マカオ 2人展 ウン・ヴァイメン/ピクトル・ヒューゴ・マレイロス 86回 Graphic Message for Ecology 87回 松井桂三展 88回 ボール・デイヴィスのポスター展 89回 なにわの、こてこてグラフィック展 90回 2000 TDC展 91回 アントン・ベイク展 ボティ・アンド・ソウル 92回 ピエール・ベルナール展	フイエ・ザムルング・ミュンヘンの 所蔵作品より 11-12月125回 空山基展 2004 1-2月126回 副田高行「広告の告白」展 2-3月127回 永井一正ポスター展 3-4月128回 現代デンマークポスターの10年 デマーク・デザイン・センターによるセレクション 4-5月129回 雑誌をデザインする集団キャップ展 5-6月130回 2004 TDC展 6-7月131回 ピエール・メンデル展 8-9月132回 2004 ADC展 9-10月133回 パーンブルック・デザイン展 Friendly Fire 10-11月134回 チェコのポスター展 プラハ美術工芸博物館 コレクション1960-2003	ド崎真之助と高橋曽丸のグラフィックデザイン 2009 1-2月166回 Helvetica forever: Story of a Typeface ヘルベチカ展 3-4月167回 きらめくデザイナーたちの競演
7-8月 8-9月 9-10月 10-11月 12月 1995 1-2月 2-3月 3-4月 4-5月 5-6月 6-7月 7-8月 8-9月 9-10月 10-11月	28回 永井一正展 29回 ウーヴェ・レシュ展 30回 1994 ADC展 31回 デザイン・プリント・ベーバー展 Part III 32回 アメリカのAD2人展 デビッド・カーソン+ゲーリー・ケブキ エディトリアルデザインの新潮流 33回 亀倉雄策ポスター新作展 34回 ヘルマン・モンタルボ ポスター展 35回 ブルーノ・ムナーリ展 36回 グラッパ・デザイン展 37回 第7回東京TDC展 38回 ミシェル・ブーヴェ展 ポスター、路傍の美 39回 田中一光展 人間と文字 40回 テレロング展 41回 1995 ADC展 42回 デザイン・ブリント・ベーバー展 IV 43回 ベレ・トレント展	6-7月 7-8月 8-9月 9-10月 10-11月 11-12月 2000 1-2-3月 2-3月 3-4月 4-5月 5-6月 6-7月 7-9月	オルガー・マチス+クリスティアーネ・フライリンガー 80回 1999 TDC展 81回 ヤン・ライリッヒJr.展 時代のミルハウス 82回 1999 ADC展 83回 スコット・マケラ [WIDE OPEN] 展 84回 尊厳 チャズ・マヴィヤネーデイヴィースの世界展 85回 マカオ 2人展 ウン・ヴァイメン/ビクトル・ヒューゴ・マレイロス 86回 Graphic Message for Ecology 87回 松井桂三展 88回 ボール・ディヴィスのポスター展 89回 なにわの、こてこてグラフィック展 90回 2000 TDC展 91回 アントン・ベイク展 ボディ・アンド・ソウル 92回 ピエール・ベルナール展 現実的であれ、不可能を試みよ!	フイエ・ザムルング・ミュンヘンの 所蔵作品より 11-12月125回 空山基展 2004 1-2月126回 副田高行「広告の告白」展 2-3月127回 永井一正ポスター展 3-4月128回 現代デンマークポスターの10年 デンマーク・デザイン・センターによるセレクション 4-5月129回 雑誌をデザインする集団キャップ展 5-6月130回 2004 TDC展 6-7月131回 ピエール・メンデル展 8-9月132回 2004 ADC展 9-10月133回 バーンブルック・デザイン展 Friendly Fire 10-11月134回 チェコのポスター展 プラハ美術工芸博物館 コレクション1960-2003 11-12月135回 バラリンジ・デザイン展	ド崎真之助と高橋曽丸のグラフィックデザイン 2009 1-2月166回 Helvetica forever: Story of a Typeface ヘルベチカ展 3-4月167回 きらめくデザイナーたちの競演 DNPグラフィックデザイン・アーカイブ収配品限 4-6月168回 DRAFT Branding & Art Directors 6-7月169回 2009 TDC展 8-10月170回 2009 ADC展 10-12月171回 矢萩喜從郎展 [Magnetic Vision 新作60/100点] 2010 1-3月172回 Graphic West 2 感じる箱展 grafの考えるグラフィックデザインの実験と検証 3-5月173回 北川一成 5-7月174回 TDC展 2010 7-9月175回 DNPグラフィックデザイン・アーカイブ収蔵品展画
7-8月 8-9月 9-10月 10-11月 12月 1995 1-2月 2-3月 3-4月 4-5月 5-6月 6-7月 7-8月 8-9月 9-10月 10-11月	28回 永井一正展 29回 ウーヴェ・レシュ展 30回 1994 ADC展 31回 デザイン・プリント・ベーバー展 Part III 32回 アメリカのAD2人展 デビッド・カーソン+ゲーリー・ケブキ エディトリアルデザインの新潮流 33回 亀倉雄策ポスター新作展 34回 ヘルマン・モンタルボ ポスター展 35回 ブルーノ・ムナーリ展 36回 グラッパ・デザイン展 37回 第7回東京TDC展 38回 ミシェル・ブーヴェ展 ポスター、路傍の美 39回 田中一光展 人間と文字 40回 テレロング展 41回 1995 ADC展 42回 デザイン・ブリント・ベーバー展 IV 43回 ベレ・トレント展	6-7月 7-8月 8-9月 9-10月 10-11月 11-12月 2000 1-2-3月 2-3月 4-5月 5-6月 6-7月 7-9月 9-10月 10-11月	オルガー・マチス+クリスティアーネ・フライリンガー 80回 1999 TDC展 81回 ヤン・ライリッヒJr.展 時代のミルハウス 82回 1999 ADC展 83回 スコット・マケラ [WIDE OPEN] 展 84回 尊厳 チャズ・マヴィヤネーデイヴィースの世界展 85回 マカオ 2人展 ウン・ヴァイメン/ピクトル・ヒューゴ・マレイロス 86回 Graphic Message for Ecology 87回 松井桂三展 88回 ボール・ディヴィスのポスター展 89回 なにわの、こてこてグラフィック展 90回 2000 TDC展 91回 アントン・ベイク展 ボティ・アンド・ソウル 92回 ピエール・ベルナール展 現実的であれ、不可能を試みよ! 93回 2000 ADC展	フイエ・ザムルング・ミュンヘンの 所蔵作品より 11-12月125回 空山基展 2004 1-2月126回 副田高行「広告の告白」展 2-3月127回 永井一正ポスター展 3-4月128回 現代デンマークポスターの10年 デンマーク・デザイン・センターによるセレクション 4-5月129回 雑誌をデザインする集団キャップ展 5-6月130回 2004 TDC展 6-7月131回 ピエール・メンデル展 8-9月132回 2004 ADC展 9-10月133回 バーンブルック・デザイン展 Friendly Fire 10-11月134回 チェコのポスター展 プラハ美術工芸博物館 コレクション1960-2003 11-12月135回 バラリンジ・デザイン展 古代の文化と現代のデザイン	ド崎真之助と高橋曽丸のグラフィックデザイン 2009 1-2月166回 Helvetica forever: Story of a Typeface ヘルペチカ展 3-4月167回 きらめくデザイナーたちの競演 DNPグラフィックデザイン・アーカイブ収覧品限 4-6月168回 DRAFT Branding & Art Directors 6-7月169回 2009 TDC展 8-10月170回 2009 ADC展 10-12月171回 矢萩喜從郎展 [Magnetic Vision 新作60/100点] 2010 1-3月172回 Graphic West 2 感じる箱展 grafの考えるグラフィックデザインの実験と検証 3-5月173回 北川一成 5-7月174回 TDC展 2010 7-9月175回 DNPグラフィックデザイン・アーカイブ収蔵品展回 福田繁雄のヴィジュアル・ジャンピング 9-10月176回 2010 ADC展
7-8月 8-9月 9-10月 10-11月 12月 1995 1-2月 2-3月 3-4月 4-5月 5-6月 7-8月 8-9月 9-10月 10-11月 11-12月	28回 永井一正展 29回 ウーヴェ・レシュ展 30回 1994 ADC展 31回 デザイン・プリント・ペーパー展 Part III 32回 アメリカのAD2人展 デビッド・カーソン+ゲーリー・ケブキ エディトリアルデザインの新潮流 33回 亀倉雄策ポスター新作展 34回 ヘルマン・モンタルボ ポスター展 35回 ブルーノ・ムナーリ展 36回 グラッパ・デザイン展 37回 第7回東京TDC展 38回 ミシェル・ブーヴェ展 ポスター、路傍の美 39回 田中一光展 人間と文字 40回 テレロング展 41回 1995 ADC展 42回 デザイン・ブリント・ペーパー展 IV 43回 ペレ・トレント展 44回 アジアのデザイナー 6人展	6-7月 7-8月 8-9月 9-10月 10-11月 11-12月 2000 1-2-3月 2-3月 4-5月 5-6月 6-7月 7-9月 9-10月 10-11月	オルガー・マチス+クリスティアーネ・フライリンガー 80回 1999 TDC展 81回 ヤン・ライリッヒJr.展 時代のミルパウス 82回 1999 ADC展 83回 スコット・マケラ [WIDE OPEN] 展 84回 尊厳 チャズ・マヴィヤネーデイヴィースの世界展 85回 マカオ 2人展 ウン・ヴァイメン/ピクトル・ヒューゴ・マレイロス 86回 Graphic Message for Ecology 87回 松井桂三展 88回 ボール・デイヴィスのポスター展 89回 なにわの、こてこてグラフィック展 90回 2000 TDC展 91回 アントン・ベイク展 ボディ・アンド・ソウル 92回 ピエール・ベルナール展 現実的であれ、不可能を試みよ! 93回 2000 ADC展 94回 イタロ・ルビ展 Not Just Graphics 95回 デザイン教育の現場から	フイエ・ザムルング・ミュンヘンの 所蔵作品より 11-12月125回 空山基展 2004 1-2月126回 副田高行「広告の告白」展 2-3月127回 永井一正ポスター展 3-4月128回 現代デンマークポスターの10年 デンマーク・デザイン・センターによるセレクション 4-5月129回 雑誌をデザインする集団キャップ展 5-6月130回 2004 TDC展 6-7月131回 ピエール・メンデル展 8-9月132回 2004 ADC展 9-10月133回 バーンブルック・デザイン展 Friendly Fire 10-11月134回 チェコのポスター展 プラハ美術工芸博物館 コレクション1960-2003 11-12月135回 バラリンジ・デザイン展	ド崎真之助と高橋曽丸のグラフィックデザイン 2009
7-8月 8-9月 9-10月 10-11月 12月 1995 1-2月 2-3月 3-4月 4-5月 5-6月 6-7月 7-8月 8-9月 9-10月 10-11月 11-12月 1996	28回 永井一正展 29回 ウーヴェ・レシュ展 30回 1994 ADC展 31回 デザイン・プリント・ペーパー展 Part III 32回 アメリカのAD2人展 デビッド・カーソン+ゲーリー・ケブキ エディトリアルデザインの新潮流 33回 亀倉雄策ポスター新作展 34回 ヘルマン・モンタルボ ポスター展 35回 ブルーノ・ムナーリ展 36回 グラッパ・デザイン展 37回 第7回東京TDC展 38回 ヨシェル・ブーヴェ展 ポスター、路傍の美 39回 田中一光展 人間と文字 40回 テレロング展 41回 1995 ADC展 42回 デザイン・ブリント・ペーパー展 IV 43回 ペレ・トレント展 44回 アジアのデザイナー 6人展	6-7月 7-8月 8-9月 9-10月 10-11月 11-12月 2000 1-2-3月 2-3月 4-5月 5-6月 6-7月 7-9月 9-10月 10-11月	オルガー・マチス+クリスティアーネ・フライリンガー 80回 1999 TDC展 81回 ヤン・ライリッヒJr.展 時代のミルパウス 82回 1999 ADC展 83回 スコット・マケラ [WIDE OPEN] 展 84回 尊厳 チャズ・マヴィヤネーデイヴィースの世界展 85回 マカオ 2人展 ウン・ヴァイメン/ビクトル・ヒューゴ・マレイロス 86回 Graphic Message for Ecology 87回 松井桂三展 88回 ボール・ディヴィスのポスター展 89回 なにわの、こてこてグラフィック展 90回 2000 TDC展 91回 アントン・ベイク展 ボディ・アンド・ソウル 92回 ピエール・ベルナール展 現実的であれ、不可能を試みよ! 93回 2000 ADC展 94回 イタロ・ルビ展 Not Just Graphics 95回 デザイン教育の現場から ベルリン芸術大学	フイエ・ザムルング・ミュンヘンの 所蔵作品より 11-12月125回 空山基展 2004 1-2月126回 副田高行「広告の告白」展 2-3月127回 永井一正ポスター展 3-4月128回 現代デンマークポスターの10年 デンマーク・デザイン・センターによるセレクション 4-5月129回 雑誌をデザインする集団キャップ展 5-6月130回 2004 TDC展 6-7月131回 ピエール・メンテル展 8-9月132回 2004 ADC展 9-10月133回 バーンブルック・デザイン展 Friendly Fire 10-11月134回 チェコのポスター展 プラハ美術工芸博物館 コレクション1960-2003 11-12月135回 バラリンジ・デザイン展 古代の文化と現代のデザイン 2005 1-2月136回 疾風迅雷 杉浦康平雑誌デザインの半世紀展	ド崎真之助と高橋曽丸のグラフィックデザイン 2009 1-2月166回 Helvetica forever: Story of a Typeface ヘルペチカ展 3-4月167回 きらめくデザイナーたちの競演 DNPグラフィックデザイン・アーカイブ収覧品限 4-6月168回 DRAFT Branding & Art Directors 6-7月169回 2009 TDC展 8-10月170回 2009 ADC展 10-12月171回 矢萩喜從郎展 [Magnetic Vision 新作60/100点] 2010 1-3月172回 Graphic West 2 感じる箱展 grafの考えるグラフィックデザインの実験と検証 3-5月173回 北川一成 5-7月174回 TDC展 2010 7-9月175回 DNPグラフィックデザイン・アーカイブ収蔵品展回 福田繁雄のヴィジュアル・ジャンピング 9-10月176回 2010 ADC展
7-8月 8-9月 9-10月 10-11月 12月 1995 1-2月 2-3月 3-4月 4-5月 5-6月 6-7月 7-8月 8-9月 9-10月 10-11月 11-12月 1996 1-2月 2-3月	28回 永井一正展 29回 ウーヴェ・レシュ展 30回 1994 ADC展 31回 デザイン・プリント・ペーパー展 Part III 32回 アメリカのAD2人展 デビッド・カーソン+ゲーリー・ケブキ エディトリアルデザインの新潮流 33回 亀倉雄策ポスター新作展 34回 ヘルマン・モンタルボ ポスター展 35回 ブルーノ・ムナーリ展 36回 グラッパ・デザイン展 37回 第7回東京TDC展 38回 ミシェル・ブーヴェ展 ポスター、路傍の美 39回 田中一光展 人間と文字 40回 テレロング展 41回 1995 ADC展 42回 デザイン・ブリント・ペーパー展 IV 43回 ペレ・トレント展 44回 アジアのデザイナー 6人展	6-7月 7-8月 8-9月 9-10月 10-11月 11-12月 2000 1-2-3月 2-3月 4-5月 5-6月 6-7月 7-9月 9-10月 10-11月	オルガー・マチス+クリスティアーネ・フライリンガー 80回 1999 TDC展 81回 ヤン・ライリッヒJr.展 時代のミルパウス 82回 1999 ADC展 83回 スコット・マケラ [WIDE OPEN] 展 84回 尊厳 チャズ・マヴィヤネーデイヴィースの世界展 85回 マカオ 2人展 ウン・ヴァイメン/ピクトル・ヒューゴ・マレイロス 86回 Graphic Message for Ecology 87回 松井桂三展 88回 ボール・デイヴィスのポスター展 89回 なにわの、こてこてグラフィック展 90回 2000 TDC展 91回 アントン・ベイク展 ボディ・アンド・ソウル 92回 ピエール・ベルナール展 現実的であれ、不可能を試みよ! 93回 2000 ADC展 94回 イタロ・ルビ展 Not Just Graphics 95回 デザイン教育の現場から	フイエ・ザムルング・ミュンヘンの 所蔵作品より 11-12月125回 空山基展 2004 1-2月126回 副田高行「広告の告白」展 2-3月127回 永井一正ポスター展 3-4月128回 現代デンマークポスターの10年 デンマーク・デザイン センターによるセレクション 4-5月129回 雑誌をデザインする集団キャップ展 5-6月130回 2004 TDC展 6-7月131回 ピエール・メンデル展 8-9月132回 2004 ADC展 9-10月133回 バーンブルック・デザイン展 Friendly Fire 10-11月134回 チェコのポスター展 プラハ美術工芸博物館 コレクション1960-2003 11-12月135回 バラリンジ・デザイン展 古代の文化と現代のデザイン	ド崎真之助と高橋曽丸のグラフィックデザイン 2009

一音・文字・グラフィックー

5-7月180回 TDC展 2011

7-9月181回 服部一成二千十一年夏大阪

4-5月139回 メーフィス&ファン・デュールセン展 1-3月178回 Graphic West 3 phono/graph

7月141回 CCCP研究所=ドクター・ペッシェ & 3-5月179回 秀英体100

マドモアゼル・ローズ展

5-6月140回 2005 TDC展

8-9月142回 2005 ADC展

9-10月182回 2011 ADC展

11-12月183回 100 ggg Books 100 Graphic Designers

1-3月184回 Graphic West 4 「奥村昭夫と仕事」展 3-5月 185回 DNP グラフィックデザイン・アーカイブ収蔵品展IV 没後10周年記念企画

田中一光ポスター 1980-2002

5-7月186回 TDC展 2012 7-9月187回 立花文穂展

9-10月188回 2012 ADC展

11-12月189回 The Posters 1983-2012

世界ポスタートリエンナーレトヤマ受賞作品展

1-3月190回 Graphic West 5

type trip to Osaka typographics ti: 270

3-4月 191回 [デー デー デー ジー]グルーヴィジョンズ展

5-6月192回 TDC展 2013

7-8月 193回 DNPグラフィックデザイン・アーカイブ収蔵品展V

LIFE 永井一正ポスター展 9-10月194回 2013 ADC展

11-12月195回 大宮エリー展

2014

2013

1-3月196回 Graphic West 6

大阪新美術館建設準備室デザインコレクション 熱情と冷静のアヴァンギャルド

3-4月197回「指を置く |展 佐藤雅彦+齋藤達也

5-6月198回 TDC展 2014

6-7月199回 明日のデザインと福島治

[Social Design & Poster]

10-12月 200回 DNP グラフィックデザイン・アーカイブ収蔵品展 VI THE NIPPON POSTERS

2015

1-3月201回 永井裕明展

Graphic Jam Zukō in Kyoto

4-5月202回 ラース・ミュラー 本 アナログリアリティー

6-7月203回 TDC展2015

8-10月204回 DNPグラフィックデザイン・アーカイブ収蔵品VI

20世紀琳派 田中一光

11-12月205回 ニッポンのニッポン ヘルムート シュミット

2016

1-3月206回 浅葉克己個展 「アサバの血肉化」

4-5月207回 21世紀琳派ポスターズ

10人のグラフィックデザイナーによる競演

5-7月208回 ライゾマティクス グラフィックデザインの死角

7-8月209回 TDC 2016

9-10月210回 物質性一非物質性 デザイン&イノベーション

11-12月 特別展 京都dddギャラリー・京都工芸繊維大学

アートマネージャー養成講座連携企画展 なにで行く どこへ行く 旅っていいね

12月 特別展 京都造形芸術大学プロジェクトセンター×

京都dddギャラリー連携企画展 experimental studies | post past

1-3月211回 グラフィックとミュージック

5-6月212回 仲條正義 IN & OUT, あるいは飲&嘔吐

7-8月213回 TDC 2017

9-10月214回 平野甲賀と晶文社展

11月 特別展 京都dddギャラリー・成安造形大学連携展

.communication

12-3月215回 ウィム・クロウエル グリッドに魅せられて

2018

4-6月216回 Graphic West 7: YELLOW PAGES

7-8月217回 TDC 2018

8-10月218回 田名網敬一の現在展

11-12月 特別展 京都dddギャラリー・京都市立芸術大学 ビジュアル・デザイン研究室共催展

グラフィックで科学を学ぼう 進化のものがたり展

2019

1-3月219回 組版造形 白井敬尚

3-6月220回 本の縁側 矢萩多聞と本づくり展

6-8月221回 ヘイセイ・グラフィックス

8-10月 222回 ドヴァランスーシステムを遊び場に

11-12月 223回 Graphic West 8:

三重野龍大全2011-2019「屁理屈」

1-3月224回 Design ZOO:いのち・ときめき・デザイン展

6-10月225回 コントラクンプト タイプ

10-12月226回 食のグラフィックデザイン

1-3月227回 Graphic West 9: Sulki & Min

4-7月228回 ヘルムート シュミット タイポグラフィ:

トライ トライ トライ

7-9月229回 小島武展 夢ひとつ

10-12月230回 石岡瑛子 デザインはサバイブできるか

2022

1-3月231回 鳥海修

「もじのうみ:水のような、空気のような活字!

7-9月232回 ddd DATABASE 1991-2022

10-11月233回 FormSWISS (フォーム・スイス)

11-1月 234回 GRAPHIC CUBE – フィルムポスター

DNP グラフィックデザイン・アーカイブより

1-3月235回 ppp groovisions

3-4月236回 エディション・ノルト

ファクトリー dddd:被包摂、絡合、派生物/ | 会場構成 | 秋山ブク | シチュエーションズ7番:

京都dddギャラリーの備品による

5-7月237回 葛西薫展 NOSTALGIA 8-10月238回 ソール・スタインバーグ

シニカルな現実世界の変換の試み 10-1月239回 はみだす。とびこえる。

絵本編集者 筒井大介の仕事

2024

1-3月240回 MIRROR/MIRROR:

カナダ・日本 現代版画ドキュメント



1995-2022

6-9月 26回 矢萩喜従郎:視触、視弾、そして眼差しの記憶

9-12月 27回 DNPグラフィックデザイン・アーカイブ展 Vol.3:

個性の時代

2010 1995 2003 2017 4-7月 1回 グラフィック・ビジョン: 3-4月 28回 絵画―永遠の現在を求めて: 3-6月 50回 DNPグラフィックデザイン・アーカイブ収蔵品展 II 2月 特別展 第28回田善顕彰版画展 ケネス・タイラーとアメリカ現代版画の30年 リチャード・ゴーマン展 田中一光ポスター 1953-1979 3-6月 71回 DNPグラフィックデザイン・アーカイブ収蔵品展VI 8-10月 2回 ロイ・リキテンスタイン: 4-6月 29回 色彩としての紙: 6-9月 51回 ロイ・リキテンスタイン展: 松永直ポスター展 タイラーグラフィックス・ エンタブラチュア→ヌード タイラーグラフィックス・ 6-9月 72回 加納光於一揺らめく色の穂先に 9-12月 73回 ジョセフ&アニ・アルバース、二つの抽象: 11-1月 3回 一瞬の刻印:ロバート・マザウェル展 アーカイブコレクション展 Vol.10 アーカイブコレクション展 Vol 22 6-9月 30回 ヘレン・フランケンサーラー木版画展 9-12月 52回 DNPグラフィックデザイン・アーカイブ収蔵品展Ⅲ タイラーグラフィックス・ 1996 9-12月 31回 タイラーグラフィックス・ 福田繁雄のヴィジュアル・ジャンピング アーカイブコレクション展Vol.30 3-4月 4回 アメリカ版画の現在地点: アーカイブコレクション 新収蔵作品展: タイラーグラフィックス・ タイラーグラフィックス・ 2011 2018 アーカイブコレクション展Vol.11 3月 53回 幾何学的抽象の世界: 2月 特別展 第29回田義顕彰版画展 アーカイブコレクション展 Vol 1 4-7月 5回 デイヴィッド・ホックニー展 タイラーグラフィックス・ 3-6月 74回 少数精鋭の色たち-DNPグラフィック 7-10月 6回 自律する色彩:ジョヤフ・アルバース展 アーカイブコレクション展 Vol.23 デザイン・アーカイブより 2004 10-1月 7回 スタイルを越えて: 3-6月 32回 イラストレーションの黄金時代 (東日本大震災のため中断) 6-9月 75回 北川健次:黒の装置一記憶のディスタンス タイラーグラフィックス・ 6-9月 33回 パスワード:日本とデンマークの 6-9月 54回 秀英体100 9-12月 76回 ヘレン・フランケンサーラー アーティストによる対話 9-12日 55回 幾何学的抽象の世界: 「Tクスペリメンタル・インプレッション]: アーカイブコレクション展 Vol 2 9-12月 34回 版で発信する作家たち2004福島 タイラーグラフィックス・ タイラーグラフィックス・ 1997 アーカイブコレクション展 Vol.23 アーカイブコレクション展 Vol.31 3-6月 8回 ジェームズ・ローゼンクイスト展 2005 6-9月 9回 版画における抽象: 3-6月 35回 アメリカ現代木版画の世界: 2012 2019 3-6月 77回 ヘイセイ・グラフィックス タイラーグラフィックス・ タイラーグラフィックス・ 3-6月 56回 日本ポルトガル交流 アーカイブコレクション展 Vol.3 アーカイブコレクション展 Vol.12 版で発信する作家たち: after 3.11 6-9月 78回 DNPグラフィックデザイン・アーカイブ収蔵品展VII 10-11月 10回 大竹伸朗: Printing / Painting展 6-9月 36回 Breathing Light: 吉田重信 6-9月 57回 DNPグラフィックデザイン・アーカイブ収蔵品展IV 献出1, 仲條正義 12-1月 11回 線/色彩/イメージ: 10-12月 37回 decade — CCGAと6人の作家たち 没後10周年記念企画 9-12月 79回 柔らかな版: タイラーグラフィックス・ 田中一光ポスター 1980-2002 タイラーグラフィックス・ アーカイブコレクション展 Vol 4 9-12月 58回 銅版の表現力: アーカイブコレクション展 Vol 32 2006 3-6月 38回 版に描く: タイラーグラフィックス・ 2020 1998 タイラーグラフィックス・ アーカイブコレクション展 Vol.24 3-6月 80回 食のグラフィックデザイン 3-5月 12回 フランク・ステラ/ケネス・タイラー: アーカイブコレクション展 Vol.13 7-9月 81回 共鳴する刻[しるし]-木口木版画の現在地 6-9月 39回 藤幡正樹:不完全さの克服 2013 9-12月 82回 ことばと版画: 構築する版画 イメージとメディアによって創り出される. 2月 特別展 第24回田善顕彰版画展 タイラーグラフィックス・ アーティストとプリンター、30年の軌跡 3-6月 59回 THE POSTERS 1983-2012 アーカイブコレクション展 Vol.33 5-9月 13回 主張する黒: 新たな現実感。 タイラーグラフィックス・ 9-12月 40回 野田哲也:日記 世界ポスタートリエンナーレトヤマ受賞作品展 アーカイブコレクション展 Vol.5 6-9月 60回 現代版画とリトグラフ: 2021 9-12月 14回 形象としての紙:アラン・シールズ展 2007 タイラーグラフィックス・ 3-6月 83回 つながりのデザイン: 3-6月 41回 凹版表現の魅力: アーカイブコレクション展Vol 25 DNPグラフィックデザイン・アーカイブコレクション 9-12月 61回 DNPグラフィックデザイン・アーカイブ収蔵品展V 6-9月 84回 どこか遠くへ:グラフィックにみる旅のかたち タイラーグラフィックス・ 3-5月 15回 福田美蘭展 New Works: Prints 9-12日 85回 線を引く: アーカイブコレクション展 Vol 14 LIFE 永井一正ポスター展 6-9月 16回 かたる かたち: 6-9月 42回 再生する版画: タイラーグラフィックス・ タイラーグラフィックス・ タイラーグラフィックス・ 2014 アーカイブコレクション展Vol.34 アーカイブコレクション展 Vol.6 アーカイブコレクション展 Vol.15 2月 特別展 第25回田善顕彰版画展 9-12月 17回 版画の話展 9-12月 43回 ユニーク・インプレッション: 3-6月 62回 プリント・イン・ブルー: 2022 タイラーグラフィックス・ タイラーグラフィックス・ 3-6月 86回 DNPグラフィックデザイン・アーカイブ収蔵品展IX アーカイブコレクション展 Vol.16 アーカイブコレクション展Vol.26 葛西薫POSTERS since 1973 3-6月 18回 New Works 1998-1999: 7-9月 63回 20世紀モダンデザインの誕生ー 6-9月 87回 ピュシス銀版画展-写すものと映されるもの タイラーグラフィックス・ 大阪新美術館建設準備室デザインコレクション 9-12月 88回 タイラーグラフィックス・ 2008 アーカイブコレクション展 Vol.7 3-6月 44回 厚い色: 9-12月 64回 レリーフ・プリントの世界: アーカイブコレクション名品展 6-9月 19回 大田三郎:存在と日常 タイラーグラフィックス・ タイラーグラフィックス・ 9-12月 20回 DNPグラフィックデザイン・アーカイブ設立展: アーカイブコレクション展Vol.27 アーカイブコレクション展 Vol.17 ポスターグラフィックス 1950-2000 6-9月 45回 大きな版画、小さな版画: タイラーグラフィックス・ 2001 アーカイブコレクション展 Vol.18 2月 特別展 第26回田善顕彰版画展 3-5月 21回 版画集への招待: 9-11月 46回 黒のモノローグ: 3-6月 65回 開館20周年記念 タイラーグラフィックス・ タイラーグラフィックス・ 21世紀のグラフィック・ビジョン アーカイブコレクション展 Vol.8 アーカイブコレクション展 Vol.19 6-9月 66回 DNPグラフィックデザイン・アーカイブ収蔵品展VI 5-7月 22回 折元立身:1972-2000 浅葉克己ポスターアーカイブ展 8-10月 23回 藤本由紀夫:四次元の読書 2009 9-12月 67回 ロバート・マザウェルのリトグラフ: 10-12月 24回 DNPグラフィックデザイン・アーカイブ展 Vol.2: 2-6月 47回 作品と題名: タイラーグラフィックス・ グラフィックデザインの時代 アーカイブコレクション展Vol.28 タイラーグラフィックス・ アーカイブコレクション展 Vol 20 2002 6-9月 48回 きらめくデザイナーたちの競演 2016 3-6月 25回 空間に躍りでた版画たち: DNPグラフィックデザイン・アーカイブ収蔵品展 2月 特別展 第27回田善顕彰版画展 3-6月 68回 グラフィックとミュージック タイラーグラフィックス・ 9-12月 49回 赤のちから: タイラーグラフィックス・ 6-9月 69回 中林忠良展:未知なる航海-腐食の海へ アーカイブコレクション展 Vol.9

アーカイブコレクション展 Vol.21

9-12月 70回 フランク・ステラくイマジナリー・プレイシズ>:

タイラーグラフィックス・

アーカイブコレクション展Vol.29

1986-2024	

1986			Oct.	44	Posters by 12 Artists	Oct.	90	1993 Illustration 4:	Jun.	133	Tadanori Yokoo's Poster Exhibition:
Mar.	1	Tadashi Ohashi:			for Europalia '89 Japan			Mizumaru Anzai / Yosuke Kawamura /			Lucky God Yokoo
		Vegetable Illustration	Nov.	45	The Current Works of Charles Anderson			Nobuhiko Yabuki / Teruhiko Yumura	Jul.	134	1997 Tokyo ADC Exhibition
Apr.	2	Shigeo Fukuda: Illustric 412	Dec.	46	Works of Etsushi Kiyohara: Hommage	Nov.	91	Saul Bass Exhibition	Aug.	135	Toshifumi Kawahara and
May	3	Yukimasa Okumura: Sunsun Saifu				Dec.	92	13 Pop-up Greeting			Polygon Pictures: Rocky Hola Shop
Jun.	4	Iku Akiyama: Picture Relief	1990						Sep.	136	10 Mexican Graphic Designers
Jul.	5	1986 Tokyo ADC Exhibition	Jan.	47	Shigeru Akizuki: Boxes for Fun	1994			Oct.	137	Graphic Wave 1997: Kan Akita /
Aug.	6	Art Works I The World is Art.	Feb.	48	Nobuyoshi Kikuchi:	Jan.	93	Kiyoshi Awazu: H2O Earthman			Satoe Inoue / Osamu Fukushima
Sep.	7	Koichi Sato: About Boxes 2			"Shelf" Bound Books	Feb.	94	The 6th Tokyo TDC Exhibition	Oct.		The 10th Anniversary of
Oct.	8	Kiyoshi Awazu:	Mar.	49	Tsunao Harada:	Mar.		Takahisa Kamijyo: Windscape Mindscape			Masaru Katsumi Award
		Self Revolution for Painting			"Horse" Wood-block Print	Apr.	96	Toshihiro Katayama Exhibition	Nov.	138	Shigeo Fukuda's Poster Exhibition:
Nov.	9	Herbert Bayer:	Apr.	50	Ikko Tanaka Exhibition:	May		Kazumasa Nagai Exhibition			Supporter
	40	Pioneer of Visual Communication			Graphic Art Botanical Garden	Jun.	98	Dutch Graphic Design A Century	Dec.	139	Global Exhibition: Duo Posters by
Dec.	10	K2 Live!: Don't Say "2" Without Knowing the "K"	May	51	Ryuichi Yamashiro: Illustration without Cats	Jul.	99	1994 Tokyo ADC Exhibition			33 Designers from around the World
		Don't Say 2 Without Knowing the K	Jun.	50	Keizo Matsui:	AugSep. Sep.	100	Graphic Goods: Gifts from Design Koga Hirano: The Power of Letters	1998		
1987			our.	52	Three Dimensional Graphics	Oct.	101	Kyushu Nine Designers Nine Personalities	Jan.	140	Hachiro Suzuki: 8ro Art & AD
Jan.	11	Iroha: CG Calligraphy of Shuhei Tsuji	Jul.	53	Takayuki Terakado Exhibition	Nov.	102	Yusaku Kamekura New Posters	Feb.	141	
ou.ii		and CA Workshop	Aug.		Art Works V Tokyo Specimen Boxes 1990	Dec.		Kenya Hara Exhibition	Mar.	142	
Feb.	12	Flower Expo + Expo Logo Exhibition	Sep.	55		Dec.		Toshiko Tsuchihashi, Sachiko Nakamura,	Apr.	143	
Mar.		Masaki Fujihata: Geometric Love	Oct.	56	Katsumi Asaba's New Works:			Meg Hosoki: Favorites	May	144	Studio Dumbar Exhibition
Apr.	14	The Works of Shin Matsunaga:			Terrible Typography in Asia.				Jun.	145	Opera Lesson by Yoko Yamamoto
		The Mainichi Design Prize	Nov.	57	Macaroni: Katsuya Ise	1995			Jul.	146	1998 Tokyo ADC Exhibition
		Commemorative Exhibition	Dec.	58	Yasuhiro Yomogida: People	Jan.	104	Bruno Munari Exhibition	Aug.	147	Yoichiro Kawaguchi:
May	15	Mizumaru Anzai "2C"				Feb.	105	Book Design in Japan 1946-95			Voyage through a Cyber Universe
Jun.	16	Lou Dorfsman and	1991			Mar.	106	The 7th Tokyo TDC Exhibition	Sep.	148	Graphic Wave 1998: Tatsuo Ebina /
		The Creative Works of CBS	Jan.	59	Zenji Funabashi Exhibition	Apr.	107	Pieter Brattinga: Designs for People			Keiko Hirano / Ken Miki
Jul.	17	1987 Tokyo ADC Exhibition	Feb.	60	Tetsuya Ohta: Diagrams	May	108	Ikko Tanaka: Man and Writing	Oct.	149	Gunter Rambow in Tokyo
Aug.	18	Art Works II Rest in Peace	Mar.	61	Per Arnoldi:	Jun.	109	Niklaus Troxler Posters	Nov.	150	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
Sep.	19	0 0			Posters, Prints and Painting	Jul.	110	1995 Tokyo ADC Exhibition			Posters in the Context of French Culture
Oct.	20	' '	Apr.	62	Yasuhiro Sawada:	Aug.	111	Rhythm & Hues Computer Graphics:	Dec.	151	Herbert Leupin Exhibition
Nov.	21	Holger Matthies:			P2 [Painting × Printing]			A Postcard from Hollywood	4000		
	00	Unpredictable Reality	May	63	0 ,		112	Tamotsu Yagi: A View of Nature	1999	450	5 17:0 1: 1 40 5 :
Dec.	22	Milton Glaser: Conjurer of Image	Jun.	64	Communication & Print:	Sep.		20 Graphic Designers of the World:	Jan.	152	Furoshiki Graphics by 18 Designers from around the World
1988			Jul.	65	Newly Created Posters by 10 Artists Nobuo Nakagaki +	Oct	113	ggg 10th Anniversary and 20 ggg Books Transition of Modern Typography-1	Eeb	153	Transition of Modern Typography in
			Jui.	00		OCI.		** = * *	i eb.	100	
	23	Kateu Kimura				Nov	11/	Macatochi Toda: Far Far Land			Janan 10/6-05
Jan.	23	Katsu Kimura: Works from Packaging Direction	Aug	66	Nakagaki Design Office: Object Books Art Works VI "Bacteriart" Messages	Nov.		Masatoshi Toda: Ear Ear Land 50 Years in Japanese Illustrations	Mar	154	Japan 1946-95 Tsunehisa Kimura Photo Graphics: What?
		Works from Packaging Direction	Aug.	66	Art Works VI "Bacteriart" Messages	Nov. Dec.		Masatoshi Toda: Ear Ear Land 50 Years in Japanese Illustrations		154	Tsunehisa Kimura Photo Graphics: What?
Jan. Feb.		Works from Packaging Direction Hiroki Taniguchi:	Aug.	66 67					Mar.		Tsunehisa Kimura Photo Graphics: What? The Works of Seiichi Horiuchi
	24	Works from Packaging Direction	_	67	Art Works VI "Bacteriart" Messages from Dream Island	Dec.	115		Mar. Apr.	155	Tsunehisa Kimura Photo Graphics: What?
Feb.	24 25	Works from Packaging Direction Hiroki Taniguchi: Homosapiens' Memory	OctNov.	67	Art Works VI "Bacteriart" Messages from Dream Island Trans-Art '91	Dec.	115	50 Years in Japanese Illustrations	Mar. Apr.	155	Tsunehisa Kimura Photo Graphics: What? The Works of Seiichi Horiuchi Tokyo TDC 1999 Exhibition
Feb. Mar.	24 25	Works from Packaging Direction Hiroki Taniguchi: Homosapiens' Memory Ginza Hyakuten Covers, Original Works	OctNov.	67	Art Works VI "Bacteriart" Messages from Dream Island Trans-Art '91	Dec. 1996 Jan.	115 116	50 Years in Japanese Illustrations Yasuhiro Yomogida:	Mar. Apr.	155 156	Tsunehisa Kimura Photo Graphics: What? The Works of Seiichi Horiuchi Tokyo TDC 1999 Exhibition Contemporary Bulgarian Graphic Design Exhibition
Feb. Mar.	24 25 26	Works from Packaging Direction Hiroki Taniguchi: Homosapiens' Memory Ginza Hyakuten Covers, Original Works Katsu Exhibition, Spring: Original- Lithography-Silk Screen-Offset Print	OctNov. Dec.	67 68	Art Works VI "Bacteriart" Messages from Dream Island Trans-Art '91	Dec. 1996 Jan. Feb.	115 116 117	50 Years in Japanese Illustrations Yasuhiro Yomogida: "yurayura" Swaying in Edo	Mar. Apr. May Jun.	155 156	Tsunehisa Kimura Photo Graphics: What? The Works of Seiichi Horiuchi Tokyo TDC 1999 Exhibition Contemporary Bulgarian Graphic Design Exhibition Katsuhiko Hibino: Abduction
Feb. Mar. Apr.	24 25 26 27	Works from Packaging Direction Hiroki Taniguchi: Homosapiens' Memory Ginza Hyakuten Covers, Original Works Katsu Exhibition, Spring: Original- Lithography-Silk Screen-Offset Print	OctNov. Dec.	67 68 69	Art Works VI "Bacteriart" Messages from Dream Island Trans-Art '91 1991 Tokyo ADC Exhibition	Dec. 1996 Jan. Feb.	115 116 117	50 Years in Japanese Illustrations Yasuhiro Yomogida: "yurayura" Swaying in Edo Transition of Modern Typography-2	Mar. Apr. May Jun.	155 156 157	Tsunehisa Kimura Photo Graphics: What? The Works of Seiichi Horiuchi Tokyo TDC 1999 Exhibition Contemporary Bulgarian Graphic Design Exhibition Katsuhiko Hibino: Abduction
Feb. Mar. Apr. May	24 25 26 27	Works from Packaging Direction Hiroki Taniguchi: Homosapiens' Memory Ginza Hyakuten Covers, Original Works Katsu Exhibition, Spring: Original- Lithography-Silk Screen-Offset Print AGI '88 Tokyo: World Graphic Design	OctNov. Dec. 1992 Jan.	67 68 69	Art Works VI "Bacteriart" Messages from Dream Island Trans-Art '91 1991 Tokyo ADC Exhibition Ivan Chermayeff: Collages	Dec. 1996 Jan. Feb. Mar.	115 116 117 118 119	50 Years in Japanese Illustrations Yasuhiro Yomogida: "yurayura" Swaying in Edo Transition of Modern Typography-2 NIPPONJIN: Posters by 23 Artists in Sao Paulo The 8th Tokyo TDC Exhibition	Mar. Apr. May Jun. Jul.	155 156 157	Tsunehisa Kimura Photo Graphics: What? The Works of Seiichi Horiuchi Tokyo TDC 1999 Exhibition Contemporary Bulgarian Graphic Design Exhibition Katsuhiko Hibino: Abduction 1999 Tokyo ADC Exhibition John Maeda: One-line.com
Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul.	24 25 26 27 28	Works from Packaging Direction Hiroki Taniguchi: Homosapiens' Memory Ginza Hyakuten Covers, Original Works Katsu Exhibition, Spring: Original- Lithography-Silk Screen-Offset Print AGI '88 Tokyo: World Graphic Design Issey Miyake Poster Exhibition: I.I.I. at GGG 1988 Tokyo ADC Exhibition	OctNov. Dec. 1992 Jan. Feb. Mar.	67 68 69 70	Art Works VI. "Bacteriart" Messages from Dream Island Trans-Art '91 1991 Tokyo ADC Exhibition Ivan Chermayeff: Collages The First Solo Exhibition of Hajime Tachibana: ape-MAN The 4th Tokyo TDC Exhibition	Dec. 1996 Jan. Feb. Mar.	115 116 117 118 119	50 Years in Japanese Illustrations Yasuhiro Yomogida: "yurayura" Swaying in Edo Transition of Modern Typography-2 NIPPONJIN: Posters by 23 Artists in Sao Paulo The 8th Tokyo TDC Exhibition Contemporary Graphics in Hungary:	Mar. Apr. May Jun. Jul. Jul.	155 156 157 158	Tsunehisa Kimura Photo Graphics: What? The Works of Seiichi Horiuchi Tokyo TDC 1999 Exhibition Contemporary Bulgarian Graphic Design Exhibition Katsuhiko Hibino: Abduction 1999 Tokyo ADC Exhibition John Maeda: One-line.com Kijuro Yahagi Exhibition Graphic Wave 1999: Mamoru Suzuki /
Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug.	24 25 26 27 28 29 30	Works from Packaging Direction Hiroki Taniguchi: Homosapiens' Memory Ginza Hyakuten Covers, Original Works Katsu Exhibition, Spring: Original- Lithography-Silk Screen-Offset Print AGI '88 Tokyo: World Graphic Design Issey Miyake Poster Exhibition: I.I.I. at GGG 1988 Tokyo ADC Exhibition Art Works III Peace by Piece	OctNov. Dec. 1992 Jan. Feb. Mar. Apr.	67 68 69 70 71 72	Art Works VI. "Bacteriart" Messages from Dream Island Trans-Art '91 1991 Tokyo ADC Exhibition Ivan Chermayeff: Collages The First Solo Exhibition of Hajime Tachibana: ape-MAN The 4th Tokyo TDC Exhibition Henryk Tomaszewski Exhibition	Dec. 1996 Jan. Feb. Mar. Apr. May	115 116 117 118 119 120	50 Years in Japanese Illustrations Yasuhiro Yomogida: "yurayura" Swaying in Edo Transition of Modern Typography-2 NIPPONJIN: Posters by 23 Artists in Sao Paulo The 8th Tokyo TDC Exhibition Contemporary Graphics in Hungary: DOPP at GGG	Mar. Apr. May Jun. Jul. Jul. Aug. Sep.	155 156 157 158 159 160	Tsunehisa Kimura Photo Graphics: What? The Works of Seiichi Horiuchi Tokyo TDC 1999 Exhibition Contemporary Bulgarian Graphic Design Exhibition Katsuhiko Hibino: Abduction 1999 Tokyo ADC Exhibition John Maeda: One-line.com Kijuro Yahagi Exhibition Graphic Wave 1999: Mamoru Suzuki / Kei Matsushita / Hiroshi Yonemura
Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep.	24 25 26 27 28 29 30 31	Works from Packaging Direction Hiroki Taniguchi: Homosapiens' Memory Ginza Hyakuten Covers, Original Works Katsu Exhibition, Spring: Original- Lithography-Silk Screen-Offset Print AGI '88 Tokyo: World Graphic Design Issey Miyake Poster Exhibition: I.I.I. at GGG 1988 Tokyo ADC Exhibition Art Works III Peace by Piece Recruit / Information Posters	OctNov. Dec. 1992 Jan. Feb. Mar. Apr. May	67 68 69 70 71 72 73	Art Works VI. "Bacteriart" Messages from Dream Island Trans-Art '91 1991 Tokyo ADC Exhibition Ivan Chermayeff: Collages The First Solo Exhibition of Hajime Tachibana: ape-MAN The 4th Tokyo TDC Exhibition Henryk Tomaszewski Exhibition Seymour Chwast: Painted Metal Sculpture	Dec. 1996 Jan. Feb. Mar. Apr. May	115 116 117 118 119 120	50 Years in Japanese Illustrations Yasuhiro Yomogida: "yurayura" Swaying in Edo Transition of Modern Typography-2 NIPPONJIN: Posters by 23 Artists in Sao Paulo The 8th Tokyo TDC Exhibition Contemporary Graphics in Hungary: DOPP at GGG Shigeo Katsuoka's Typographic Art:	Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct.	155 156 157 158 159 160	Tsunehisa Kimura Photo Graphics: What? The Works of Seiichi Horiuchi Tokyo TDC 1999 Exhibition Contemporary Bulgarian Graphic Design Exhibition Katsuhiko Hibino: Abduction 1999 Tokyo ADC Exhibition John Maeda: One-line.com Kijuro Yahagi Exhibition Graphic Wave 1999: Mamoru Suzuki / Kei Matsushita / Hiroshi Yonemura An Exhibition of FUSE Posters and Fonts
Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug.	24 25 26 27 28 29 30 31	Works from Packaging Direction Hiroki Taniguchi: Homosapiens' Memory Ginza Hyakuten Covers, Original Works Katsu Exhibition, Spring: Original- Lithography-Silk Screen-Offset Print AGI '88 Tokyo: World Graphic Design Issey Miyake Poster Exhibition: I.I.I. at GGG 1988 Tokyo ADC Exhibition Art Works III Peace by Piece Recruit / Information Posters Yoshio Hayakawa:	OctNov. Dec. 1992 Jan. Feb. Mar. Apr. May Jun.	67 68 69 70 71 72 73 74	Art Works VI. "Bacteriart" Messages from Dream Island Trans-Art '91 1991 Tokyo ADC Exhibition Ivan Chermayeff: Collages The First Solo Exhibition of Hajime Tachibana: ape-MAN The 4th Tokyo TDC Exhibition Henryk Tomaszewski Exhibition Seymour Chwast: Painted Metal Sculpture Takashi Kanome: BOX-XX	Dec. 1996 Jan. Feb. Mar. Apr. May Jun.	115 116 117 118 119 120	50 Years in Japanese Illustrations Yasuhiro Yomogida: "yurayura" Swaying in Edo Transition of Modern Typography-2 NIPPONJIN: Posters by 23 Artists in Sao Paulo The 8th Tokyo TDC Exhibition Contemporary Graphics in Hungary: DOPP at GGG Shigeo Katsuoka's Typographic Art: Departure	Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov.	155 156 157 158 159 160 161 162	Tsunehisa Kimura Photo Graphics: What? The Works of Seiichi Horiuchi Tokyo TDC 1999 Exhibition Contemporary Bulgarian Graphic Design Exhibition Katsuhiko Hibino: Abduction 1999 Tokyo ADC Exhibition John Maeda: One-line.com Kijuro Yahagi Exhibition Graphic Wave 1999: Mamoru Suzuki / Kei Matsushita / Hiroshi Yonemura An Exhibition of FUSE Posters and Fonts Keizo Matsui Exhibition
Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct.	24 25 26 27 28 29 30 31 32	Works from Packaging Direction Hiroki Taniguchi: Homosapiens' Memory Ginza Hyakuten Covers, Original Works Katsu Exhibition, Spring: Original- Lithography-Silk Screen-Offset Print AGI '88 Tokyo: World Graphic Design Issey Miyake Poster Exhibition: I.I.I. at GGG 1988 Tokyo ADC Exhibition Art Works III Peace by Piece Recruit / Information Posters Yoshio Hayakawa: Original Drawings "Woman"	OctNov. Dec. 1992 Jan. Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul.	67 68 69 70 71 72 73 74 75	Art Works VI. "Bacteriart" Messages from Dream Island Trans-Art '91 1991 Tokyo ADC Exhibition Ivan Chermayeff: Collages The First Solo Exhibition of Hajime Tachibana: ape-MAN The 4th Tokyo TDC Exhibition Henryk Tomaszewski Exhibition Seymour Chwast: Painted Metal Sculpture Takashi Kanome: BOX-XX Makoto Nakamura Solo Exhibition	Dec. 1996 Jan. Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul.	115 116 117 118 119 120 121	50 Years in Japanese Illustrations Yasuhiro Yomogida: "yurayura" Swaying in Edo Transition of Modern Typography-2 NIPPONJIN: Posters by 23 Artists in Sao Paulo The 8th Tokyo TDC Exhibition Contemporary Graphics in Hungary: DOPP at GGG Shigeo Katsuoka's Typographic Art: Departure 1996 Tokyo ADC Exhibition	Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec.	155 156 157 158 159 160	Tsunehisa Kimura Photo Graphics: What? The Works of Seiichi Horiuchi Tokyo TDC 1999 Exhibition Contemporary Bulgarian Graphic Design Exhibition Katsuhiko Hibino: Abduction 1999 Tokyo ADC Exhibition John Maeda: One-line.com Kijuro Yahagi Exhibition Graphic Wave 1999: Mamoru Suzuki / Kei Matsushita / Hiroshi Yonemura An Exhibition of FUSE Posters and Fonts Keizo Matsui Exhibition Paul Davis Posters
Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov.	24 25 26 27 28 29 30 31 32 33	Works from Packaging Direction Hiroki Taniguchi: Homosapiens' Memory Ginza Hyakuten Covers, Original Works Katsu Exhibition, Spring: Original- Lithography-Silk Screen-Offset Print AGI '88 Tokyo: World Graphic Design Issey Miyake Poster Exhibition: I.I.I. at GGG 1988 Tokyo ADC Exhibition Art Works III Peace by Piece Recruit / Information Posters Yoshio Hayakawa: Original Drawings "Woman" Masayoshi Nakajo: NAKAJOISH	OctNov. Dec. 1992 Jan. Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug.	67 68 69 70 71 72 73 74 75 76	Art Works VI. "Bacteriart" Messages from Dream Island Trans-Art '91 1991 Tokyo ADC Exhibition Ivan Chermayeff: Collages The First Solo Exhibition of Hajime Tachibana: ape-MAN The 4th Tokyo TDC Exhibition Henryk Tomaszewski Exhibition Seymour Chwast: Painted Metal Sculpture Takashi Kanome: BOX-XX Makoto Nakamura Solo Exhibition Rick Valicenti Exhibition	Dec. 1996 Jan. Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug.	115 116 117 118 119 120 121 122 123	50 Years in Japanese Illustrations Yasuhiro Yomogida: "yurayura" Swaying in Edo Transition of Modern Typography-2 NIPPONJIN: Posters by 23 Artists in Sao Paulo The 8th Tokyo TDC Exhibition Contemporary Graphics in Hungary: DOPP at GGG Shigeo Katsuoka's Typographic Art: Departure 1996 Tokyo ADC Exhibition John Maeda Paper and Computers	Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov.	155 156 157 158 159 160 161 162	Tsunehisa Kimura Photo Graphics: What? The Works of Seiichi Horiuchi Tokyo TDC 1999 Exhibition Contemporary Bulgarian Graphic Design Exhibition Katsuhiko Hibino: Abduction 1999 Tokyo ADC Exhibition John Maeda: One-line.com Kijuro Yahagi Exhibition Graphic Wave 1999: Mamoru Suzuki / Kei Matsushita / Hiroshi Yonemura An Exhibition of FUSE Posters and Fonts Keizo Matsui Exhibition Paul Davis Posters Irving Penn Regards
Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct.	24 25 26 27 28 29 30 31 32	Works from Packaging Direction Hiroki Taniguchi: Homosapiens' Memory Ginza Hyakuten Covers, Original Works Katsu Exhibition, Spring: Original- Lithography-Silk Screen-Offset Print AGI '88 Tokyo: World Graphic Design Issey Miyake Poster Exhibition: I.I.I. at GGG 1988 Tokyo ADC Exhibition Art Works III Peace by Piece Recruit / Information Posters Yoshio Hayakawa: Original Drawings "Woman" Masayoshi Nakajo: NAKAJOISH Posters and Illustrations of	OctNov. Dec. 1992 Jan. Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep.	67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77	Art Works VI. "Bacteriart" Messages from Dream Island Trans-Art '91 1991 Tokyo ADC Exhibition Ivan Chermayeff: Collages The First Solo Exhibition of Hajime Tachibana: ape-MAN The 4th Tokyo TDC Exhibition Henryk Tomaszewski Exhibition Seymour Chwast: Painted Metal Sculpture Takashi Kanome: BOX-XX Makoto Nakamura Solo Exhibition Rick Valicenti Exhibition Kaoru Kasai: AERO	Dec. 1996 Jan. Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul.	115 116 117 118 119 120 121 122 123	50 Years in Japanese Illustrations Yasuhiro Yomogida: "yurayura" Swaying in Edo Transition of Modern Typography-2 NIPPONJIN: Posters by 23 Artists in Sao Paulo The 8th Tokyo TDC Exhibition Contemporary Graphics in Hungary: DOPP at GGG Shigeo Katsuoka's Typographic Art: Departure 1996 Tokyo ADC Exhibition John Maeda Paper and Computers K2 – Seitaro Kuroda /	Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec.	155 156 157 158 159 160 161 162	Tsunehisa Kimura Photo Graphics: What? The Works of Seiichi Horiuchi Tokyo TDC 1999 Exhibition Contemporary Bulgarian Graphic Design Exhibition Katsuhiko Hibino: Abduction 1999 Tokyo ADC Exhibition John Maeda: One-line.com Kijuro Yahagi Exhibition Graphic Wave 1999: Mamoru Suzuki / Kei Matsushita / Hiroshi Yonemura An Exhibition of FUSE Posters and Fonts Keizo Matsui Exhibition Paul Davis Posters
Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov.	24 25 26 27 28 29 30 31 32 33	Works from Packaging Direction Hiroki Taniguchi: Homosapiens' Memory Ginza Hyakuten Covers, Original Works Katsu Exhibition, Spring: Original- Lithography-Silk Screen-Offset Print AGI '88 Tokyo: World Graphic Design Issey Miyake Poster Exhibition: I.I.I. at GGG 1988 Tokyo ADC Exhibition Art Works III Peace by Piece Recruit / Information Posters Yoshio Hayakawa: Original Drawings "Woman" Masayoshi Nakajo: NAKAJOISH	OctNov. Dec. 1992 Jan. Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug.	67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77	Art Works VI. "Bacteriart" Messages from Dream Island Trans-Art '91 1991 Tokyo ADC Exhibition Ivan Chermayeff: Collages The First Solo Exhibition of Hajime Tachibana: ape-MAN The 4th Tokyo TDC Exhibition Henryk Tomaszewski Exhibition Seymour Chwast: Painted Metal Sculpture Takashi Kanome: BOX-XX Makoto Nakamura Solo Exhibition Rick Valicenti Exhibition Kaoru Kasai: AERO Tadahito Nadamoto / Akira Uno /	Dec. 1996 Jan. Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep.	115 116 117 118 119 120 121 122 123 124	50 Years in Japanese Illustrations Yasuhiro Yomogida: "yurayura" Swaying in Edo Transition of Modern Typography-2 NIPPONJIN: Posters by 23 Artists in Sao Paulo The 8th Tokyo TDC Exhibition Contemporary Graphics in Hungary: DOPP at GGG Shigeo Katsuoka's Typographic Art: Departure 1996 Tokyo ADC Exhibition John Maeda Paper and Computers K2 – Seitaro Kuroda / Keisuke Nagatomo: Two Chairs	Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec. Dec.	155 156 157 158 159 160 161 162	Tsunehisa Kimura Photo Graphics: What? The Works of Seiichi Horiuchi Tokyo TDC 1999 Exhibition Contemporary Bulgarian Graphic Design Exhibition Katsuhiko Hibino: Abduction 1999 Tokyo ADC Exhibition John Maeda: One-line.com Kijuro Yahagi Exhibition Graphic Wave 1999: Mamoru Suzuki / Kei Matsushita / Hiroshi Yonemura An Exhibition of FUSE Posters and Fonts Keizo Matsui Exhibition Paul Davis Posters Irving Penn Regards
Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec.	24 25 26 27 28 29 30 31 32 33	Works from Packaging Direction Hiroki Taniguchi: Homosapiens' Memory Ginza Hyakuten Covers, Original Works Katsu Exhibition, Spring: Original- Lithography-Silk Screen-Offset Print AGI '88 Tokyo: World Graphic Design Issey Miyake Poster Exhibition: I.I.I. at GGG 1988 Tokyo ADC Exhibition Art Works III Peace by Piece Recruit / Information Posters Yoshio Hayakawa: Original Drawings "Woman" Masayoshi Nakajo: NAKAJOISH Posters and Illustrations of	OctNov. Dec. 1992 Jan. Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep.	67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77	Art Works VI. "Bacteriart" Messages from Dream Island Trans-Art '91 1991 Tokyo ADC Exhibition Ivan Chermayeff: Collages The First Solo Exhibition of Hajime Tachibana: ape-MAN The 4th Tokyo TDC Exhibition Henryk Tomaszewski Exhibition Seymour Chwast: Painted Metal Sculpture Takashi Kanome: BOX-XX Makoto Nakamura Solo Exhibition Rick Valicenti Exhibition Kaoru Kasai: AERO Tadahito Nadamoto / Akira Uno / Makoto Wada / Harumi Yamaguchi	Dec. 1996 Jan. Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep.	115 116 117 118 119 120 121 122 123 124	50 Years in Japanese Illustrations Yasuhiro Yomogida: "yurayura" Swaying in Edo Transition of Modern Typography-2 NIPPONJIN: Posters by 23 Artists in Sao Paulo The 8th Tokyo TDC Exhibition Contemporary Graphics in Hungary: DOPP at GGG Shigeo Katsuoka's Typographic Art: Departure 1996 Tokyo ADC Exhibition John Maeda Paper and Computers K2 – Seitaro Kuroda / Keisuke Nagatomo: Two Chairs Czech Avant-Garde Book Design	Mar. Apr. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec. Dec.	155 156 157 158 159 160 161 162 163	Tsunehisa Kimura Photo Graphics: What? The Works of Seiichi Horiuchi Tokyo TDC 1999 Exhibition Contemporary Bulgarian Graphic Design Exhibition Katsuhiko Hibino: Abduction 1999 Tokyo ADC Exhibition John Maeda: One-line.com Kijuro Yahagi Exhibition Graphic Wave 1999: Mamoru Suzuki / Kei Matsushita / Hiroshi Yonemura An Exhibition of FUSE Posters and Fonts Keizo Matsui Exhibition Paul Davis Posters Irving Penn Regards the Works of Issey Miyake
Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec.	24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34	Works from Packaging Direction Hiroki Taniguchi: Homosapiens' Memory Ginza Hyakuten Covers, Original Works Katsu Exhibition, Spring: Original- Lithography-Silk Screen-Offset Print AGI '88 Tokyo: World Graphic Design Issey Miyake Poster Exhibition: I.I.I. at GGG 1988 Tokyo ADC Exhibition Art Works III Peace by Piece Recruit / Information Posters Yoshio Hayakawa: Original Drawings "Woman" Masayoshi Nakajo: NAKAJOISH Posters and Illustrations of Stasys Eidrigevicius	OctNov. Dec. 1992 Jan. Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct.	67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78	Art Works VI. "Bacteriart" Messages from Dream Island Trans-Art '91 1991 Tokyo ADC Exhibition Ivan Chermayeff: Collages The First Solo Exhibition of Hajime Tachibana: ape-MAN The 4th Tokyo TDC Exhibition Henryk Tomaszewski Exhibition Seymour Chwast: Painted Metal Sculpture Takashi Kanome: BOX-XX Makoto Nakamura Solo Exhibition Rick Valicenti Exhibition Kaoru Kasai: AERO Tadahito Nadamoto / Akira Uno / Makoto Wada / Harumi Yamaguchi Exhibition	Dec. 1996 Jan. Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct.	115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125	50 Years in Japanese Illustrations Yasuhiro Yomogida: "yurayura" Swaying in Edo Transition of Modern Typography-2 NIPPONJIN: Posters by 23 Artists in Sao Paulo The 8th Tokyo TDC Exhibition Contemporary Graphics in Hungary: DOPP at GGG Shigeo Katsuoka's Typographic Art: Departure 1996 Tokyo ADC Exhibition John Maeda Paper and Computers K2 – Seitaro Kuroda / Keisuke Nagatomo: Two Chairs Czech Avant-Garde Book Design 1920s-'30s	Mar. Apr. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec. Dec.	155 156 157 158 159 160 161 162 163	Tsunehisa Kimura Photo Graphics: What? The Works of Seiichi Horiuchi Tokyo TDC 1999 Exhibition Contemporary Bulgarian Graphic Design Exhibition Katsuhiko Hibino: Abduction 1999 Tokyo ADC Exhibition John Maeda: One-line.com Kijuro Yahagi Exhibition Graphic Wave 1999: Mamoru Suzuki / Kei Matsushita / Hiroshi Yonemura An Exhibition of FUSE Posters and Fonts Keizo Matsui Exhibition Paul Davis Posters Irving Penn Regards the Works of Issey Miyake Graphic Message for Ecology
Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec.	24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34	Works from Packaging Direction Hiroki Taniguchi: Homosapiens' Memory Ginza Hyakuten Covers, Original Works Katsu Exhibition, Spring: Original- Lithography-Silk Screen-Offset Print AGI '88 Tokyo: World Graphic Design Issey Miyake Poster Exhibition: I.I.I. at GGG 1988 Tokyo ADC Exhibition Art Works III Peace by Piece Recruit / Information Posters Yoshio Hayakawa: Original Drawings "Woman" Masayoshi Nakajo: NAKAJOISH Posters and Illustrations of Stasys Eidrigevicius Shopping Bag Design Exhibition	OctNov. Dec. 1992 Jan. Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep.	67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78	Art Works VI. "Bacteriart" Messages from Dream Island Trans-Art '91 1991 Tokyo ADC Exhibition Ivan Chermayeff: Collages The First Solo Exhibition of Hajime Tachibana: ape-MAN The 4th Tokyo TDC Exhibition Henryk Tomaszewski Exhibition Seymour Chwast: Painted Metal Sculpture Takashi Kanome: BOX-XX Makoto Nakamura Solo Exhibition Rick Valicenti Exhibition Kaoru Kasai: AERO Tadahito Nadamoto / Akira Uno / Makoto Wada / Harumi Yamaguchi Exhibition Paul Rand	Dec. 1996 Jan. Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct.	115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125	50 Years in Japanese Illustrations Yasuhiro Yomogida: "yurayura" Swaying in Edo Transition of Modern Typography-2 NIPPONJIN: Posters by 23 Artists in Sao Paulo The 8th Tokyo TDC Exhibition Contemporary Graphics in Hungary: DOPP at GGG Shigeo Katsuoka's Typographic Art: Departure 1996 Tokyo ADC Exhibition John Maeda Paper and Computers K2 – Seitaro Kuroda / Keisuke Nagatomo: Two Chairs Czech Avant-Garde Book Design	Mar. Apr. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec. Dec.	155 156 157 158 159 160 161 162 163	Tsunehisa Kimura Photo Graphics: What? The Works of Seiichi Horiuchi Tokyo TDC 1999 Exhibition Contemporary Bulgarian Graphic Design Exhibition Katsuhiko Hibino: Abduction 1999 Tokyo ADC Exhibition John Maeda: One-line.com Kijuro Yahagi Exhibition Graphic Wave 1999: Mamoru Suzuki / Kei Matsushita / Hiroshi Yonemura An Exhibition of FUSE Posters and Fonts Keizo Matsui Exhibition Paul Davis Posters Irving Penn Regards the Works of Issey Miyake
Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec.	24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34	Works from Packaging Direction Hiroki Taniguchi: Homosapiens' Memory Ginza Hyakuten Covers, Original Works Katsu Exhibition, Spring: Original- Lithography-Silk Screen-Offset Print AGI '88 Tokyo: World Graphic Design Issey Miyake Poster Exhibition: I.I.I. at GGG 1988 Tokyo ADC Exhibition Art Works III Peace by Piece Recruit / Information Posters Yoshio Hayakawa: Original Drawings "Woman" Masayoshi Nakajo: NAKAJOISH Posters and Illustrations of Stasys Eidrigevicius Shopping Bag Design Exhibition Kijuro Yahagi Exhibition	OctNov. Dec. 1992 Jan. Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct.	67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78	Art Works VI. "Bacteriart" Messages from Dream Island Trans-Art '91 1991 Tokyo ADC Exhibition Ivan Chermayeff: Collages The First Solo Exhibition of Hajime Tachibana: ape-MAN The 4th Tokyo TDC Exhibition Henryk Tomaszewski Exhibition Seymour Chwast: Painted Metal Sculpture Takashi Kanome: BOX-XX Makoto Nakamura Solo Exhibition Rick Valicenti Exhibition Kaoru Kasai: AERO Tadahito Nadamoto / Akira Uno / Makoto Wada / Harumi Yamaguchi Exhibition	Dec. 1996 Jan. Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct.	115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126	50 Years in Japanese Illustrations Yasuhiro Yomogida: "yurayura" Swaying in Edo Transition of Modern Typography-2 NIPPONJIN: Posters by 23 Artists in Sao Paulo The 8th Tokyo TDC Exhibition Contemporary Graphics in Hungary: DOPP at GGG Shigeo Katsuoka's Typographic Art: Departure 1996 Tokyo ADC Exhibition John Maeda Paper and Computers K2 – Seitaro Kuroda / Keisuke Nagatomo: Two Chairs Czech Avant-Garde Book Design 1920s-'30s Graphic Wave 1996: Katsunori Aoki /	Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec. Dec. 2000 Jan. Jan.	155 156 157 158 159 160 161 162 163	Tsunehisa Kimura Photo Graphics: What? The Works of Seiichi Horiuchi Tokyo TDC 1999 Exhibition Contemporary Bulgarian Graphic Design Exhibition Katsuhiko Hibino: Abduction 1999 Tokyo ADC Exhibition John Maeda: One-line.com Kijuro Yahagi Exhibition Graphic Wave 1999: Mamoru Suzuki / Kei Matsushita / Hiroshi Yonemura An Exhibition of FUSE Posters and Fonts Keizo Matsui Exhibition Paul Davis Posters Irving Penn Regards the Works of Issey Miyake Graphic Message for Ecology Kishin Shinoyama & Manuel Legris:
Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec. 1989 Jan. Feb.	24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34	Works from Packaging Direction Hiroki Taniguchi: Homosapiens' Memory Ginza Hyakuten Covers, Original Works Katsu Exhibition, Spring: Original- Lithography-Silk Screen-Offset Print AGI '88 Tokyo: World Graphic Design Issey Miyake Poster Exhibition: I.I.I. at GGG 1988 Tokyo ADC Exhibition Art Works III Peace by Piece Recruit / Information Posters Yoshio Hayakawa: Original Drawings "Woman" Masayoshi Nakajo: NAKAJOISH Posters and Illustrations of Stasys Eidrigevicius Shopping Bag Design Exhibition Kijuro Yahagi Exhibition	OctNov. Dec. 1992 Jan. Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct.	67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78	Art Works VI. "Bacteriart" Messages from Dream Island Trans-Art '91 1991 Tokyo ADC Exhibition Ivan Chermayeff: Collages The First Solo Exhibition of Hajime Tachibana: ape-MAN The 4th Tokyo TDC Exhibition Henryk Tomaszewski Exhibition Seymour Chwast: Painted Metal Sculpture Takashi Kanome: BOX-XX Makoto Nakamura Solo Exhibition Rick Valicenti Exhibition Kaoru Kasai: AERO Tadahito Nadamoto / Akira Uno / Makoto Wada / Harumi Yamaguchi Exhibition Paul Rand	Dec. 1996 Jan. Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov.	115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126	50 Years in Japanese Illustrations Yasuhiro Yomogida: "yurayura" Swaying in Edo Transition of Modern Typography-2 NIPPONJIN: Posters by 23 Artists in Sao Paulo The 8th Tokyo TDC Exhibition Contemporary Graphics in Hungary: DOPP at GGG Shigeo Katsuoka's Typographic Art: Departure 1996 Tokyo ADC Exhibition John Maeda Paper and Computers K2 – Seitaro Kuroda / Keisuke Nagatomo: Two Chairs Czech Avant-Garde Book Design 1920s-'30s Graphic Wave 1996: Katsunori Aoki / Taku Satoh / Toshio Yamagata	Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec. Dec. 2000 Jan. Jan.	155 156 157 158 159 160 161 162 163	Tsunehisa Kimura Photo Graphics: What? The Works of Seiichi Horiuchi Tokyo TDC 1999 Exhibition Contemporary Bulgarian Graphic Design Exhibition Katsuhiko Hibino: Abduction 1999 Tokyo ADC Exhibition John Maeda: One-line.com Kijuro Yahagi Exhibition Graphic Wave 1999: Mamoru Suzuki / Kei Matsushita / Hiroshi Yonemura An Exhibition of FUSE Posters and Fonts Keizo Matsui Exhibition Paul Davis Posters Irving Penn Regards the Works of Issey Miyake Graphic Message for Ecology Kishin Shinoyama & Manuel Legris: A L'Opera de Paris
Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec. 1989 Jan. Feb.	24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37	Works from Packaging Direction Hiroki Taniguchi: Homosapiens' Memory Ginza Hyakuten Covers, Original Works Katsu Exhibition, Spring: Original- Lithography-Silk Screen-Offset Print AGI '88 Tokyo: World Graphic Design Issey Miyake Poster Exhibition: I.I.I. at GGG 1988 Tokyo ADC Exhibition Art Works III Peace by Piece Recruit / Information Posters Yoshio Hayakawa: Original Drawings "Woman" Masayoshi Nakajo: NAKAJOISH Posters and Illustrations of Stasys Eidrigevicius Shopping Bag Design Exhibition Kijuro Yahagi Exhibition Texture: Makiko Minagawa +	OctNov. Dec. 1992 Jan. Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec.	67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78	Art Works VI. "Bacteriart" Messages from Dream Island Trans-Art '91 1991 Tokyo ADC Exhibition Ivan Chermayeff: Collages The First Solo Exhibition of Hajime Tachibana: ape-MAN The 4th Tokyo TDC Exhibition Henryk Tomaszewski Exhibition Seymour Chwast: Painted Metal Sculpture Takashi Kanome: BOX-XX Makoto Nakamura Solo Exhibition Rick Valicenti Exhibition Kaoru Kasai: AERO Tadahito Nadamoto / Akira Uno / Makoto Wada / Harumi Yamaguchi Exhibition Paul Rand	Dec. 1996 Jan. Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov.	115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126	50 Years in Japanese Illustrations Yasuhiro Yomogida: "yurayura" Swaying in Edo Transition of Modern Typography-2 NIPPONJIN: Posters by 23 Artists in Sao Paulo The 8th Tokyo TDC Exhibition Contemporary Graphics in Hungary: DOPP at GGG Shigeo Katsuoka's Typographic Art: Departure 1996 Tokyo ADC Exhibition John Maeda Paper and Computers K2 – Seitaro Kuroda / Keisuke Nagatomo: Two Chairs Czech Avant-Garde Book Design 1920s-'30s Graphic Wave 1996: Katsunori Aoki / Taku Satoh / Toshio Yamagata	Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec. Dec. 2000 Jan. Jan.	155 156 157 158 159 160 161 162 163	Tsunehisa Kimura Photo Graphics: What? The Works of Seiichi Horiuchi Tokyo TDC 1999 Exhibition Contemporary Bulgarian Graphic Design Exhibition Katsuhiko Hibino: Abduction 1999 Tokyo ADC Exhibition John Maeda: One-line.com Kijuro Yahagi Exhibition Graphic Wave 1999: Mamoru Suzuki / Kei Matsushita / Hiroshi Yonemura An Exhibition of FUSE Posters and Fonts Keizo Matsui Exhibition Paul Davis Posters Irving Penn Regards the Works of Issey Miyake Graphic Message for Ecology Kishin Shinoyama & Manuel Legris: A L'Opera de Paris Bruno Monguzzi:
Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec. 1989 Jan. Feb. Mar.	24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37	Works from Packaging Direction Hiroki Taniguchi: Homosapiens' Memory Ginza Hyakuten Covers, Original Works Katsu Exhibition, Spring: Original- Lithography-Silk Screen-Offset Print AGI '88 Tokyo: World Graphic Design Issey Miyake Poster Exhibition: I.I.I. at GGG 1988 Tokyo ADC Exhibition Art Works III Peace by Piece Recruit / Information Posters Yoshio Hayakawa: Original Drawings "Woman" Masayoshi Nakajo: NAKAJOISH Posters and Illustrations of Stasys Eidrigevicius Shopping Bag Design Exhibition Kijuro Yahagi Exhibition Texture: Makiko Minagawa + Keiichi Tahara + Shigeru Yamaoka	OctNov. Dec. 1992 Jan. Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec.	67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78	Art Works VI. "Bacteriart" Messages from Dream Island Trans-Art '91 1991 Tokyo ADC Exhibition Ivan Chermayeff: Collages The First Solo Exhibition of Hajime Tachibana: ape-MAN The 4th Tokyo TDC Exhibition Henryk Tomaszewski Exhibition Seymour Chwast: Painted Metal Sculpture Takashi Kanome: BOX-XX Makoto Nakamura Solo Exhibition Rick Valicenti Exhibition Kaoru Kasai: AERO Tadahito Nadamoto / Akira Uno / Makoto Wada / Harumi Yamaguchi Exhibition Paul Rand Furoshiki by 18 Artists	Dec. 1996 Jan. Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec.	1115 1116 1117 1118 1119 120 121 122 123 124 125 126	50 Years in Japanese Illustrations Yasuhiro Yomogida: "yurayura" Swaying in Edo Transition of Modern Typography-2 NIPPONJIN: Posters by 23 Artists in Sao Paulo The 8th Tokyo TDC Exhibition Contemporary Graphics in Hungary: DOPP at GGG Shigeo Katsuoka's Typographic Art: Departure 1996 Tokyo ADC Exhibition John Maeda Paper and Computers K2 – Seitaro Kuroda / Keisuke Nagatomo: Two Chairs Czech Avant-Garde Book Design 1920s-'30s Graphic Wave 1996: Katsunori Aoki / Taku Satoh / Toshio Yamagata	Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec. Dec. 2000 Jan. Jan.	155 156 157 158 159 160 161 162 163	Tsunehisa Kimura Photo Graphics: What? The Works of Seiichi Horiuchi Tokyo TDC 1999 Exhibition Contemporary Bulgarian Graphic Design Exhibition Katsuhiko Hibino: Abduction 1999 Tokyo ADC Exhibition John Maeda: One-line.com Kijuro Yahagi Exhibition Graphic Wave 1999: Mamoru Suzuki / Kei Matsushita / Hiroshi Yonemura An Exhibition of FUSE Posters and Fonts Keizo Matsui Exhibition Paul Davis Posters Irving Penn Regards the Works of Issey Miyake Graphic Message for Ecology Kishin Shinoyama & Manuel Legris: A L'Opera de Paris Bruno Monguzzi: A Poet of Form and Function
Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec. 1989 Jan. Feb. Mar.	24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37	Works from Packaging Direction Hiroki Taniguchi: Homosapiens' Memory Ginza Hyakuten Covers, Original Works Katsu Exhibition, Spring: Original- Lithography-Silk Screen-Offset Print AGI '88 Tokyo: World Graphic Design Issey Miyake Poster Exhibition: I.I.I. at GGG 1988 Tokyo ADC Exhibition Art Works III Peace by Piece Recruit / Information Posters Yoshio Hayakawa: Original Drawings "Woman" Masayoshi Nakajo: NAKAJOISH Posters and Illustrations of Stasys Eidrigevicius Shopping Bag Design Exhibition Kijuro Yahagi Exhibition Texture: Makiko Minagawa + Keiichi Tahara + Shigeru Yamaoka Noriyuki Tanaka:	OctNov. Dec. 1992 Jan. Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec.	67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78	Art Works VI. "Bacteriart" Messages from Dream Island Trans-Art '91 1991 Tokyo ADC Exhibition Ivan Chermayeff: Collages The First Solo Exhibition of Haijme Tachibana: ape-MAN The 4th Tokyo TDC Exhibition Henryk Tomaszewski Exhibition Seymour Chwast: Painted Metal Sculpture Takashi Kanome: BOX-XX Makoto Nakamura Solo Exhibition Rick Valicenti Exhibition Kaoru Kasai: AERO Tadahito Nadamoto / Akira Uno / Makoto Wada / Harumi Yamaguchi Exhibition Paul Rand Furoshiki by 18 Artists Ryohei Kojima: Tropica Grafica Koichi Inakoshi: Out of Season	Dec. 1996 Jan. Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec.	1115 1116 1117 1118 1119 120 121 122 123 124 125 126	50 Years in Japanese Illustrations Yasuhiro Yomogida: "yurayura" Swaying in Edo Transition of Modern Typography-2 NIPPONJIN: Posters by 23 Artists in Sao Paulo The 8th Tokyo TDC Exhibition Contemporary Graphics in Hungary: DOPP at GGG Shigeo Katsuoka's Typographic Art: Departure 1996 Tokyo ADC Exhibition John Maeda Paper and Computers K2 – Seitaro Kuroda / Keisuke Nagatomo: Two Chairs Czech Avant-Garde Book Design 1920s-'30s Graphic Wave 1996: Katsunori Aoki / Taku Satoh / Toshio Yamagata Alain Le Quernec Exhibition	Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec. Dec. 2000 Jan. Jan.	155 156 157 158 159 160 161 162 163	Tsunehisa Kimura Photo Graphics: What? The Works of Seiichi Horiuchi Tokyo TDC 1999 Exhibition Contemporary Bulgarian Graphic Design Exhibition Katsuhiko Hibino: Abduction 1999 Tokyo ADC Exhibition John Maeda: One-line.com Kijuro Yahagi Exhibition Graphic Wave 1999: Mamoru Suzuki / Kei Matsushita / Hiroshi Yonemura An Exhibition of FUSE Posters and Fonts Keizo Matsui Exhibition Paul Davis Posters Irving Penn Regards the Works of Issey Miyake Graphic Message for Ecology Kishin Shinoyama & Manuel Legris: A L'Opera de Paris Bruno Monguzzi: A Poet of Form and Function Kenji Itoh: The Medical Journal
Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec. 1989 Jan. Feb. Mar. Apr.	24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37	Works from Packaging Direction Hiroki Taniguchi: Homosapiens' Memory Ginza Hyakuten Covers, Original Works Katsu Exhibition, Spring: Original- Lithography-Silk Screen-Offset Print AGI '88 Tokyo: World Graphic Design Issey Miyake Poster Exhibition: I.I.I. at GGG 1988 Tokyo ADC Exhibition Art Works III Peace by Piece Recruit / Information Posters Yoshio Hayakawa: Original Drawings "Woman" Masayoshi Nakajo: NAKAJOISH Posters and Illustrations of Stasys Eidrigevicius Shopping Bag Design Exhibition Kijuro Yahagi Exhibition Texture: Makiko Minagawa + Keiichi Tahara + Shigeru Yamaoka Noriyuki Tanaka: Gokan - The Urban Surface	OctNov. Dec. 1992 Jan. Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec. 1993 Jan. Feb.	67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80	Art Works VI. "Bacteriart" Messages from Dream Island Trans-Art '91 1991 Tokyo ADC Exhibition Ivan Chermayeff: Collages The First Solo Exhibition of Hajime Tachibana: ape-MAN The 4th Tokyo TDC Exhibition Henryk Tomaszewski Exhibition Seymour Chwast: Painted Metal Sculpture Takashi Kanome: BOX-XX Makoto Nakamura Solo Exhibition Rick Valicenti Exhibition Kaoru Kasai: AERO Tadahito Nadamoto / Akira Uno / Makoto Wada / Harumi Yamaguchi Exhibition Paul Rand Furoshiki by 18 Artists Ryohei Kojima: Tropica Grafica Koichi Inakoshi: Out of Season 1992 Tokyo ADC Exhibition	Dec. 1996 Jan. Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec. 1997 Jan. Jan.	1115 1116 1117 1118 1119 120 121 122 123 124 125 126 127	Yasuhiro Yomogida: "yurayura" Swaying in Edo Transition of Modern Typography-2 NIPPONJIN: Posters by 23 Artists in Sao Paulo The 8th Tokyo TDC Exhibition Contemporary Graphics in Hungary: DOPP at GGG Shigeo Katsuoka's Typographic Art: Departure 1996 Tokyo ADC Exhibition John Maeda Paper and Computers K2 – Seitaro Kuroda / Keisuke Nagatomo: Two Chairs Czech Avant-Garde Book Design 1920s-'30s Graphic Wave 1996: Katsunori Aoki / Taku Satoh / Toshio Yamagata Alain Le Quernec Exhibition Nisuke Shimotani: Man Collection of CCGA: The Prints of Josef Albers	Mar. Apr. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec. Dec. 2000 Jan. Jan. Feb. Mar.	155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165	Tsunehisa Kimura Photo Graphics: What? The Works of Seiichi Horiuchi Tokyo TDC 1999 Exhibition Contemporary Bulgarian Graphic Design Exhibition Katsuhiko Hibino: Abduction 1999 Tokyo ADC Exhibition John Maeda: One-line.com Kijuro Yahagi Exhibition Graphic Wave 1999: Mamoru Suzuki / Kei Matsushita / Hiroshi Yonemura An Exhibition of FUSE Posters and Fonts Keizo Matsui Exhibition Paul Davis Posters Irving Penn Regards the Works of Issey Miyake Graphic Message for Ecology Kishin Shinoyama & Manuel Legris: A L'Opera de Paris Bruno Monguzzi: A Poet of Form and Function Kenji Itoh: The Medical Journal STETHOSCOPE – A Half Century of
Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec. 1989 Jan. Feb. Mar. Apr.	24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39	Works from Packaging Direction Hiroki Taniguchi: Homosapiens' Memory Ginza Hyakuten Covers, Original Works Katsu Exhibition, Spring: Original- Lithography-Silk Screen-Offset Print AGI '88 Tokyo: World Graphic Design Issey Miyake Poster Exhibition: I.I.I. at GGG 1988 Tokyo ADC Exhibition Art Works III Peace by Piece Recruit / Information Posters Yoshio Hayakawa: Original Drawings "Woman" Masayoshi Nakajo: NAKAJOISH Posters and Illustrations of Stasys Eidrigevicius Shopping Bag Design Exhibition Kijuro Yahagi Exhibition Texture: Makiko Minagawa + Keiichi Tahara + Shigeru Yamaoka Noriyuki Tanaka: Gokan – The Urban Surface Otl Aicher: W.Von Ockham, a Pioneer in Modern Philosophy Kazumi Kurigami: Photographis	OctNov. Dec. 1992 Jan. Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec. 1993 Jan. Feb. Mar.	67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80	Art Works VI. "Bacteriart" Messages from Dream Island Trans-Art '91 1991 Tokyo ADC Exhibition Ivan Chermayeff: Collages The First Solo Exhibition of Hajime Tachibana: ape-MAN The 4th Tokyo TDC Exhibition Henryk Tomaszewski Exhibition Seymour Chwast: Painted Metal Sculpture Takashi Kanome: BOX-XX Makoto Nakamura Solo Exhibition Rick Valicenti Exhibition Kaoru Kasai: AERO Tadahito Nadamoto / Akira Uno / Makoto Wada / Harumi Yamaguchi Exhibition Paul Rand Furoshiki by 18 Artists Ryohei Kojima: Tropica Grafica Koichi Inakoshi: Out of Season 1992 Tokyo ADC Exhibition The 5th Tokyo TDC Exhibition	Dec. 1996 Jan. Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec. 1997 Jan. Jan.	1115 1116 1117 1118 1119 120 121 122 123 124 125 126 127	50 Years in Japanese Illustrations Yasuhiro Yomogida: "yurayura" Swaying in Edo Transition of Modern Typography-2 NIPPONJIN: Posters by 23 Artists in Sao Paulo The 8th Tokyo TDC Exhibition Contemporary Graphics in Hungary: DOPP at GGG Shigeo Katsuoka's Typographic Art: Departure 1996 Tokyo ADC Exhibition John Maeda Paper and Computers K2 – Seitaro Kuroda / Keisuke Nagatomo: Two Chairs Czech Avant-Garde Book Design 1920s-'30s Graphic Wave 1996: Katsunori Aoki / Taku Satoh / Toshio Yamagata Alain Le Quernec Exhibition Nisuke Shimotani: Man Collection of CCGA:	Mar. Apr. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec. Dec. 2000 Jan. Jan. Feb. Mar.	155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166	Tsunehisa Kimura Photo Graphics: What? The Works of Seiichi Horiuchi Tokyo TDC 1999 Exhibition Contemporary Bulgarian Graphic Design Exhibition Katsuhiko Hibino: Abduction 1999 Tokyo ADC Exhibition John Maeda: One-line.com Kijuro Yahagi Exhibition Graphic Wave 1999: Mamoru Suzuki / Kei Matsushita / Hiroshi Yonemura An Exhibition of FUSE Posters and Fonts Keizo Matsui Exhibition Paul Davis Posters Irving Penn Regards the Works of Issey Miyake Graphic Message for Ecology Kishin Shinoyama & Manuel Legris: A L'Opera de Paris Bruno Monguzzi: A Poet of Form and Function Kenji Itoh: The Medical Journal STETHOSCOPE – A Half Century of Journal Cover Designs –
Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec. 1989 Jan. Feb. Mar. Apr.	24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41	Works from Packaging Direction Hiroki Taniguchi: Homosapiens' Memory Ginza Hyakuten Covers, Original Works Katsu Exhibition, Spring: Original- Lithography-Silk Screen-Offset Print AGI '88 Tokyo: World Graphic Design Issey Miyake Poster Exhibition: I.I.I. at GGG 1988 Tokyo ADC Exhibition Art Works III Peace by Piece Recruit / Information Posters Yoshio Hayakawa: Original Drawings "Woman" Masayoshi Nakajo: NAKAJOISH Posters and Illustrations of Stasys Eidrigevicius Shopping Bag Design Exhibition Kijuro Yahagi Exhibition Kijuro Yahagi Exhibition Texture: Makiko Minagawa + Keiichi Tahara + Shigeru Yamaoka Noriyuki Tanaka: Gokan - The Urban Surface Otl Aicher: W.Von Ockham, a Pioneer in Modern Philosophy Kazumi Kurigami: Photographis Shinichiro Wakao: Wakao Collection	OctNov. Dec. 1992 Jan. Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec. 1993 Jan. Feb. Mar. Apr.	67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 80 81 82 83 84 85 86	Art Works VI. "Bacteriart" Messages from Dream Island Trans-Art '91 1991 Tokyo ADC Exhibition Ivan Chermayeff: Collages The First Solo Exhibition of Hajime Tachibana: ape-MAN The 4th Tokyo TDC Exhibition Henryk Tomaszewski Exhibition Seymour Chwast: Painted Metal Sculpture Takashi Kanome: BOX-XX Makoto Nakamura Solo Exhibition Rick Valicenti Exhibition Kaoru Kasai: AERO Tadahito Nadamoto / Akira Uno / Makoto Wada / Harumi Yamaguchi Exhibition Paul Rand Furoshiki by 18 Artists Ryohei Kojima: Tropica Graffica Koichi Inakoshi: Out of Season 1992 Tokyo ADC Exhibition The 5th Tokyo TDC Exhibition: Treedom Hideo Mukai: Hommage	Dec. 1996 Jan. Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec. 1997 Jan. Jan.	115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128	Yasuhiro Yomogida: "yurayura" Swaying in Edo Transition of Modern Typography-2 NIPPONJIN: Posters by 23 Artists in Sao Paulo The 8th Tokyo TDC Exhibition Contemporary Graphics in Hungary: DOPP at GGG Shigeo Katsuoka's Typographic Art: Departure 1996 Tokyo ADC Exhibition John Maeda Paper and Computers K2 – Seitaro Kuroda / Keisuke Nagatomo: Two Chairs Czech Avant-Garde Book Design 1920s-'30s Graphic Wave 1996: Katsunori Aoki / Taku Satoh / Toshio Yamagata Alain Le Quernec Exhibition Nisuke Shimotani: Man Collection of CCGA: The Prints of Josef Albers Tadashi Ohashi: Warm Veggies The 10th Anniversary of Tokyo TDC	Mar. Apr. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec. Dec. 2000 Jan. Jan. Feb. Mar. Apr. May	155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166	Tsunehisa Kimura Photo Graphics: What? The Works of Seiichi Horiuchi Tokyo TDC 1999 Exhibition Contemporary Bulgarian Graphic Design Exhibition Katsuhiko Hibino: Abduction 1999 Tokyo ADC Exhibition John Maeda: One-line.com Kijuro Yahagi Exhibition Graphic Wave 1999: Mamoru Suzuki / Kei Matsushita / Hiroshi Yonemura An Exhibition of FUSE Posters and Fonts Keizo Matsui Exhibition Paul Davis Posters Irving Penn Regards the Works of Issey Miyake Graphic Message for Ecology Kishin Shinoyama & Manuel Legris: A L'Opera de Paris Bruno Monguzzi: A Poet of Form and Function Kenji Itoh: The Medical Journal STETHOSCOPE – A Half Century of Journal Cover Designs – Tokyo TDC 2000 Exhibition Poster Works Nagoya 12: Shigeo Okamoto + 11 Designers
Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec. 1989 Jan. Feb. Mar. Apr. May Jun.	24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41	Works from Packaging Direction Hiroki Taniguchi: Homosapiens' Memory Ginza Hyakuten Covers, Original Works Katsu Exhibition, Spring: Original- Lithography-Silk Screen-Offset Print AGI '88 Tokyo: World Graphic Design Issey Miyake Poster Exhibition: I.I.I. at GGG 1988 Tokyo ADC Exhibition Art Works III Peace by Piece Recruit / Information Posters Yoshio Hayakawa: Original Drawings "Woman" Masayoshi Nakajo: NAKAJOISH Posters and Illustrations of Stasys Eidrigevicius Shopping Bag Design Exhibition Kijuro Yahagi Exhibition Texture: Makiko Minagawa + Keiichi Tahara + Shigeru Yamaoka Noriyuki Tanaka: Gokan – The Urban Surface Ottl Aicher: W.Von Ockham, a Pioneer in Modern Philosophy Kazumi Kurigami: Photographis Shinichiro Wakao: Wakao Collection Art Works IV	OctNov. Dec. 1992 Jan. Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec. 1993 Jan. Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Jul. Aug. Sep. Oct.	67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 80 81 82 83 84 85 86 87	Art Works VI. "Bacteriart" Messages from Dream Island Trans-Art '91 1991 Tokyo ADC Exhibition Ivan Chermayeff: Collages The First Solo Exhibition of Hajime Tachibana: ape-MAN The 4th Tokyo TDC Exhibition Henryk Tomaszewski Exhibition Seymour Chwast: Painted Metal Sculpture Takashi Kanome: BOX-XX Makoto Nakamura Solo Exhibition Rick Valicenti Exhibition Rick Valicenti Exhibition Kaoru Kasai: AERO Tadahito Nadamoto / Akira Uno / Makoto Wada / Harumi Yamaguchi Exhibition Paul Rand Furoshiki by 18 Artists Ryohei Kojima: Tropica Grafica Koichi Inakoshi: Out of Season 1992 Tokyo ADC Exhibition The 5th Tokyo TDC Exhibition U.G. Sato's Poster Exhibition: Treedom Hideo Mukai: Hommage Imagination of Letters	Dec. 1996 Jan. Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec. 1997 Jan. Jan. Feb. Mar. Apr.	115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131	Yasuhiro Yomogida: "yurayura" Swaying in Edo Transition of Modern Typography-2 NIPPONJIN: Posters by 23 Artists in Sao Paulo The 8th Tokyo TDC Exhibition Contemporary Graphics in Hungary: DOPP at GGG Shigeo Katsuoka's Typographic Art: Departure 1996 Tokyo ADC Exhibition John Maeda Paper and Computers K2 – Seitaro Kuroda / Keisuke Nagatomo: Two Chairs Czech Avant-Garde Book Design 1920s-'30s Graphic Wave 1996: Katsunori Aoki / Taku Satoh / Toshio Yamagata Alain Le Quernec Exhibition Nisuke Shimotani: Man Collection of CCGA: The Prints of Josef Albers Tadashi Ohashi: Warm Veggies The 10th Anniversary of Tokyo TDC Masayoshi Nakajo: ○○○	Mar. Apr. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec. Dec. 2000 Jan. Jan. Feb. Mar. Apr. May	155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166	Tsunehisa Kimura Photo Graphics: What? The Works of Seiichi Horiuchi Tokyo TDC 1999 Exhibition Contemporary Bulgarian Graphic Design Exhibition Katsuhiko Hibino: Abduction 1999 Tokyo ADC Exhibition John Maeda: One-line.com Kijuro Yahagi Exhibition Graphic Wave 1999: Mamoru Suzuki / Kei Matsushita / Hiroshi Yonemura An Exhibition of FUSE Posters and Fonts Keizo Matsui Exhibition Paul Davis Posters Irving Penn Regards the Works of Issey Miyake Graphic Message for Ecology Kishin Shinoyama & Manuel Legris: A L'Opera de Paris Bruno Monguzzi: A Poet of Form and Function Kenji Itoh: The Medical Journal STETHOSCOPE – A Half Century of Journal Cover Designs – Tokyo TDC 2000 Exhibition Poster Works Nagoya 12: Shigeo Okamoto + 11 Designers Osaka Pop Exhibition:
Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec. 1989 Jan. Feb. Mar. Apr. May	24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42	Works from Packaging Direction Hiroki Taniguchi: Homosapiens' Memory Ginza Hyakuten Covers, Original Works Katsu Exhibition, Spring: Original- Lithography-Silk Screen-Offset Print AGI '88 Tokyo: World Graphic Design Issey Miyake Poster Exhibition: I.I.I. at GGG 1988 Tokyo ADC Exhibition Art Works III Peace by Piece Recruit / Information Posters Yoshio Hayakawa: Original Drawings "Woman" Masayoshi Nakajo: NAKAJOISH Posters and Illustrations of Stasys Eidrigevicius Shopping Bag Design Exhibition Kijuro Yahagi Exhibition Kijuro Yahagi Exhibition Texture: Makiko Minagawa + Keiichi Tahara + Shigeru Yamaoka Noriyuki Tanaka: Gokan - The Urban Surface Otl Aicher: W.Von Ockham, a Pioneer in Modern Philosophy Kazumi Kurigami: Photographis Shinichiro Wakao: Wakao Collection	OctNov. Dec. 1992 Jan. Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec. 1993 Jan. Feb. Mar. Apr. May Jun. Aug.	67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 80 81 82 83 84 85 86 87 88	Art Works VI. "Bacteriart" Messages from Dream Island Trans-Art '91 1991 Tokyo ADC Exhibition Ivan Chermayeff: Collages The First Solo Exhibition of Hajime Tachibana: ape-MAN The 4th Tokyo TDC Exhibition Henryk Tomaszewski Exhibition Seymour Chwast: Painted Metal Sculpture Takashi Kanome: BOX-XX Makoto Nakamura Solo Exhibition Rick Valicenti Exhibition Kaoru Kasai: AERO Tadahito Nadamoto / Akira Uno / Makoto Wada / Harumi Yamaguchi Exhibition Paul Rand Furoshiki by 18 Artists Ryohei Kojima: Tropica Graffica Koichi Inakoshi: Out of Season 1992 Tokyo ADC Exhibition The 5th Tokyo TDC Exhibition: Treedom Hideo Mukai: Hommage	Dec. 1996 Jan. Feb. Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec. 1997 Jan. Jan. Feb. Mar.	115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128	Yasuhiro Yomogida: "yurayura" Swaying in Edo Transition of Modern Typography-2 NIPPONJIN: Posters by 23 Artists in Sao Paulo The 8th Tokyo TDC Exhibition Contemporary Graphics in Hungary: DOPP at GGG Shigeo Katsuoka's Typographic Art: Departure 1996 Tokyo ADC Exhibition John Maeda Paper and Computers K2 – Seitaro Kuroda / Keisuke Nagatomo: Two Chairs Czech Avant-Garde Book Design 1920s-'30s Graphic Wave 1996: Katsunori Aoki / Taku Satoh / Toshio Yamagata Alain Le Quernec Exhibition Nisuke Shimotani: Man Collection of CCGA: The Prints of Josef Albers Tadashi Ohashi: Warm Veggies The 10th Anniversary of Tokyo TDC	Mar. Apr. May Jun. Jul. Aug. Sep. Oct. Nov. Dec. Dec. 2000 Jan. Jan. Feb. Mar. Apr. May Jun.	155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166	Tsunehisa Kimura Photo Graphics: What? The Works of Seiichi Horiuchi Tokyo TDC 1999 Exhibition Contemporary Bulgarian Graphic Design Exhibition Katsuhiko Hibino: Abduction 1999 Tokyo ADC Exhibition John Maeda: One-line.com Kijuro Yahagi Exhibition Graphic Wave 1999: Mamoru Suzuki / Kei Matsushita / Hiroshi Yonemura An Exhibition of FUSE Posters and Fonts Keizo Matsui Exhibition Paul Davis Posters Irving Penn Regards the Works of Issey Miyake Graphic Message for Ecology Kishin Shinoyama & Manuel Legris: A L'Opera de Paris Bruno Monguzzi: A Poet of Form and Function Kenji Itoh: The Medical Journal STETHOSCOPE – A Half Century of Journal Cover Designs – Tokyo TDC 2000 Exhibition Poster Works Nagoya 12: Shigeo Okamoto + 11 Designers

Aug.	171	The Epoch of the Japan Advertising	2004	010	K N : D : E ! ! !	Feb.		Exhibitions: Graphic Messages from	Jun.		NB@ggg: Neville Brody 2010
Sep.	172	Artists Club [JAAC] Graphic Wave 2000:Gugi Akiyama /			Kazumasa Nagai Poster Exhibition Keiji Ito / Hiroki Taniquchi /	Mar.	249	ggg & ddd 1986-2006 [Part II] Kimura Katsu Ten: Toy Box Ten	Jul. Aug.	288 289	,
		Tycoon Graphics / Hideki Nakajima			Hiro Sugiyama Exhibition	Apr.		Tokyo TDC 2007 Exhibition	Sep.	290	The Push Pin Paradigm:
		Tztom Toda: D-ZONE	Mar.	214	The Magazine Design Studio Cap	May		helmut schmid: design is attitude			Seymour Chwast Paul Davis
Nov.	174	Pierre Bernard: Be Realistic, Demand the Impossible!	Δnr	215	Exhibition Tokyo TDC 2004 Exhibition	Jun. Jul.		Masaaki Hiromura: 2D ⇔ 3D 2007 Tokyo ADC Exhibition	Oct	291	Milton Glaser James McMullan Seas and Mountains and
Dec.	175	The Book & The Computer:	May		Taku Satoh: Plasticity	Aug.		The Warsaw Wind 1966-2006:	Oct.	291	Norito Shinmura
		New Parameters across Time and Space	Jun.	217	Danish Posters:			Gold Prize Winning Entries from	Nov.	292	Kazunari Hattori: November 2010
2001					Over the Past 10 Years,	0	055	the Warsaw International Poster Biennale	Dec.	293	
	176	2001 Yasuhiko Kida	Jul.	218	Selected by Danish Design Centre 2004 Tokyo ADC Exhibition	Sep. Oct.	256	Ginza Salone: Kenjiro Sano Shinya Nakajima TV Commercial:			From Research to Expression
		Italo Lupi: Not Just Graphics			The Work of Barnbrook Design:			Shinya Nakajima with 29 Art Directors	2011		
Mar.	178	"Spring has come" Shin Matsunaga,			Friendly Fire	Nov.	257	Welcome to Magazine Pool:	Jan.		Shueitai 100
Apr	170	Play Together with Details Tokyo TDC 2001 Exhibition	Sep.	220	Graphic Wave 2004: Aoshi Kudo / Graph / Namaiki			Ten Creators Crossing Boundaries for Magazine Design	Feb.	295	lan Anderson / The Designers Republic C(H–)ōme (+81/3)
		Visual Identity for	Oct.	221	Wind and Lighting: A Half-Century of	Dec.	258	Aoba Show:	Mar.	296	Design Fumio Tachibana
		Danish State Institutions			Magazine Design by Kohei Sugiura			Masuteru Aoba One-Man Show	Apr.	297	Tokyo TDC 2011 Exhibtion
li	101	by Kontrapunkt, Copenhagen	Nov.		Kashiwa Sato: Beyond	2000			May	298	Sato Koichi Poster Exhibition
		Typography of Hiromu Hara 2001 Tokyo ADC Exhibition	Dec.	223	Another Side of Ayao Yamana 1920s-70s	2008 Jan.	259	Toda Today: Poster Art by Seiju Toda	Jun.	299	Raymond Savignac; at the Age of 41, Maestro Born from Poster
		Tadahito Nadamoto:	2005			Feb.		Testimonies from Twenty Pioneers			[Monsavon au lait]
		Patterns from Everyday Life	Jan.		The Seven Faces of Asaba			of the Graphic Design Era:	Jul.	300	2011 Tokyo ADC Exhibition
Sep.	184	Graphic Wave 2001: Katsuhiko Shibuya / Kazufumi Nagai /	Feb.	225	Balarinji: Ancient Culture - Contemporary Design	Mar.	261	Interviews by Hiroshi Kashiwagi Textasy: Brody Neuenschwander	Aug. Sep.	301	[gggg] Groovisions Exhibition Form, Color and Structure:
		Kodue Hibino	Mar.	226	Katsunori Aoki XX			Tokyo TDC 2008 Exhibition	оер.	302	The Sensual World of Aoshi Kudo
Oct.	185	Hangul Poster Exhibition	Apr.	227	Tokyo TDC 2005 Exhibition			Alan Fletcher:	Oct.	303	100 ggg Books 100 Graphic Designers
Nov.		Makoto Saito Exhibition	May		The Graphic Design of Makoto Wada			The Father of British Graphic Design	Nov.		
Dec.	187	Chip Kidd Exhibition	Jun.	229	Chermayeff & Geismar Inc: Designing over Four Decades	Jun.	264	Hiroshi Sasaki, Leader of a Cheering Squad	Dec.	305	Luminous Mandala: Book Designs of Kohei Sugiura
2002			Jul.	230	= =			for the Japanese Advertising World			Book Designs of Notice Sugidia
Jan.	188	Uwe Loesch Exhibition	Aug.	231	Masahiko Sato Laboratory:	Jul.	265	2008 Tokyo ADC Exhibition	2012		
Feb.		Akira Uno Exhibition			Problems and Their Solutions	Aug.	266	Now Updating Interactive Design	JanFeb.	306	DNP Graphic Design Archives Collection IV
Mar.	190	Design Education: I, We, They.The Post -St Joost Method of Design Education	Sep.	232	Graphic Wave 2005: Ichiro Tanida / Ichiro Higashiizumi / Chie Morimoto	Sen	267	Works by THA Ltd. / Yugo Nakamura The Design Cycle of Keiko Hirano:			The 10th Memorial to Ikko Tanaka: Ikko Tanaka Posters 1980-2002
Apr.	191	Tokyo TDC 2002 Exhibition	Oct.	233	Laboratoires CCCP =	оср.	201	Origin, Terminus, Origin	Mar.	307	Rodchenko
May	192	Draft Exhibition			Dr. Peche + Melle. Rose	Oct.	268	White: Kenya Hara Exhibition			- Innovator of Russian Avant-Garde -
Jun.	193	Alan Chan:			Shin Sobue + cozfish Exhibition	Nov.		M/M (Paris) The Theatre Posters			Tokyo TDC 2012 Exhibition
Jun.		Oriental Passion Western Harmony Yasuji Hanamori and "Kurashi no Techo"	Dec.	235	Swiss Poster Art: 100 Years of Creation	Dec.	270	OYKOT Wieden + Kennedy Tokyo: 10 Years of Fusion	May	309	KIGI: Ryosuke Uehara and Yoshie Watanabe
	194	2002 Tokyo ADC Exhibition			Too Touro of Orounon			To Today of Factors	Jun.	310	•
Aug.		Noriyuki Tanaka: Out of Design	2006			2009			Jul.		2012 Tokyo ADC Exhibition
Sep.	196	Graphic Wave 2002: Hitomi Sago / Yasuhiro Sawada / Norito Shinmura	Jan.	236	Yusaku Kamekura 1915-1997: A Leading Pioneer in the World of	Jan.	271	Brilliant Rivalry: Works by Outstanding Designers in	Aug.	312	The Posters 1983-2012: The Prize – Winning Works from
Oct.	197	Sun-ad: The People			Japanese Design			the DNP Archives of Graphic Design			The International Poster Triennial
		Graphic Shows Brazil:	Feb.	237	Nagi Noda:	Feb.	272	Helvetica forever: Story of a Typeface			in Toyama –
_		Today's Brazilian Book Design			Hanpanda Contemporary Art	Mar.		Draft: Branding and Art Directors	Sep.	313	Bunpei Yorifuji's
Dec.	199	Herb Lubalin Exhibition	Mar. Apr.		Cyan Exhibition Tokyo TDC 2006 Exhibition			Tokyo TDC 2009 Exhibition Kijuro Yahagi:	Oct	21/	Summer Homework Project AGI (Alliance Graphique Internationale)
2003					Kazufumi Nagai: Hakuhodo Design	ividy	210	Magnetic Vision / 100 New Works	001.	014	Exhibition
Jan.	200	Ikko Tanaka: Poster and Graphic Art			"Brands and Designs"	Jun.	276	Max Huber - a Graphic Designer	Nov.	315	Tadanori Yokoo:
Feb.	201	Sadik Karamustafa Graphic Design:			Keiichi Tanaami-ism	Jul.		2009 Tokyo ADC Exhibition Hosoya Gan Last Show: Exhibition of	Doo	040	The First Book Design Exhibition Theseus Chan: WERK No. 20: Ginza
Mar.	202	Journeys and Rituals, Words and Images Contemporary Chinese Graphic	Jul. Aug.		2006 Tokyo ADC Exhibition Alexander Gelman: New York Connection	Aug.	2/8	an Art Director & Graphic Designer	Dec.	316	The Extremities of the Printed Matter
		Design Exhibition	Sep.		Graphic Wave 2006 School of Design:	Sep.	279	Tadahito Nadamoto, Akira Uno,			
		Tokyo TDC 2003 Exhibition			Masayoshi Kodaira / Naomi Hirabayashi /			Makoto Wada and	2013		
May	204	Fabrica 1994 / 03: From Chaos to Order and Back	Con		Manabu Mizuno / Eiji Yamada AGI Congress 2006 in Japan:	Oct	200	Tadanori Yokoo Show Toshio Yamaqata Exhibition	Jan.		Shin Matsunaga Poster 100 Kari Piippo Posters & Drawings
Jun.	205	Hajime Sorayama The Exhibition	Sep.		Kakejiku Exhibition	Oct. Nov.	280 281	Issay Kitagawa	Feb.	310	- Simple, Strong and Sharp -
Jul.	206	2003 Tokyo ADC Exhibition	Oct.	245	Radical Advertisement	Dec.		Kokoku Hihyo:	Mar.	319	DNP Graphic Design Archives Collection V
Aug.	207	Minoru Niijima:			[Norio Nakamura + Masahiko Sato]			End of One Era, Start of Another			LIFE - Kazumasa Nagai
Can	200	Interaction of Colors and Fonts Graphic Wave 2003: Keniiro Sano /	Nove	246	Activities No.6	2010			Λ	220	Poster Exhibition
sep.	∠∪ర	Graphic Wave 2003: Kenjiro Sano / Nagi Noda / Kazunari Hattori			Hideki Nakajima: Clear in the Fog Yoshio Hayakawa:	JanFeb.	283	DNP Graphic Design Archives Collection II	Apr. May	320 321	Tokyo TDC 2013 Exhibition KM Karel Martens
Oct.	209	Advertising Returns!?			Witness to the Dawn of Japanese Design			Ikko Tanaka Posters 1953-1979	Jun.	322	
		Art Direction by Soeda Takayuki				Mar.	284	DNP Graphic Design Archives Collection ■			a Plan So Nothing Could Go Wrong
		Stefan Sagmeister Exhibition Takashi Kono:	2007 Jan	210	Exhibitions: Graphic Messages from	Δρη	285	Shigeo Fukuda's Visual Jumping Tokyo TDC 2010 Exhibition	Jul. Aug.	323 324	2013 Tokyo ADC Exhibition Ellie Omiya Exhibition
D66.	-11	Modernist of the Showa Era 1906-99	Jail.	240	ggg & ddd 1986-2006 [Part I]		286		Sep.	325	
						,					

Oct.	326	Rikako Nagashima:	SepNov.	362	Typographic Composition,
		"Between Human and Nature"			Yoshihisa Shirai
Nov.	327	Jan Tschichold Exhibition	NovJan.	363	Marimekko Spirit - Paavo Halonen /
Dec.	328	Tomaszewski, The Poetic Spirit			Maija Louekari / Aino-Maija Metsola
2014			2018		
	320	Mitsuo Katsui: Design of Symptom	JanMar.	364	Kouga Hirano and Shobunsha
		"Putting Finger"	Apr.		Tokyo TDC 2018 Exhibition
. 00.	000	Masahiko Sato + Tatsuya Saito	May-Jun.		wim crouwel fascinated by the grid
Mar.	331	Osamu Fukushima and the Future of Design:	JulAug.		Harumi Yamaguchi X Yoshirotten
		Social Design & Poster			Harumi's Summer
Apr.	332	Tokyo TDC 2014 Exhibition	SepOct.	368	Tadanori Yokoo: The Complete Drawings for
May	333	phono / graph			"Genka" by Jakucho Setouchi 1974-1975
		- sound, letters, graphics	Dec.		Art Direction Japan 2018 Exhibition
Jun.		Nagai Hiroaki: Graphic Jam Zukō	DecJan.	370	Haruka Misawa – Again and Again:
Jul.		2014 Tokyo ADC Exhibition Binokodu Cells:			Ideas Coming To Mind
Aug.	330	"Kodue Hibino + Nihongo de Asobo"	2019		
Sep.	337	So French: Michel Bouvet Posters		371	Paula Scher: Serious Play
		Semitransparent Design: Boring / Bored	Apr.		Tokyo TDC 2019 Exhibition
Nov.		Persona 1965:	May-Jun.		Tsuguya Inoue: Beginnings
		Exhibition of Graphic Design in Tokyo	JulAug.	374	Keiichi Tanaami Great Journey
Dec.	340	Inside the Mind of Ryoji Arai	AugOct.	375	Sculptural Type: Kontrapunkt
			OctNov.	376	Art Direction Japan 2019 Exhibition
2015			NovJan.	377	What's Karl Gerstner? Thinking in Motion
		Katsumi Asaba: Asaba's Typography.			
Feb.		Line in the sand: Paul Davis	0000		
Mar.	343	APPLE+ Learning to Design, Designing to Learn Ken Miki	2020 JanMar.	270	Yoichiro Kawaguchi:
Δnr	344	Tokyo TDC 2015 Exhibition	Jail. Ivial.	3/0	The Intelligence of Life
		2 Men Show:	JunAug.	379	Tokyo TDC 2020 Exhibition
		Stanley Wong × Anothermountainman	OctNov.		Poems of Eternal Life: The World of
Jun.	346	Rhizomatics:			Kazumasa Nagai's Images and Words
		The Blind Spot of Graphic Design	DecMar.	381	Survive - Eiko Ishioka
Jul.	347	2015 Tokyo ADC Exhibition			
Aug.		Lars Müller BOOKS Analogue Reality	2021		
Sep.		Yoshiaki Irobe: Wall	AprMay		Tokyo TDC 2021 Exhibition
Oct.	350	21st Century Rimpa Posters:	JunJul.	383	Sports Graphic Exhibition
Nov.	251	Competitive Works by 10 Graphic Designers d3i d3i d3i Dainippon Type Organization	JulAug.		Special Exhibition: Olympic Language: Exploring the Look of the Games
Dec.	331	Special Exhibition (Venue: Chiyoda City's	SepOct.	384	Kasai Kaoru Exhibition: NOSTALGIA
		Hibiya Library and Museum)	Nov.		Art Direction Japan 2020-2021 Exhibition
		DNP Graphic Design Archives Collection	DecMar.	386	Saul Steinberg:
		THE NIPPON POSTERS			Lines that Transform the Real World
2016			2022		
JanMar.		Special Exhibition (Venue: Chiyoda City's		387	Tokyo TDC 2022 Exhibition
ouri. Iviui.		Hibiya Library and Museum)			Taku Satoh TSDO: in LIFE
		Organized by Chiyoda City's Hibiya Library			Yui Takada with ori.studio
		and Museum / Co-organized by	· ·		CHAOTIC ORDER
		DNP Foundation for Cultural Promotion	SepOct.	390	Hosoya Gan — Beyond G
		Shin Sobue + cozfish BOOK DESIG	Nov.	391	Art Direction Japan 2022 Exhibition
AprMay	352	ginza graphic gallery 30th Anniversary	DecJan.	392	Aquirax Uno Kaleidoscope
		Bridge Over Troubled Water:			
	050	ggg Exhibition Posters 1986-2016	2023	000	
		Tokyo TDC 2016 Exhibition 2016 Tokyo ADC Exhibition	repMar.	<i>აყ</i> ა	Urgent!! The Animals' Conference From the DNP Graphic Design
		Nosigner: Reason Behind Forms			Archives Collection
		Enomoto Ryoichi Kokaiki	MarApr.	394	Tokyo TDC 2023 Exhibition
. =		y	May-Jun.		Tadanori Yokoo My Black Holes
2017					Koichi Kosugi Graphic Park
JanMar.	357	Masayoshi Nakajo IN & OUT	AugOct.	397	Stefan Sagmeister Now is Better
Apr.	358	Tokyo TDC 2017 Exhibition	Nov.	398	Art Direction Japan 2023 Exhibition
May-Jun.		Roman Cieślewicz Melting Mirage	DecJan.	399	Daijiro Ohara HAND BOOK
Jul.	360	2017 Tokyo ADC Exhibition	0004		
Jul.		Special Exhibition: Farewell!	2024	400	VOCHIDOTTEN Padial Overships D
AugSep.	361	Keisuke Nagatomo Apeloiggg Tokyo	reuMar.	400	YOSHIROTTEN Radial Graphics Bio
. J. Jop.					

Philippe Apeloig Exhibition

1992		T	JulAug.	51	Contemporary Graphics in Hungary:	NovDec.	95	=	OctNov.	134	Posters from the Czech Republic:
JanFeb.		Trans-Art '91			DOPP at DDD			Approach of Holger Matthies,			Collection 1960-2003 of the Museum
Mar.		Ivan Chermayeff: Collages	AugSep.		1996 Tokyo ADC Exhibition			Berlin University of the Arts			of Decorative Arts in Prague
AprMay		The 4th Tokyo TDC Exhibition	SepOct.	53	· · ·				NovDec.	135	Balarinji: Ancient Culture
May-Jun.		Rick Valicenti Exhibition	OctNov.		Alain Le Quernec Exhibition	2001					 Contemporary Design
JunJul.	5	Seymour Chwast: Painted Metal Sculpture	NovDec.	55	Woody Pirtle:	JanFeb.	96	2001 Yasuhiko Kida			
JulAug.	6	Design, Print, Paper Exhibition			Maximum Message Minimum Means	FebMar.	97	Visual Identity for	2005		
AugSep.	7	Vaughan Oliver Exhibition						Danish State Institutions	JanFeb.	136	Wind and Lighting: A Half-Century of
Oct.	8	Makoto Nakamura Solo Exhibition	1997					by Kontrapunkt, Copenhagen			Magazine Design by Kohei Sugiura
OctNov.	9	Michael Mabry Exhibition	JanFeb.	56	João Machado Exhibition	MarApr.	98	Poster of Salzburg Festival	FebMar.	137	Cyan: 13 Years in Berlin
NovDec.	10	Tadahito Nadamoto / Akira Uno /	FebMar.	57	K2 Osaka Exhibition:	May-Jun.	99	Tokyo TDC 2001 Exhibition	MarApr.	138	Rashiwa Sato: Beyond
		Makoto Wada / Harumi Yamaguchi			Seitaro Kuroda / Keisuke Nagatomo	JunJul.	100	Chip Kidd Exhibition	AprMay	139	Mevis & Van Deursen Exhibition
		Exhibition	MarApr.	58	Graphic Design in China	JulAug.	101		May-Jun.	140	
			AprMay		The 10th Anniversary of Tokyo TDC	AugSep.	102	=			Laboratoires CCCP =
1993			May-Jun.		10 Mexican Graphic Designers			•	oun		Dr. Peche + Melle. Rose
JanFeb.	11	Furoshiki by 18 Artists	Jul.	61	·	оср. ост.	100	My Way to Typography	Aug -San	1/19	2 2005 Tokyo ADC Exhibition
		•			1997 Tokyo ADC Exhibition	OctNov.	104				•
FebMar.		Why Not Associates Exhibition	AugSep.		·	OCL-NOV.	104		SepOct.		
MarApr.	13	Allen Hori + Robert Nakata:	SepOct.		Ralph Schraivogel: Shifted Structures		105	Play Together with Details	OCINOV.	144	German AGI Graphic Design:
		Displaced Voices	OctNov.	64	James Victore: Post No Bills	NovDec.	105	=			Perfect Form
AprMay		1992 Tokyo ADC Exhibition	NovDec.	65	Global Exhibition: Duo Posters by			The Post-St Joost Method of	NovDec.	145	The Graphic Design of Makoto Wada
May-Jun.	15	Russell Warren-Fisher Exhibition			33 Designers from around the World			Design Education			
JunJul.		The 5th Tokyo TDC Exhibition							2006		
JulAug.		· ·	1998			2002			JanFeb.	146	Swiss Poster Art:
AugSep.	18	Design, Print, Paper Exhibition Part ${\mathbb I}$	JanFeb.	66	Faydherbe / De Vringer:	JanFeb.	106	Tadahito Nadamoto:			100 Years of Creation
SepOct.	19	Bill Thorburn Exhibition			Looking Back into the Future			Patterns from Everyday Life	FebMar.	147	Graphic Thought Facility:
OctNov.	20	U.G. Sato's Poster Exhibition: Treedom	FebMar.	67	Jean-BenoÎt Lévy: Visual Activity	FebMar.	107	Makoto Saito Exhibition			GTF 50 Projects
NovDec.	21	Mitsuo Katsui: The Blessing of Light	MarApr.	68	"Troika" 3 Dimensions of	MarApr.	108	Ott + Stein: Posters from Berlin	MarApr.	148	Nagi Noda:
DecJan.	22	8 Designers in Today's Hong Kong			Russian Graphic Design	AprMay	109	Studio Tapiro:			Hanpanda Contemporary Art
			AprMay	69	Philippe Apeloig:			Posters for the Venice Biennale	AprMay	149	Bruno Oldani Exhibition
1994					Posters in the Context of French Culture	Mav-Jun.	110	Tokyo TDC 2002 Exhibition	May-Jun.	150	Tokyo TDC 2006 Exhibition
JanFeb.	23	Saul Bass Exhibition	Jun.	70				Posters from Vienna:	JunJul.	151	•
FebMar.			Jul.	71	•	oun		The Vienna Municipal Library Archive	Aug.		2 2006 Tokyo ADC Exhibition
MarApr.		Ruedi Baur / Integral Concept Exhibition	AugSep.	72				1883-2002	rag.	102	2000 Tokyo 7 DO Extribition
		1993 Illustration 4:	SepOct.		Zafryki: Piotr Mlodozeniec /	lul Con	110	Ken Miki Exhibition	2007		
AprMay	20	Mizumaru Anzai / Yosuke Kawamura /	SepOct.	13	Marek Sobczyk			2002 Tokyo ADC Exhibition		150	Fubilitiana Cranbia Massagas from
			O-t Nov	7.4	•				May-Jun.	100	Exhibitions: Graphic Messages from
		Nobuhiko Yabuki / Teruhiko Yumura	OctNov.	74	David Tartakover:	OCIINOV.	114	Sadik Karamustafa:			ggg & ddd 1986-2006
May-Jun.	27	Jennifer Morla Exhibition			Posters No Commercial Value			Journeys and Rituals	JulAug.		Tokyo TDC 2007 Exhibition
JunJul.		o .	NovDec.	75	Taiwan 4: Yeh Kuo-Sung /	NovDec.	115	Contemporary Chinese Graphic	AugSep.	155	=
JulAug.		Uwe Loesch Exhibition			Yu Ming-Lung / Shih Ling-Hung /			Design Exhibition	OctNov.	156	*
AugSep.		1994 Tokyo ADC Exhibition			Leslie Chan				NovDec.	157	Kimura Katsu Ten: Toy Box Ten
SepOct.	31	Design, Print, Paper Exhibition Part Ⅲ				2003					
OctNov.	32	David Carson + Gary Koepke	1999			JanFeb.	116	San-ad :The People	2008		
		Free-Form Typography:	JanFeb.	76	Furoshiki Graphics by 18 Designers	FebMar.	117	Ikko Tanaka: Poster and Graphic Art	JanFeb.	158	Welcome to Magazine Pool:
		The New U.S. Editorial Design			from around the World	MarApr.	118	Fabrica 1994 / 03:			Ten Creators Crossing Boundaries
Dec.	33	Yusaku Kamekura New Posters	FebMar.	77	Pierre Neumann: Swiss Landscape			From Chaos to Order and Back			for Magazine Design
			MarApr.	78	The Graphic Design of Paula Scher:	AprJun.	119	Of Ink and Chairs: The Art and Design	FebApr.	159	Ginza Salone Osaka: Kenjiro Sano
1995					Type is Image			of Kan Tai-Keung + Freeman Lau	AprJun.	160	Shinya Nakajima TV Commercial:
JanFeb.	34	German Montalvo Exhibition:	May-Jun.	79	Graphic Design from Hamburg:	JunJul.	120	Tokyo TDC 2003 Exhibition			Shinya Nakajima with 29 Art Directors
		From Sunrise to Sunset			Holger Matthies + Christiane Freilinger	JulAug.	121	Luba Lukova: From the Heart	JunJul.	161	Tokyo TDC 2008 Exhibition
FebMar.	35	Bruno Munari Exhibition	JunJul.	80	Tokyo TDC 1999 Exhibition	AugSep.	122	2003 Tokyo ADC Exhibition	Aug.	162	Now Updating Interactive Design
MarApr.		Grappa Design: from east to far east	JulAug.	81	Jan Rajlich Jr.: Millhouse of the Times	SepOct.		Stefan Sagmeister Exhibition	_		Works by THA Ltd. / Yugo Nakamura
AprMay		The 7th Tokyo TDC Exhibition	AugSep.		1999 Tokyo ADC Exhibition	OctNov.		Cultural Posters from the Collection	SepOct.	163	3 2008 Tokyo ADC Exhibition
May-Jun.		Michel Bouvet:	SepOct.		Scott Makela: Wide Open			of Die Neue Sammulung München			Aoba Show:
		L'affiche, un art de la lue	OctNov.		The World of Chaz Maviyane-Davies	NovDec.	125	Hajime Sorayama The Exhibition			Masuteru Aoba One-Man Show
JunJul.	39		NovDec.		2 Men from Macau:	500.	.20		Nov -Dec	165	Graphic West:
JulAug.		Terrelonge Exhibition	NOVDEG.	00		2004			INOV. DEG.	100	Truth And / Or Virtue:
					Ung Vai Meng / Victor Hugo Marreiros		100	Advertising Potures 12			
AugSep.		1995 Tokyo ADC Exhibition	2000			uan-Feb.	120	Advertising Returns!?			Graphic Designs by Shinnoske
SepOct.		Design, Print, Paper Exhibition Part IV	2000		Complia Managera (. 5)	F-1 14	40-	Art Direction by Soeda Takayuki			Sugisaki and Yoshimaru Takahashi
OctNov.		Peret Torrent Exhibition	JanFeb.		Graphic Message for Ecology			Kazumasa Nagai Poster Exhibition	0000		
NovDec.	44	6 Designers in Asia Exhibition	FebMar.		Keizo Matsui Exhibition	MarApr.	128	Danish Posters:	2009		
			MarApr.		Paul Davis Posters			Over the Past 10 Years,	JanFeb.	166	
1996			AprMay	89	Osaka Pop Exhibition:			Selected by Danish Design Centre	MarApr.	167	·
JanFeb.	45	50 Years in Japanese Illustrations			"kotekote" Graphics	AprMay	129	The Magazine Design Studio Cap			Works by Outstanding Designers in
FebMar.	46	Margo Chase: Digital + Organic	May-Jun.	90	Tokyo TDC 2000 Exhibition			Exhibition			the DNP Archives of Graphic Design
MarApr.	47	Werner Jeker: Graphic Design	JunJul.	91	Anthon Beeke Posters: Body and Soul	May-Jun.	130	Tokyo TDC 2004 Exhibition	AprJun.	168	B Draft: Branding and Art Directors
AprMay	48	Posters fro m Gunter Rambow:	JulSep.	92	Pierre Bernard:	JunJul.	131	Pierre Mendell Exhibition	JunJul.	169	Tokyo TDC 2009 Exhibition
		Comments on society			Be Realistic, Demand the Impossible!	AugSep.	132	2004 Tokyo ADC Exhibition	AugOct.	170	2009 Tokyo ADC Exhibition
May-Jun.	49	The 8th Tokyo TDC Exhibition	SepOct.	93	2000 Tokyo ADC Exhibition	SepOct.	133	The Work of Barnbrook Design:	OctDec.	171	Kijuro Yahagi:
JunJul.	50	Kari Piippo: Simple, Strong, and Sharp	OctNov.	94	Italo Lupi: Not Just Graphics			Friendly Fire			Magnetic Vision 60 / 100 New Works

2010			AprMay	207	21st Century Rimpa Posters:	May-Jul.	237	Kasai Kaoru Exhibition: NOSTALGIA
JanMar.	172	Graphic West 2: Sensory Boxes			Competitive Works by 10 Graphic Designers	AugOct.	238	Saul Steinberg:
MarMay	173	Issay Kitagawa	May-Jul.	208	Rhizomatics:			Lines that Transform the Real World
		Tokyo TDC 2010 Exhibition			The Blind Spot of Graphic Design	OctJan.	239	Outlier: The Works of Picture Book
JulSep.	175	DNP Graphic Design Archives Collection II	JulAug.		Tokyo TDC 2016 Exhibition			Editor Daisuke Tsutsui
		Shigeo Fukuda's Visual Jumping	SepOct.	210	Materiality-Immateriality Design & Innovation			
		2010 Tokyo ADC Exhibition	NovDec.		University Collaborative Exhibition:	2024		
NovDec.	177	DNP Graphic Design Archives Collection II			Kyoto Institute of Technology Art	JanMar.	240	MIRROR/MIRROR:
		Ikko Tanaka Posters 1953-1979			Manager Training Program			Documenting the Edge of Contemporary
					"How Will You Go, and Where?			Printmaking—CANADA/JAPAN
2011					Travel is Wonderful"			
JanMar.	178	Graphic West 3: phono / graph	Dec.		University Collaborative Exhibition:			
		- Sound · Letters · Graphics -			Kyoto University of Art & Design Project Center			
MarMay		Shueitai 100			"experimental studies post past"			
May-Jul.		Tokyo TDC 2011 Exhibtion						
JulSep.	181	Kazunari Hattori:	2017					
		Summer 2011 in Osaka	JanMar.		Graphics and Music			
		2011 Tokyo ADC Exhibition	May-Jul.		Masayoshi Nakajo IN & OUT			
NovDec.	183	100 ggg Books 100 Graphic Designers	JulAug.		Tokyo TDC 2017 Exhibition			
0010				214	Kouga Hirano and Shobunsha			
2012	101	0 1: 34 . 4	Nov.		University Collaborative Exhibition:			
JanMar.	184	Graphic West 4:			Seian University of Art & Design			
Man Man	405	"Okumura Akio and Works" Exhibition	Dee Mee	045	".communication"			
MarMay	185	DNP Graphic Design Archives Collection The 10th Memorial to Ikko Tanaka:	DecMar.	215	wim crouwel fascinated by the grid			
			0010					
Marc Int	100	Ikko Tanaka Posters 1980-2002	2018	010	O			
May-Jul.		Tokyo TDC 2012 Exhibition	AprJun.		Graphic West 7: YELLOW PAGES			
JulSep.		Fumio Tachibana Exhibition	JulAug.		Tokyo TDC 2018 Exhibition			
SepOct.		2012 Tokyo ADC Exhibition	NovDec.	210	Keiichi Tanaami Dialogue			
NovDec.	109	The Posters 1983-2012:	NOVDec.		University Collaborative Exhibition:			
		The Prize – Winning Works from The International Poster Triennial			Visual Design Lab of Kyoto City University of Arts "Learn Science through Graphics:			
		in Toyama –			The Story of Evolution"			
		iii loyama –			The Glory of Evolution			
2013			2019					
JanMar.	190	Graphic West 5:	JanMar.	219	Typographic Composition, Yoshihisa Shirai			
		Type trip to Osaka typographics ti: 270	MarJun.	220	Tamon Yahagi /			
MarApr.	191	[dddg] Groovisions Exhibition			engawa: the open book veranda			
May-Jun.	192	Tokyo TDC 2013 Exhibition	JunAug.	221	Heisei Graphics			
JulAug.	193	DNP Graphic Design Archives Collection V	AugOct.	222	deValence - Systems as Playgrounds			
		LIFE - Kazumasa Nagai	NovDec.	223	Graphic West 8: Ryu Mieno			
		Poster Exhibition			Solo Exhibition 2011-2019 "Quibble"			
SepOct.	194	2013 Tokyo ADC Exhibition						
NovDec.	195	Ellie Omiya Exhibition	2020					
			JanMar.	224	Design ZOO – Life meets design			
2014			JunOct.		Kontrapunkt Type			
JanMar.	196	Graphic West 6:	OctDec.	226	Graphic Design of Food			
		Osaka City Museum of Modern Art Collection	0001					
		Modern Avant-Garde Graphics	2021					
marApr.	197	"Putting Finger"	JanMar.		Graphic West 9: Sulki & Min			
	100	Masahiko Sato + Tatsuya Saito	AprJul.		try try: helmut schmid typography			
		Tokyo TDC 2014 Exhibition	JulSep.		Takeshi Kojima: One Dream			
JunJul.	199	Osamu Fukushima and the Future of Design:	OctDec.	230	Survive - Eiko Ishioka			
0 . 0	000	Social Design & Poster	0000					
UctDec.	200	DNP Graphic Design Archives Collection VI	2022	004	O			
		THE NIPPON POSTERS	JanMar.	231	Osamu Torinoumi			
2015			1.1.0	000	Making Type: Like water, Like Air			
2015	201	Nagai Hiroaki			ddd DATABASE 1991-2022			
JanMar.	201	Nagai Hiroaki:	OctNov.		FormSWISS			
Any Ma	000	Graphic Jam Zukō in Kyoto	inovJan.	234	GRAPHIC CUBE - FILM POSTERS			
AprMay		Lars Müller BOOKS Analogue Reality			From the DNP Graphic Design			
JunJul.		Tokyo TDC 2015 Exhibition			Archives Collection			
AugOct.	204	DNP Graphic Design Archives Collection VII	2002					
No. D	205	20th Century Rimpa: Ikko Tanaka	2023	005	nnn groovisiess			
NovDec.	∠∪5	nippon no Nippon: helmut schmid			ppp groovisions			
			ıvıarApr.	236	"edition. nord: Factory dddd:			
2016					encompassee, entaglement, derivatives"			

Space configuration / Buku Akiyama

"Situations No.7: with equipment of 'kyoto ddd gallery'"

Jan.-Mar. 206 Asaba's Assimilation:

Katsumi Asaba Exhibition



1995-2022

1995			SepDec.	27	3rd Exhibition of DNP Archives of	2010			SepDec.	70	Frank Stella's Imaginary Places:
AprJul.	1	Graphic Vision Kenneth Tyler Retrospective Exhibition: Thirty Years			Graphic Design: The Age of Individuality	MarJun.	50	DNP Graphic Design Archives Collection II Ikko Tanaka Posters 1953-1979			29th Exhibition of Prints from the Tyler Graphics Archive Collection
		of Contemporary American Prints	2003			JunSep.	51	Roy Lichtenstein:			
AugOct.	2	Roy Lichtenstein:	MarApr.	28	Richard Gorman:			22nd Exhibition of Prints from	2017		
NovJan.	3	Entablature → Nudes The Prints of Robert Motherwell	AprJun.	29	Paintings and Paper Works Paper as Color:	SepDec.	52	the Tyler Graphics Archive Collection DNP Graphic Design Archives Collection II	Feb. MarJun.	71	The 28th Denzen Print Award Exhibition DNP Graphic Design Archives Collection VII
					10th Exhibition of Prints from			Shigeo Fukuda's Visual Jumping			Shin Matsunaga Posters
1996					Tyler Graphics Archive Collection				JunSep.	72	Kano Mitsuo:
MarApr.	4	American Prints Today: 1st Exhibition of Prints from	JunSep.	30		2011	E0	The World of Coometrie Abstraction	Con Doo	70	On the Tips of Quivering Hues
		Tyler Graphics Archive Collection	SepDec.	31	11th Exhibition of Prints from Tyler Graphics Archive Collection	Mar.	55	The World of Geometric Abstraction: 23rd Exhibition of Prints from	SepDec.	13	The Two Abstractions of Josef and Anni Albers:
AprJul.	5	The Prints of David Hockney			Tyler drapfiles / terrive concenter			the Tyler Graphics Archive Collection			30th Exhibition of Prints from
JulOct.		Autonomous Color: Josef Albers	2004					(Suspended because of The Great			the Tyler Graphics Archive Collection
OctJan.	7	Transcending Style:	MarJun.	32	The Golden Age of Illustration			East Japan Earthquake)			
		2nd Exhibition of Prints from	JunSep.	33	Password:	JunSep.	54	Shueitai 100	2018		
		Tyler Graphics Archive Collection			A Danish / Japanese Dialogue	SepDec.	55	The World of Geometric Abstraction:	Feb.		The 29th Denzen Print Award Exhibition
4007			SepDec.	34	Print Art of Today in Fukushima			23nd Exhibition of Prints from	MarJun.	74	A Select Few Colors:
1997 MarJun.	0	The Graphics of James Rosenquist	2005					the Tyler Graphics Archive Collection	JunSep.	75	From the DNP Graphic Design Archives Kenji Kitagawa:
JunSep.		Printed Abstraction:	MarJun.	35	The World of Contemporary American	2012			JuliJep.	75	Devices in Black – The Distance of Memory
oun cop.		3rd Exhibition of Prints from	Wall Gall	00	Woodcuts:	MarJun.	56	The Artists Who Express through Prints:	SepDec.	76	Helen Frankenthaler's Experimental
		Tyler Graphics Archive Collection			12th Exhibition of Prints from			after 3.11			Impressions:
OctNov.	10	Shinro Ohtake: Printing / Painting			Tyler Graphics Archive Collection	JunSep.	57	DNP Graphic Design Archives Collection IV			31st Exhibition of Prints from
DecJan.	11	Line-Color-Image:	JunSep.	36	Breathing Light: Shigenobu Yoshida			Ikko Tanaka Posters 1980-2002			the Tyler Graphics Archive Collection
		4th Exhibition of Prints from	OctDec.	37	decade - CCGA and Six artists	SepDec.	58	The Expressive Appeal of			
		Tyler Graphics Archive Collection	2006					Copperplate Prints: 24th Exhibition of Prints from	2019 Mor him	77	Llaigai Craphica
1998			MarJun.	38	Painting on Stone:			the Tyler Graphics Archive Collection	MarJun. JunSep.	78	Heisei Graphics DNP Graphic Design Archives Collection VII
MarMay	12	Frank Stella and Kenneth Tyler:	Wall Gall	00	13th Exhibition of Prints from			and Tyror Graphinos Aronivo Concentra	очи обр		Masayoshi Nakajo Posters
*		A Unique 30-Year Collaboration			Tyler Graphics Archive Collection	2013					Freshly Pickd from the Archives
May-Sep.	13	Statements in Black:	JunSep.	39	Masaki Fujihata:	Feb.		The 24th Denzen Print Award Exhibition	SepDec.	79	Printing through Cloth:
		5th Exhibition of Prints from			The Conquest of Imperfection –	MarJun.	59	THE POSTERS 1983-2012			32nd Exhibition of Prints from
		Tyler Graphics Archive Collection			New Realities Created with			The Prize – Winning Works from			the Tyler Graphics Archive Collection
SepDec.	14	Alan Shields: Images in Paper	Con Doo	40	Images and Media			The International Poster Triennial	2020		
1999			SepDec.	40	Tetsuya Noda: Diary	JunSep.	60	in Toyama – Lithographs As Contemporary Prints:	MarJun.	80	Graphic Design of Food
MarMay	15	Miran Fukuda New Works: Prints	2007			ошт. оор.	00	25th Exhibition of Prints from	JulSep.	81	·
JunSep.	16	Forms That Speak:	MarJun.	41	The Wonder of Intaglio:			the Tyler Graphics Archive Collection			Wood Engraving Today
		6th Exhibition of Prints from			14th Exhibition of Prints from	SepDec.	61	DNP Graphic Design Archives Collection V	SepDec.	82	Words and Prints:
		Tyler Graphics Archive Collection			Tyler Graphics Archive Collection			LIFE - Kazumasa Nagai			33rd Exhibition of Prints from
SepDec.	17	The Story of Prints	JunSep.	42	Prints Given New Life:			Poster Exhibition			the Tyler Graphics Archive Collection
2000					15th Exhibition of Prints from the Tyler Graphics Archive Collection	2014			2021		
MarJun.	18	New Works 1998-1999:	SepDec.	43	Unique Impressions:	Feb.		The 25th Denzen Print Award Exhibition	MarJun.	83	Ties and Bonds in Graphic Design:
		7th Exhibition of Prints from			16th Exhibition of Prints from	MarJun.	62	Prints in Blue:			DNP Graphic Design Archives Collection
		Tyler Graphics Archive Collection			the Tyler Graphics Archive Collection			26th Exhibition of Prints from	JunSep.	84	Wanderlust in Graphics
JunSep.	19	Saburo Ota: Existence an d Everyday						the Tyler Graphics Archive Collection	SepDec.	85	Drawing Lines:
SepDec.	20	DNP Archives of Graphic Design	2008			JulSep.	63	The Birth of Modern Design –			34th Exhibition of Prints from
		Inaugural Exhibition: Poster Graphics 1950-2000	MarJun.	44	Thick with Color: 17th Exhibition of Prints from	SepDec.	GA	Osaka City Museum of Modern Art Collection Relief Prints:			the Tyler Graphics Archive Collection
		Poster Graphics 1950-2000			the Tyler Graphics Archive Collection	зеррес.	04	27th Exhibition of Prints from	2022		
2001			JunSep.	45	Big Prints, Small Prints:			the Tyler Graphics Archive Collection	MarJun.	86	DNP Graphic Design Archives Collection IX
MarMay	21	Invitation to Print Portfolios:			18th Exhibition of Prints from						KASAI KAORU POSTERS since 1973
		8th Exhibition of Prints from			the Tyler Graphics Archive Collection	2015			JunSep.	87	Physis Intaglio:
		Tyler Graphics Archive Collection	SepNov.	46	Monologues in Black:	Feb.		The 26th Denzen Print Award Exhibition			Depiction and Impression
May-Jul.		Tatsumi Orimoto:1972-2000			19th Exhibition of Prints from	MarJun.	65	CCGA 20th Anniversary	SepDec.	88	· ·
AugOct.	23	Yukio Fujimoto: Reading to Another Dimension			the Tyler Graphics Archive Collection	JunSep.	66	21st Century Graphic Vision DNP Graphic Design Archives Collection VI			the Tyler Graphics Archive Collection
OctDec.	24	2nd Exhibition of DNP Archives of	2009			JuliJep.	00	Katsumi Asaba Poster Archives			
22 200.		Graphic Design:	FebJun.	47	Prints and Titles:	SepDec.	67	Robert Motherwell's Lithographs:			
		The Era of Graphic Design			20th Exhibition of Prints from			28th Exhibition of Prints from			
					the Tyler Graphics Archive Collection			the Tyler Graphics Archive Collection			
2002			JunSep.	48	Brilliant Rivalry:						
MarJun.	25	Prints Leaping Into Space:			Works by Outstanding Designers in	2016		Ti coul Di Di in			
		9th Exhibition of Prints from	SepDec.	49	the DNP Archives of Graphic Design The Power of Red:	Feb. MarJun.	60	The 26th Denzen Print Award Exhibition Graphics and Music			
JunSep.	26	Tyler Graphics Archive Collection Kijuro Yahagi: Touching, Piercing,	ochnec.	49	21st Exhibition of Prints from	JunSep.		Graphics and Music Tadayoshi Nakabayashi:			
		and Tracing with Vision			the Tyler Graphics Archive Collection			Unknown Voyage			

ギンザ・グラフィック・ギャラリー

開 設 1986年3月4日

名 称 ギンザ・グラフィック・ギャラリー(略称/ggg)

所在地 〒104-0061

東京都中央区銀座7丁目7番2号 DNP銀座ビル

Phone:03-3571-5206 Fax:03-3289-1389 開館時間 午前11時~午後7時

休 館 日曜日、祝日 監 修 永井一正

京都dddギャラリー

開 設 1991年11月5日(大阪·堂島)

2007年5月24日 大阪・南堀江に移転 2014年10月9日 京都・太秦に移転 2022年7月23日 京都・四条烏丸に移転

名 称 京都dddギャラリー

所在地 〒600-8411

京都府京都市下京区烏丸通四条下ル水銀屋町620 COCON烏丸3F

Phone: 075-585-5370 Fax: 075-585-5369

開館時間 午前11時~午後7時(土曜・日曜・祝日は午後6時まで)

休館 月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)、 祝日の翌日(土・日にあたる場合は開館)

CCGA 現代グラフィックアートセンター

開 設 1995年4月20日

名 称 CCGA現代グラフィックアートセンター

所在地 〒962-0711

福島県須賀川市塩田宮田1

企画·運営 公益財団法人 DNP 文化振興財団 https://www.dnpfcp.jp/foundation

ginza graphic gallery

Establishment: March 4, 1986 Name: ginza graphic gallery (ggg)

Location: DNP Ginza Building, 7-2 Ginza 7-chome,

Chuo-ku, Tokyo 104-0061 Phone: +81 3 3571 5206 Fax: +81 3 3289 1389

Opening Hours: 11:00am to 7:00pm Closed on Sundays and Holidays Adviser: Kazumasa Nagai

kyoto ddd gallery

Establishment: November 5, 1991 in Dojima, Osaka Moved May 24, 2007 to Minami Horie, Osaka Relocated October 9, 2014 to Uzumasa, Kyoto Moved July 23, 2022 to Shijo-Karasuma, Kyoto

Name: kyoto ddd gallery

Location: 3F COCON KARASUMA, 620 Suiginya-cho, Karasuma-dori Shijo-sagaru,

Shimogyo-ku, Kyoto City, Kyoto 600-8411

Phone: +81 75 585 5370 Fax: +81 75 585 5369

Opening Hours: 11:00am to 7:00pm (Until 6:00pm on Saturdays, Sundays and Holidays)

Closed on Mondays (Tuesday if Monday is a public holiday),

the day immediately after a public holiday (except Saturday and Sunday)

Adviser: Kazumasa Nagai

Center for Contemporary Graphic Art

Establishment: April 20, 1995

Name: Center for Contemporary Graphic Art (CCGA)

Location: Miyata 1, Shiota, Sukagawa-shi,

Fukushima 962-0711

Planning and Operation: DNP Foundation for Cultural Promotion

https://www.dnpfcp.jp/foundation



Graphic Art & Design Annual 2023 ggg ddd CCGA

発行 公益財団法人 DNP 文化振興財団

〒104-0061

東京都中央区銀座7-7-2 DNP銀座ビル

Phone: 03-5568-8224

企画·編集 公益財団法人DNP文化振興財団

アートディレクション 松永 真

 デザイン
 松永 真次郎、清川 萌未

 表紙 アートディレクション
 YOSHIROTTEN

表紙 CG Natsumi Sunohara (YAR)

撮影 藤塚 光政 (ggg会場写真)、表 恒匡 (ddd会場写真)

翻訳 室生寺 玲

印刷·製本
大日本印刷株式会社